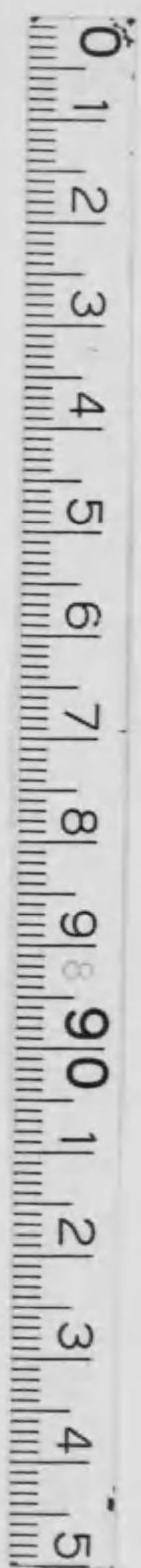


明治四十四年度

福岡縣水産試験場事業報告



始



明治四十四年度事業報告

目次

遠洋漁業試験

一、汽船建造ノ理由	二
二、玄海丸	二
(一) 構造ノ大要	二
イ、船 体	二
ロ、船首室	三
ハ、機 關	三
ニ、石炭庫	四
ホ、操舵室	四
ヘ、士官室	四
ト、重要物品重量表	四



大正
2. 4. 11
内交

二

(二) 特殊ノ設備.....六

イ、活漁船.....六

ロ、ラインホーラー.....六

ハ、測深器.....六

ニ、採水器.....七

ホ、主橋起倒装置.....七

ヘ、機關室出入口.....七

(三) 船價及附屬品價格表.....七

(四) 船體設計書.....八

(五) 機關設計書.....九

(六) 工事契約並ニ工事經過.....三〇

一、試驗ノ方法並ニ試驗地.....五四

二、網構造並ニ使用法.....五四

鯛巾着網試驗

三、出漁日誌.....五五

(1)、奈多浦沖合試驗.....五五

(2)、西浦沖合試驗.....五五

四、使用成績表.....五七

五、試驗ノ經過.....五七

六、結 論.....六〇

漁業基本調査

一、本場ノ施行セル調査要領.....六九

二、調査ノ位置.....六九

三、調査ノ日時.....七〇

四、調査地ノ漁業.....七〇

五、觀測方法及記入凡例.....七二

六、海洋觀測表.....七三

七、浮游生物ト重要漁業トノ關係.....八三

八、重要生物調査.....	八九
九、海洋氣象概況.....	九一
(一) 空氣溫度.....	九一
(二) 海水溫度.....	九三
(三) 海水比重.....	九六
十、浮游生物.....	九六
十一、定時三回觀測海洋氣象概況.....	一〇三
三、結 論.....	一〇六

蠔貝實驗所事蹟

一、本年度試驗施行ノ概要.....	一〇七
二、稚貝發生狀況.....	一〇七
三、本場養殖試驗地.....	一〇八
四、本場養殖試驗地蒔付狀況.....	一〇九
五、本場養殖試驗蠔貝成長度.....	一〇九

六、移殖囑託試驗.....	一一一
七、當業者トノ連絡.....	一一三
イ、禁漁區設定ノ理由.....	一一三
ロ、禁漁區設定ノ位置及其區域.....	一一五
ハ、稚貝ノ保護.....	一一八
ニ、指導ニヨル改良法並ニ其理由.....	一二九
甲、稚苗採捕蒔付時期ノ變更並ニ其理由.....	一二〇
乙、種苗ノ撰定、處理法ノ改良並ニ其理由.....	一二三
丙、蒔付量ノ制限並ニ其理由.....	一二三
ホ、禁漁區稚貝採捕蒔付ニ關スル協定事項.....	一二三
ヘ、連絡蒔付成績.....	一二五
ト、連絡蒔付貝ノ成育狀況.....	一二九
八、連絡以外ノ養殖狀況.....	一二九
九、被害狀況.....	一三一
十、海洋觀測.....	一三三

二、各種實驗事項

甲、移植地盤掘返

乙、浮游生物調査

丙、分析試驗

三、前年度養殖試驗成績

鯉卵配布

一、配布ノ要件

二、産卵期、配布卵數及配布個所

三、採卵狀況

四、成績

一四九

一四九

一五〇

一五三

一四七

一四七

一四三

一四三

一四三

圖表

一、玄海丸船體圖 (附錄)

二、玄海丸線圖 (附錄)

三、玄海丸帆裝圖 (附錄)

四、鯛巾着網試驗漁場圖

五、基本調査海洋觀測地点示圖

六、海洋觀測氣温、水温、比重、浮量高低對照表

七、海洋觀測ト鯖漁業トノ關係圖表

八、海洋觀測ト鰹漁業トノ關係圖表

九、海洋觀測ト柔魚漁業トノ關係圖表

十、海洋觀測ト鱈漁業トノ關係圖表

十一、海洋觀測ト鯛漁業トノ關係圖表

十二、蛭貝養殖試驗地畧圖

十三、養殖蛭貝成長度比較圖表

十四、山門郡西宮永村地先蛭養殖地土壤温度高低表

十五、浮消長圖表

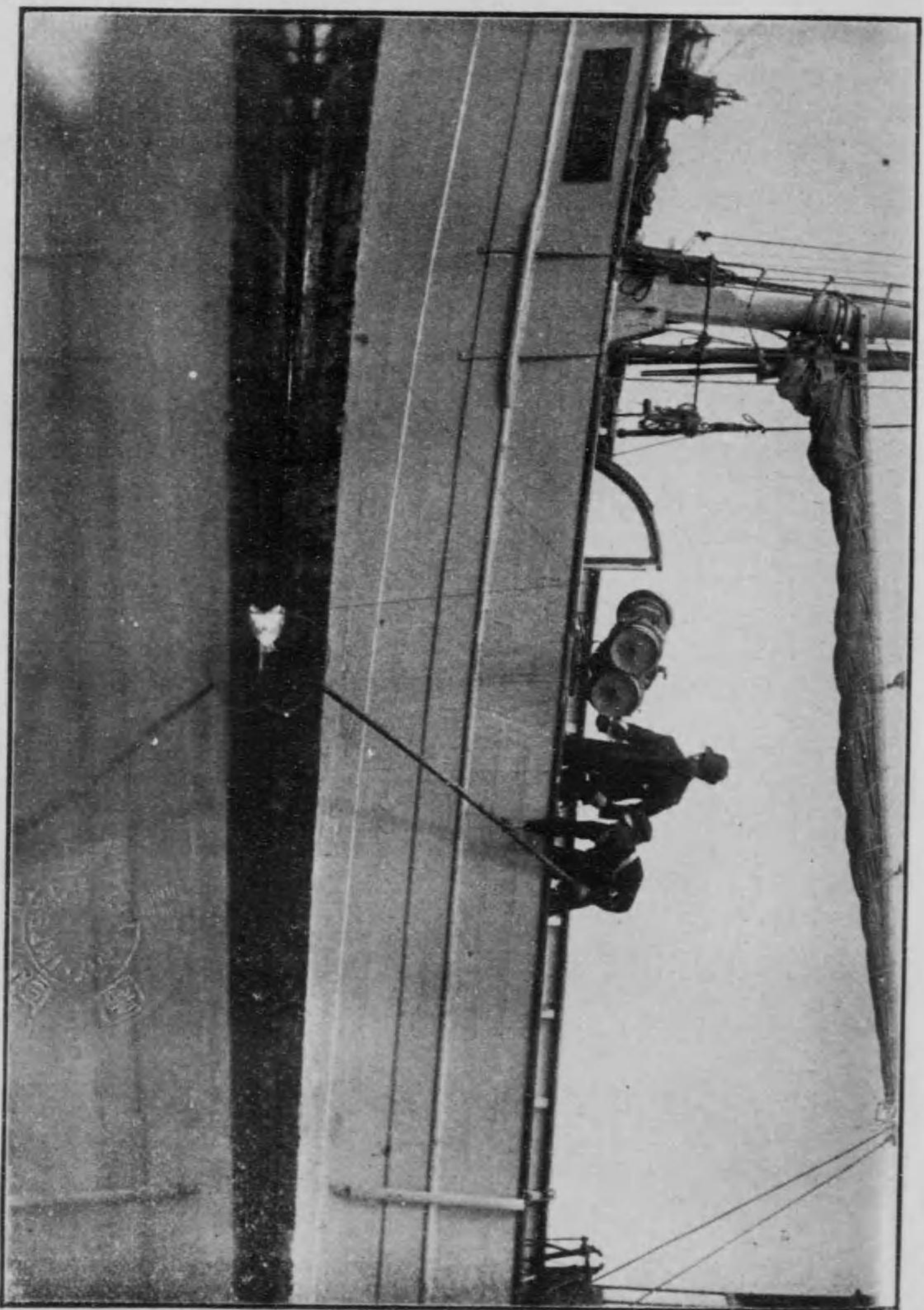
十六、山門郡西宮永村地先蛭養殖地水温高低表

十七、全上海水比重高低表

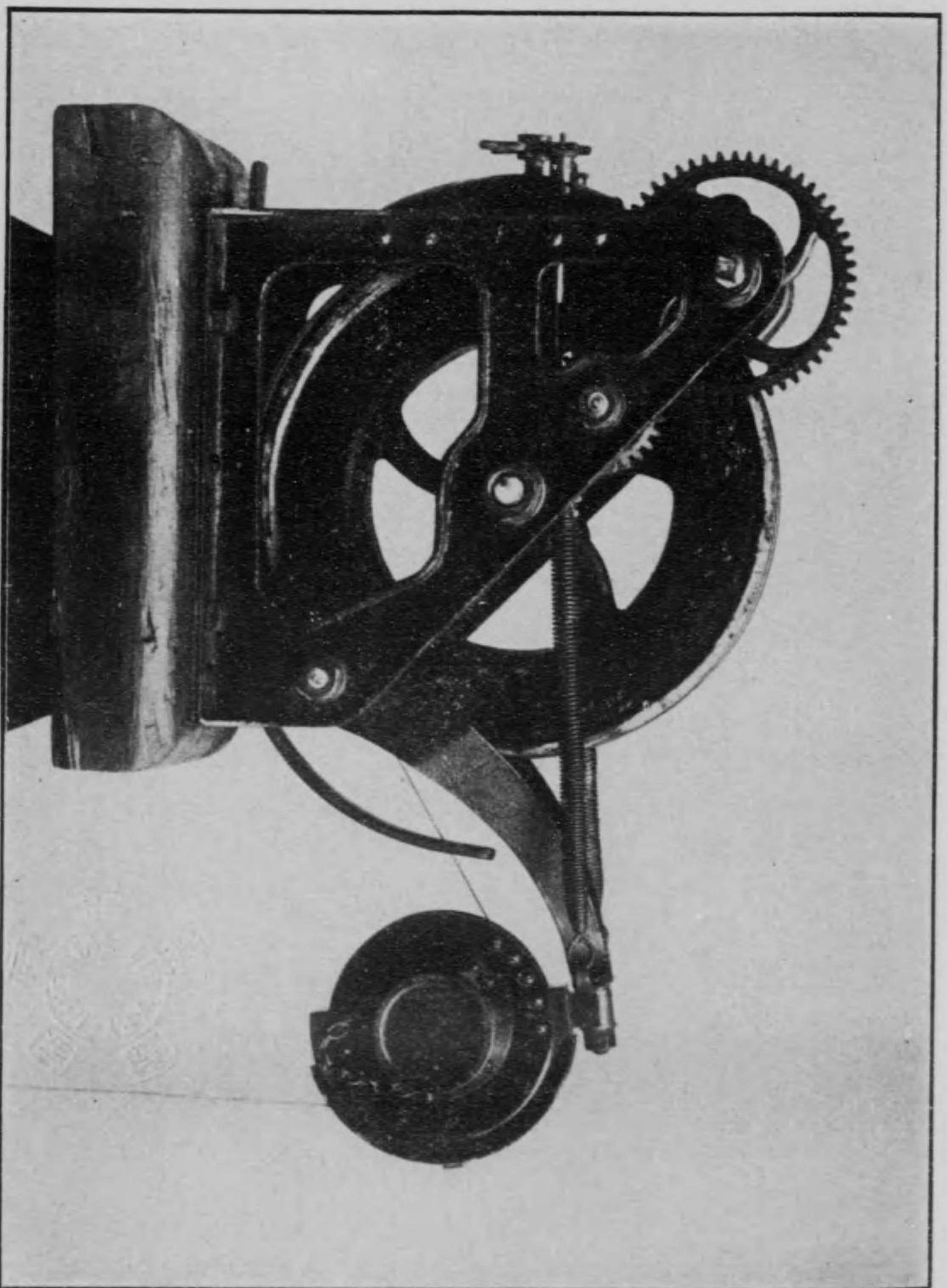
十八、三池郡三池燈臺地先水温高低表

十九、全上海水比重高低表

明治四十四年度事業報告目次終



圖用使一ラ一ホソイラ



機深測スカクル付据丸海玄

遠洋漁業試驗

一、汽船建造ノ理由

沿海漁業ノ漁村維持ニ直接關係ヲ有スルヤ言フ俟タザル所ナレドモ永久ニ局限的漁場ニ晏如タル事ノ難キモ亦明瞭ノ事實ナルベシ於是乎漁場ヲ擴張シ真正ナル遠洋漁業ニ從事スヘキ機運ハ邦ノ内外ヲ通シテ一般ニ磅礴タルニ至リ今ヤ補助機關又ハ「スクーター」「ケッチ」型帆船乃至鋼鐵製汽船等年ヲ遂フテ増加シ正ニ世界ノ水産國トシテ名實具備ノ盛況ニ向ヘリ左レハ斯業者ノ羅針盤トシ指導經營ノ任ニ當レル各府縣水産試驗場ノ如キモ競フテ此種漁船ノ建造ヲ企テ苟モ外海ヲ有セル府縣ニシテ之ヲ有セサルモノ獨リ本縣ノミナルニ至リテハ豈遺憾ノ極ナラスヤ、韓海ノ出漁近時聊カ他ニ後レサル程度マテニ進ミタリト雖トモ斯ノ如キハ徹底近海漁業ニシテ現在ニ於テコソ種々ノ關係ヨリ必要ナレ限リアル海面ノ出漁ハ早晚内地同様ノ運命ニ遭遇センコト必セリ加之此種ノ出稼乃至移住漁業ハ資本技能共ニ傳來ノ方法其儘ヲ應用シテ自在ニ經營シ得ラルヘキ事業ナルヲ以テ機運已ニ生セハ必スシモ多大ノ苦心ト失費トヲ要セスシテ漸次向上ヲ期シ得ヘケンナリ只夫レ漁場ノ擴張ト真正ナル遠洋漁業ノ如キニ至リテハ深甚アル試驗ト練習トヲ積ミテ更ニ大ニ鼓吹獎勵ヲ加フルニ非サレバ決シテ望ミ難キナリ彼ノ「トロール」問題ノ如キ今日ニ至ルモ尙ホ侵害ノ事蹟ヲ絶サル所以ノモノ畢竟此種漁船ノ絶無ナル

コト亦正ニ其一因タルナカラシヤ試ニ本縣ノ最大重要漁獲物タル鯛漁業ニ就テ之ヲ見シカ比較的勇敢ナル延繩漁業者ニアリテモ依然トシテ沿岸ニ萎縮シ未タ盛ニ沖合出漁ノ風ナキモノ蓋シ漁船ノ不完全ナルヲ操業區域自ラ限度アリテ自由ニ廣域ニ涉ル能ハサルト航行敏捷ヲ欲キ市場トノ聯絡甚タ困難ナルノミナラス常ニ風波ニ妨ケラルルコト其主因タラズンバアラズ彼ノ沖ノ島、小呂ノ島ノ如キ海洋ノ中心ニ伏礁崛起セル爲メ鯛其他ノ水族四時險鳴スレトモ現在ノ漁船ニ在リテハ出漁甚タ危険ナルタメ未タ充分ナル開拓ヲ試ミルコト能ハス徒ラニ父祖相襲キ垂涎スルノミニシテ今日尙ホ寶庫ノ鎖鑰ハ空シク海神ノ掌裡ニ委セルモノ豈慨嘆ノ至リナラスヤ然リ而シテ石油發動機ニ依ル漁船ハ既ニ一般ニ行ハルルニ至リタルヲ以テ苟クモ先覺唱導ノ任ヲ帶ヘル本場トシテハ百尺竿頭更ニ一步ヲ進メテ汽船漁業ヲ試ミルノ有利ナルヲ認メ之ニヨリテ本縣ニ於ケル遠洋漁業開發ノ端緒ヲ得ル爲メ「ケッチ」型補助帆付六十噸余ノ木造汽船ヲ建造シ第一着ニ玄洋沖合ノ漁場開拓ニ從事シ各種延繩流網等ノ漁業試驗ヲ施行シ傍ヲ漁場調査、漁夫養成ノ任務ニ從事センコトヲ期シ此ニ之ヲ建造スルニ至レリ

二、玄海丸

(一) 構造大要

イ、船體

本船ハ總噸數六拾參噸四二ニシシ實馬力百五十ノ冷却器附二聯成蒸汽機關ヲ備エタルスクーナー型純汽船ナリ加フルニ補助帆ヲ裝置シ帆走汽走隨時兩用ニ適セシメ船體ハ遞信省船舶規程ノ第二級船ニシテ龍骨、肋骨及船首尾材等要部ハ總テ楓及ヒ樅ヲ用ヒ其他ハ甲材及ヒ乙材ヲ兼用シ船底ハ吃水線マデ銅板ヲ張リ詰メ船首室ヲ分チテ錨鎖庫及ヒ船員室トシ次ニ活魚艙ヲ設ケ船體中央部ヲ機關室トシ船尾ハ海圖室ヲ兼テ航海用諸機具ヲ裝ヒタル幹部十官室トス

ロ、船首室

錨鎖庫ニ連リ水火夫及ヒ漁夫室ニシテ定員十一名ヲ容ルベク床下ニハ「バラスト」ヲ藏ス

ハ、機關

汽罐ハ船用箱形多管式ニシテ重要寸法左ノ如シ

罐	胴	直徑	六呎
全長		六	呎
常用汽壓		百三十	封度

汽機ハ船用逆立二回膨脹表面冷汽式ニシテ寸法左ノ如シ

高壓汽箱	直徑	十吋
低壓汽箱	直徑	二十吋

行長	十三吋
公稱馬力	十七馬力
實馬力	百五十馬力
回轉數	百五十回
推進器	文十式四翅單暗車

二、石炭庫

汽罐室ノ左右兩側ニ設ケ鐵板ヲ以テ區劃シ石炭約一万五千斤ヲ容ルヘク前部ニ罐水槽四個ヲ裝置シ合計約四噸ノ清水ヲ容ルルニ適ス

ホ、操舵室

船体中央部機關室上ニ設ケ本船ヨリ漁具捲揚ケニ際シ直接之ヲ監視シ且ツ漁具ノ方向状態ニ應シ自由ニ船体ヲ操縦シ機關室ヘハ傳令器ノ外號令管ヲ製置シ臨機機關ノ運轉ヲ指揮スルニ便ス

ハ、士官室

航海用ノ諸機具ヲ藏シ海圖室ヲ兼テ乘組主任、船長及機關長等ノ幹部室ニシテ最後ノ艙部ハ食料其他ノ器具ヲ收ムル倉庫トス

ト、重要物品重量表

汽機	四、六〇
汽罐	九、〇〇
汽罐内清水	四、〇〇
推進器	一、〇〇
煙突及通風器	一、五〇
機關取付諸管	一、四〇
船底包板	〇、九七
支水隔壁	一、一五
舵機	〇、一九
汽罐給水槽	一、三〇
飲料水槽	〇、七二
帆檣及艤裝	一、五〇
端艇	〇、四〇
石炭(石炭庫内滿載)	五、〇〇

(二) 特殊ノ設備

イ、活魚船

活魚船ハ所謂活洲ニシテ船底ノ肋骨間ヲ貫キテ真鍮製螺旋蓋付ノ管六個ヲ穿テ自在ニ海水ヲ流通セシメ漁獲物ヲ活養スル所トス

活魚船ノ兩側ヲ利用シテ船艙トナシ船具、器具其他ノ物品ヲ藏スルニ便ス

ロ、ラインホーラー

蒸汽力ヲ通シ機械ヲ回轉セシメテ延繩ヲ捲揚クルモノニシテ英國ノ鱈延繩等ニ專ラ使用サル、モノ初メテ本邦ニ輸入サレタルモノニシテ鯛及鱈延繩漁業試験ニ使用セントスルモノナリ

其構造直徑各一呎ノ鑄鉄製回車ヲ縱ニ二個連結シ内徑二吋半ノ單汽機ニヨリ回轉セシメ又徑一呎ノ「フライホイール」ヲ附シタルモノナリ

ハ、測深器

海洋觀測用、ルーカス式自働測深器ニシテ、測深線ハびあの用鋼線ヲ用ヒ之ヲ直徑一呎ノ車論ニ捲キ計尋器ヲ通シテ測深鉛ニ結着シ必要ニ應シテ垂下スレバ測深鉛ノ海底ニ到着シタルトキハ杆ノ下壓力ヲ減シ螺旋條ノ彈力ニヨリテ車輪ノ回轉ヲ停止ス此ノ際計尋器ノ面ニ顯ハレタル尋數ヲ讀ミテ海深ヲ

測ルモノナリ

ニ、採水器

海底若クハ深海中層ノ海水ヲ汲ミ取り水温及ヒ比重ヲ計ルモノニシテ其構造二重ノ真鍮製圓筒ヲ用ヒ同器ヲ所要ノ深サニ沈下セシメタル後下ケ網ニ落^{イッセンヤ}下錘ヲ送り鈎ヲ外シテ閉鎖セシムル仕懸ケニシテ其線リ上ル際深海ノ温度其儘ヲ持續セシメ異ル場所ノ温度等ヲ感セサラシムルニアリ

其他海底用寒暖計、比重計、採泥器、測流板、等及ヒ浮游生物採集器等海洋觀測ニ關スル所要具ヲ完備ス

ホ、主檣起倒裝置

本船ノ前檣ハ甲板上ニ鉄製ノ「ボックス」ヲ設置シ茲ニ前檣ヲ建立シテ起倒シ得ルノ裝置トナセリ蓋漁業中風壓ヲ減スルト共ニ猶船体ノ動搖ヲ防クニアリテ英國ニ於ケル汽船流網ノ多クハ皆之レニ則レリ本船ラインホーラーヲ以テ直接從漁スルニ當リ荒天ノ際之ヲ倒シ風壓及動搖ヲ防キ操舵ヲ意ノ如クナラシメンガ爲メニシテ其必要ニ應シテ起倒自任ニ逆風中航海ノ際モ猶強大ナル風壓ヲ減スルノ一助トモナルベキモノトス

ヘ、機關室入口

機關室出入口ハ普通左右兩舷側ニ設クト雖荒天航行ニ際シ波浪ノ浸入夥シキ折ハ鉄扉ヲ以テ之ヲ密閉

シ後部厨室内ヨリ出入シ且ツ換氣通風ヲ充分ナラシメ得ル裝置ヲ施セリ

(三) 船價及附屬品價格表

總額金貳萬五百圓

內 譯

- 金七千五百六圓五拾錢
- 金貳千貳百參拾五圓
- 金貳千六百五拾九圓貳拾錢
- 金千五百七拾八圓貳拾錢
- 金四百貳拾六圓五錢
- 金五百圓
- 金千參百九拾七圓五拾錢
- 金六百圓
- 金參千五百九拾七圓五拾五錢

- 船體價格
- 汽罐價格
- 汽機價格
- 甲板部附屬品
- 機關部附屬品
- 帆裝艫裝費
- 船底包板
- 釘代
- 工作費

(四) 船體設計書

- 一、本船ハ實馬力百五十ノ蒸汽機關ト補助帆トヲ裝ヘル總噸數六十三噸余ノ汽船ニシテ常ニ遠洋ノ航海ニ出漁調査ニ從事スルヲ以テ其構造ハ充分堅牢ニ其設備モ亦完全ナラサル可ラス從ツテ其設計ニ於テハ遠洋漁船検査規定第二級船及ヒ木船検査規定ニ合格スベキハ勿論延繩汽船トシテ必要ナル設備ヲ施シ且ツ縣指定ノ監督者ヲシテ充分満足セシムヘキモノトス
- 一、本船工事ハ熟練ナル職工ヲ使用シ叮嚀ニ建造スベシ
- 一、木材ハ有害ナル節瘤其他ノ欠点ヲ避ケ充分乾燥シタルモノヲ用ヒ曲材ハ總テ天然ノ屈曲材ニシテ木目ノ貫通セルモノヲ使用スベシ
- 一、固着敲釘ハ總テ同質座金ノ上ニテ敲着シ板ヲ肋骨又ハ梁ニ固着スベキ打込釘ノ長サハ貫通スル板ノ二倍以上タルベク其徑ハ其部分ニ用フル敲釘ノ徑ヨリ八分一時減シタルモノヨリ少ナカル可ラス又敲釘ヲ打込ムヘキ敲釘ノ徑ハ釘徑ヨリ十六分ノ一以上小ナルヘシ
- 一、敲釘ニシテ特ニ其材料ヲ明記セルモノ、外單ニ敲釘トアルハ亞鉛鍍鐵敲釘トシ打込釘モ亞鉛鍍鐵トス
- 一、吃水線以下ニ用フル金具ハ凡テ眞鍮製タルコト

一、圖面及設計書ニ差異アル場合ハ設計書ニ準スルモノトス而シテ設計書ニ脱漏アルヲ口實トシ其設備ヲ不完全ナラシムルヲ許サス

船体重要寸法

長 (遠洋漁船検査規程ニヨル)	七十二呎
巾 (全)	十六呎六吋
深 (全)	八呎三吋
長ト巾ノ比	四、三六
長ト深ノ比	八、七三
巾ト深ノ比	二、〇〇
第一數	一六、五
第二數	九八〇一、〇
計劃噸數	約六〇噸
計劃速力	八節以上
吃水	前部六呎二吋 後部七呎六吋
工事及材料	

第一條 龍骨

深サ九吋巾八吋嵌接ハ鈎形水平嵌接トシ其長四十五吋以上端末ニ於ケル龍骨ノ深サハ二吋四分ノ一以上トス各嵌接ハ徑十六分ノ十一吋敲釘ヲ以テ兩端二個宛中間ハ十二吋以内ノ心距ニ配置シテ緊着ス嵌接ノ位置ハ内龍骨及龍骨翼板ノ嵌接ト五呎以上橋根艙口ト適當ニ避距スベシ

第二條 假龍骨

厚二吋巾八吋トス徑八分ノ三吋打込釘ヲ以テ龍骨ニ固着スベシ

第三條 船首材

巾三吋深十吋一材ヲ以テ作リ龍骨トノ嵌接ノ長サハ四十吋以上トス其構造固着法ハ龍骨ト同シ

第四條 船尾材

厚八吋深九吋以上トナシ上部ハ甲板迄達セシメ下部ハ笱ヲ作出シテ龍骨ニ嵌入シ水留栓ヲ打込ミ黃銅製金具ヲ以テ圖示スル如ク龍骨、船尾材、舵柱材ノ三材ニ跨ル金具ヲ兩面ニ取付ケ徑八分ノ五吋黃銅敲釘ヲ以テ結合ヲ完全ナラシム可シ

第五條 舵柱材

厚八吋深九吋上部ハ甲板迄達セシメ下部ハ笱ヲ作出セシメテ龍骨ニ嵌込ム可シ

第六條 船首尾力材

厚六吋高斜肋骨ヲ取付クルニ充分ナラシメ徑八分ノ七吋敲釘ヲ心距十八吋以内ニ配置シテ船首材船尾材及龍骨ニ固着スベシ

第七條 船尾縱翼材

樺

厚四吋深九吋以上頂部ニ至ルニ從ヒ次第二大サヲ減シ三吋四分ノ一角トス本材ヲ以テ船尾材及ヒ舵柱材ヲ相狹ミ其間隙ニハ同質材ノ填材ヲ挿入シ徑八分ノ五吋敲釘ヲ十二吋以内ノ心距ニ配置シテ固着スヘシ船柱材トハ特ニ二本宛ノ敲釘ヲ以テ固着スヘシ

第八條 船尾管胴材

樺

一材ヲ以テ作り其寸法ハ船尾管外徑ノ二倍以上トス徑八分ノ七吋敲釘ヲ管胴材上部ニ於テ十二吋以内ノ心距ニ配置シテ船尾材及龍骨ニ固着スヘシ但シ船尾材ノ敲釘ヲ兼用スルモ差支ナシ

第九條 肋骨

樺

長短肢肋材ヲ以テ構成シ肋根材ノ厚サ三吋二分ノ一深五吋二分ノ一彎曲部厚サ三吋二分ノ一深四吋二分ノ一頂部三吋四分ノ一角トス肋根材ノ總長六、六呎累接ノ長船巾ノ七分ノ一以上各材ノ壁距二呎以上徑八分ノ四吋敲釘ヲ以テ兩端ニ一個宛中間ハ十吋以内ノ心距ニ徑八分ノ三吋打込釘ヲ以テ固着スヘシ船首肋材及鑄鐵肋材ハ各一材ヲ以テ作り其幅ハ肋骨ノ二倍以上トス。肋骨心距十四吋トス

第十條

內龍骨

樺

九吋八分ノ五角平面水平嵌接ノ長ハ用材ノ深ノ五倍以上トシ其末端ニ於ケル內龍骨ノ深二吋二分ノ一以上トシ徑八分ノ六吋敲釘又ハ「ナットボルト」ヲ兩端ニ二個宛中間ハ龍骨ノ如ク配置シテ固着シ嵌接ノ位置ハ龍骨ノ嵌接ト五呎以上、汽機汽罐トハ適當ニ避距スヘシ

第十一條

側內厚板

松

巾八吋厚二吋四分ノ三嵌接ノ長二十四吋以内、徑八分ノ四吋敲釘三本ヲ以テ固着スヘシ本材ハ可成肋材根材ト第一肋材トノ接合部ニ取付ケ徑八分ノ四吋敲釘及徑八分ノ三吋打込釘ヲ以テ交互ニ肋骨ニ固着スヘシ

第十二條

灣曲部縱通材

松

厚二吋四分ノ三巾七吋四枚通リトス嵌接ノ長二十一吋徑八分ノ四吋打込釘ヲ以テ接合シ徑八分ノ五吋敲釘及徑八分ノ四吋打込釘ヲ以テ肋骨一本置キニ其他ノ肋骨ニハ打込釘二本宛ヲ以テ固着スヘシ

第十三條

梁受板

樺

幅九吋二分ノ一厚二吋二分ノ一嵌接ノ長三十吋以上徑八分ノ五吋敲釘三本以上ヲ以テ接合シ徑八分ノ五吋敲釘及打込釘ヲ以テ肋骨毎ニ固着スベシ但敲釘ハ外板迄貫通セシムヘシ本材嵌接ノ位置ハ梁壓材舷側厚板、嵌接ノ位置ト適當ニ避距スベシ

第十四條 梁壓材

樺

一四

幅九吋二分ノ一厚三吋二分ノ一嵌接ノ長二十八吋二分ノ一徑八分ノ五吋敲釘三本以上ヲ接合シ徑八分ノ五吋敲釘及徑八分ノ四吋打込釘ヲ以テ肋骨毎ニ固着スヘシ但シ敲釘ハ外板ヲ貫通シテ敲着スヘシ本材嵌接ハ舷側厚板及梁受板ノ嵌接ト適當ニ避距スヘシ

第十五條

舷 樑

樺

厚二吋巾八吋嵌接ノ長二十四吋徑八分ノ三吋敲釘ヲ以テ舷樑柱毎ニ貫通固着スヘシ肋骨ノ間ニ於テハ徑八分ノ四吋敲釘及ヒ徑八分ノ三吋打込釘ヲ以テ交互ニ舷側厚板ヲ貫通シテ固着スベシ梁ノ中間ニ於テハ徑八分ノ三吋打込釘ヲ以テ梁壓材ニ固着スヘシ

本材嵌接ハ梁壓材舷側厚板ノ位置ト適當ニ避距ズヘシ

第十六條

甲板梁

普通甲板梁

松、六吋四分ノ一角

機關室前後梁及中央梁

樺、八吋角

全上 縱梁

樺、七吋角

活魚艙前後梁及中央梁

樺、七吋角

全上 縱梁

樺、六吋四分ノ一角

橋ノ前後梁

松、七吋角

半梁

杉、五吋二分ノ一角

梁矢四吋四分ノ一心距ハ肋骨心距ノ二倍二分ノ一以內トス梁ハ可成肋骨ノ位置ニ取付ケ梁受板上鳩尾溝ニ嵌入シ徑八分ノ四吋打込釘ヲ以テ梁受板ニ固着シ又徑八分ノ五吋敲釘ヲ以テ梁壓材梁及梁曲材ヲ貫通シテ固着スヘシ梁ハ漸次其深サヲ減シ梁端ニ於テ中央梁載面ノ十分ノ九ト爲スヘシ又船ノ中央ニ於ケル梁ノ長サノ四分ノ三ヨリ短カキ梁ハ半梁ニ等シクスルコトヲ得

機關室中央梁ハ取外シ得ル構造トナシ圖示セル如キ鑄鐵製金具ヲ縱梁ニ堅牢ニ取付ケ遺憾ナカラシム可シ

第十七條

梁 柱

松材四吋角トシ必要ナル個所ニ取付クルモノトス

第十八條

梁 曲 材

配置圖ニ示ス位置ニ於テハ木製縱梁曲材及橫梁曲材ヲ取付ク可シ又船首室及船尾室ハ鍊鉄製縱梁曲材ヲ取付クヘシ

木製縱梁曲材

樺

普通甲板梁ニ於テハ幅四吋厚咽喉部六吋腕端四吋艙口梁ニ於テハ幅四吋二分ノ一厚咽喉部六吋半腕端

一五

四吋四分ノ一トス

特設梁ニ於テハ幅五吋厚咽喉部七吋二分ノ一腕端五吋トシ半梁ニ於テハ幅三吋二分ノ一咽喉部五吋四分ノ一腕端三吋半トス

鉄製縱梁曲材

咽喉部ノ角ニ於テ厚サ二吋咽喉部ニ於テ厚サ一時梁腕ノ端ニ於テ八分ノ三吋側腕ニ於テ八分ノ五吋巾二吋四分ノ一梁曲材ノ梁腕ノ長サ十五吋側腕ノ長サ二十二吋

木製橫梁曲材

樺

特設梁ニ於テハ幅三吋四分ノ三厚咽喉部ニ於テ五吋二分ノ一腕端三吋四分ノ三トシ其他ノ梁ニ於テハ幅三吋四分ノ三厚咽喉部五吋腕端三吋四分ノ一トス、腕ノ長十五吋以上トス

縱梁曲材ハ木鉄共咽喉部徑八分ノ六吋其他ハ徑八分ノ五吋腕敲釘五個以上ヲ以テ心距十二吋以内ニ配置シテ梁及船側ニ固着ス可シ

第十九條

船首尾肘材

樺

船首ニ貳個船尾ニ壹個ノ木製肘材ヲ附ス

其寸法左ノ如シ

厚五吋深咽喉部ニ於テ七吋二分ノ一腕端ニ於テ五吋トシ腕長ハ少クトモ三肋骨ニ跨ルニ充分ナラシメ

徑八分ノ六吋敲釘ヲ以テ咽喉部ヲ船首材又ハ船尾材ニ各腕ヲ肋骨毎ニ固着ス可シ

第二十條

甲 板

米 松

厚二吋四分ノ一巾五吋以内トス船ノ首尾兩端及諸口ノ間ヲ除キ各材ノ長サ二十呎以上隣接スル木甲板橫線ノ避距ハ梁ノ心距ノ二倍以上三條ヲ隔ツルニアラサレバ同一梁上ニ置クヘカラス

八分三吋角打込釘二本宛ヲ以テ梁ニ固着ス橋及揚端機等ノ座板ハ縦板ヲ以テ作り梁ノ心距二倍以上ノ長サノモノヲ用ヒ厚三吋以上トス

第二十一條

外 板

米 松

厚二吋巾八吋以内首尾兩端ニ用ユル者ヲ除キ各材長十八呎以上外板橫線ノ避距ハ船ノ首尾兩端ヲ除キ上下ニ隣接スルトキハ肋骨心距ノ三倍以上一條ヲ隔ツル時ハ同二倍以上二條ヲ隔ツル時ハ肋骨心距以上三條ヲ隔ツルニ非サレバ同一肋骨上ニ置カサルモノトス橫線ノ兩側ニ於テハ徑八分ノ四吋敲釘及徑八分ノ三吋打込釘ヲ以テ肋骨ニ固着シ其他ノ部分ハ徑八分ノ四吋敲釘及徑八分ノ三吋打込釘一本宛ヲ以テ肋骨一本置キニ其ノ他ノ肋骨ニハ同徑打込釘二本ヲ以テ固着スヘシ外部腰板二吋二分ノ一ノ惣巾二十九吋以上トス

第二十二條

龍骨翼板

樺

厚二吋四分ノ三巾十吋嵌接ノ長三十吋以上徑八分ノ五吋打込釘三本以上ヲ以テ龍骨ニ二吋以上打込ミ

得ルモノヲ以テ接合シ兩舷ニ於ケル嵌接ノ避距ハ肋骨心距ノ三倍以上トシ龍骨ノ嵌接及長五呎以上船
艙ト適當ニ避距スヘシ

第二十三條 舷側厚板

樺

巾十吋厚二吋二分ノ一嵌接ノ長三十吋以上徑八分ノ五吋敲釘三本以上ヲ以テ接合シ全敲釘一本及打込
釘二本宛ヲ以テ骨肋毎ニ固着スヘシ

本材嵌接ハ梁受板梁壓材ノ嵌接ト適當ニ避距スヘシ

第二十四條

内張板

杉

厚一時四分ノ一巾十二吋以內トシ各材ノ長十八呎以上トス徑八分ノ二吋打込釘ヲ以テ肋骨毎ニ固着ス
ヘシ

第二十五條

舷 檣

肋骨一本置キニ肋材一本ヲ延長シ之ヲ舷檣柱トナシ米松厚一時二分ノ一巾約五吋ノ舷檣板ヲ張り柱ノ
頂上ニ厚二吋巾八吋ノ樺手摺板ヲ取付ク可シ

第二十六條

舵心材

樺

一材ニテ作り其徑九吋トス徑八分ノ七吋敲釘ヲ十八吋以內ノ心距ニ配置シテ松矧材ニ固着ス蝶番ハ三
組黃銅製トス

舵針ノ徑一時十六分ノ七以上壺金ノ厚四分ノ三吋以上深一時八分ノ七以上トシ徑八分ノ四吋敲釘ヲ以
テ固着ス黃銅製シユービーヌヲ圖示スル如キ大サトシ徑八分ノ五吋黃銅敲釘ヲ以テ舵柱ノ船尾材及龍
骨ニ跨リ堅牢ニ固着ス可シ

第二十七條

橋及諸圓材

橋及諸圓材ハ杉材トス

- 一、メン マスト 長二十四呎 (甲板上) 徑十吋
- 一、フォア マスト 長三十四呎 (全) 徑九吋
- 一、メン ブーム 長二十一呎 徑五吋
- 一、メイン ガフ 長十八呎 徑四吋
- 一、フォア ガフ 長十八呎 徑四吋

正橋前橋共甲板止ニ止メ鉄板及山形材ヲ以テ圖示セル如キ筒ヲ作り堅材ノ座板上ニ山形材ヲ以テ取リ
付ケ固着用ナット及ボルトハ甲板梁及橫梁曲材ヲ貫通シテ堅着スルモノトス前橋ハ管ノ上部ヲ左右舷
ニ山形材ノ支柱ヲ設ク可シ

正橋ハ管ノ形圖示スル如キモノトシ「エンジンケーシング」ニ山形材ヲ以テ取付ク可シ
正橋ノ厨室頂部ヲ貫通スル處へ「キャンパス」ヲ以テ水留ヲナスヘシ

第二十八條

索具及滑車等

- 鋼索
 - 一、メインリギン、 鋼索 徑四分 (兩舷三本宛)
 - 一、フオーアリギン、 全 徑四分 (兩舷三本宛)
 - 一、メインバンクラインペンチント、 ワイヤ 徑三分
 - 一、メントツピングリフトペンチント、 ワイヤ 徑三分 (貳本)
 - 一、フオーアバンクラインペンチント、 ワイヤ 徑三分
 - 一、ボートホールペンチント、 ワイヤ 徑三分 (貳本)
 - 一、メイガイベンチント、 ワイヤ 徑四分 (貳本)
 - 一、フオーアガイベンチント、 ワイヤ 徑四分 (二本)
 - 一、フオーステ、 鋼索 徑四分

各リギンハ リギンスクリユーヲ以テチンプレートニ取り付クルモノトス

- トライヤチツクステー 鋼索 徑四分
- メインスロートハリヤード マニラ 徑五分
- メインビークハリヤード 全 徑五分
- メインバンクラインラニヤード 全 徑四分

- メインガイテークルラニヤード 全 徑四分
- メインスルダンホール 全 徑四分
- メインシート 全 徑六分
- フオーアスロートハリヤード 全 徑五分
- フオーアビークハリヤード 全 徑五分
- フオーアバンクラインラニヤード 全 徑四分
- フオーアガイテークルラニヤード 全 徑四分
- フオースルダウンホール 全 徑四分
- フオーアシート 全 徑五分
- フオーステースルシート 全 徑五分
- フオステースルシート 全 徑四分
- フオステースルダンホール 全 徑四分
- ボートホールラニヤード 全 徑四分
- リフテークルラニヤード 全 徑四分
- アンカダビット用テークルラニヤード 全 徑八分

滑車ハ「ハリヤード」及「シート」用ハ凡テ「デクナンバイター」「シーブ」「ベテントブロック」ヲ用ヒ其他ハ普通徑「シーブ」「トス何レモ」「ロープ」ニ合セテ堅牢ナルモノヲ監督者ノ承諾ヲ經テ取付ケ完全ナラシム可シ

第二十九條 帆 布

江州帆布鋪印トシテ凡テ四番ヲ用フベシ

メインスル 一 枚

フオースル 一 枚

フオーステースル 二 枚

第三十條 船内諸室

船 尾 室

圖示スル如ク室ノ上部ハ甲板梁上一呎高メ室内ノ兩側ニハ一人寢台ヲ各二個宛ヲ附シ寢台ニハ藁布團ヲ敷キ眞鍮製徑三分ノ「バイブ」ニ依リテバンテン製「カーテン」ヲ掛ケ寢台覆ヒトナスヘシ

寢台ノ下部ハ物入レトナシ且ツ圖示スル如ク「ソツハー」ヲ兩舷ニ設ケ其下部モ物入レトス
室内ニハ圖示スル如キ食卓兼用ノ「テーブル」一基ヲ設ケ室ノ中央ニハローリングラング（ニツケルメツキ製）ヲ取附ケ室ノ正面ニハ小型ノ姿見鏡ヲ附シ其左右ニハ検査証書及國籍証書ノ同型額ヲ取付ク

ヘシ

室内ハ白色塗リトシ樺材ヲ以テ作りタルモノハ「ワニス」塗トス室内昇降梯子モ樺製トシ凡テ裝飾ト實用ヲ兼備スヘシ床板ハ杉厚サ一吋トシ「カーベツト」ヲ敷キ詰メ「シャフト」檢分ノ處ハ揚ケ板トナスヘシ

船 首 室

左右舷上部ノ後部寢台ハ二人用トシ其ノ他ハ一人寢台トス船首全員ニテ八名ノ寢台ヲ設ク可シ用材ハ樺及松杉ヲ用ヒ藁布團ヲ敷キ徑三分鉄「ボート」ニ依リ更紗ノ「カーテン」ヲ附シ室内後部ニハ腰掛ヲ圖示スル如ク作り中央部ニハ食卓用「テーブル」ヲ設ケ「ローリングラング」一箇ヲ附スヘシ室内ハ白色塗リトシ樺材ハ凡テ「ワニス」塗リトス腰掛ハ凡テ取外シトナシ物入レトス其他監督者ト合議完全ニナスヘシ

第三十一條 炊 事 室

船尾室上部前方甲板ニ設ケ甲板内側六呎ノ高サトス松材及杉材ヲ混用シテ圖示スル如ク作製シ後部ニ出入口ヲ設ケ左舷後ニハ五升焚釜及四升焚鍋及七輪ヲ掛ケ得ル竈ヲ耐火煉瓦ニテ作り下部ハ鉄板ヲ敷キ火災ノ憂ナカラシム可シ水流シ場ハ凡テ「セメント」ヲ以テ二吋以上堅メ水排ケヲ便ニスヘシ機關室出入口モ該室内ニ設クルヲ以テ汚穢ニ流レサル様注意スヘシ

「メインマスト」モ該室内ニ建設サルヲ以テ炊事室ノ頂部ハ充分「キャンパス」ヲ以テ水留シマストノ屈曲スルトモ炊事室ニ震動ヲ與エサル様注意スヘシ

該室四隅ニ徑四分ノ三吋敲釘ヲ以テ室ノ頂部ヨリ甲板梁及縦梁ニ貫通固着スヘシ

第三十二條 機關室及石炭庫

機關室ニハ汽機汽罐ニ相當スル堅材ノ機關台ヲ設ケ汽罐ノ後部ニハ内龍骨ヲ相狹ンデ二個ノ鉄製鑪水槽ヲ備ヘ各二噸入りトシ汽罐ノ兩側ニハ各二個ノ四分三噸入りノ鉄製鑪水槽ヲ設ケ夫ヨリ兩舷ニ厚十六分ノ二吋ノ鉄板ヲ縦梁及船底ニ取付ケタル二吋、二吋十六分ノ三吋山形材ヲ以テ長サ十呎六吋石炭庫ヲ設ケ二吋、二吋十六分ノ三吋山形材ヲ心距約十八吋以内ニ取付ケ下部ハ防撓材一本置ニ鉄「ブラツケソト」ヲ以テ堅固ニ固着スヘシ兩舷ニ石炭出口ヲ設ケ甲板上ニハ内徑十八吋ノ鑄鉄製螺旋蓋ヲ有スル石炭投入口ヲ各舷二個宛ヲ取付ケ可シ

第三十三條 艙庫及活魚艙

活魚艙ノ兩側ヲ船艙トシ甲板上ニ直徑二呎ノ鑄鉄製水密螺旋蓋ヲ有スル出入口ヲ兩舷ニ設ケ可シ
活魚艙ハ圖示セル場所ニ設ケ機關室トハ鑄碎綿(シリケツトコツトン)一立方呎二十三オンスノ割合ニテ防熱裝置ヲナシ各隔壁ハ水密トナシ艙ヲ前後部ニ區劃シ中央線ニ沿フテ取外シ隔壁ヲ設ケヘシ
隔壁ハ凡テ杉亦身ニシテ船底厚一吋二分ノ一其他ノ壁ハ凡テ二吋トシ巾ハ八吋乃至九吋以内トス

各活魚艙内ニ機關室ヨリ内徑二吋ノ「パイプ」ヲ通シ各自「ポンプ」ニ依リテ曳水シ得ル構造トナスベシ
活魚艙ニハ肋骨一本置キニ可成中心線ニ沿フテ内徑四吋ノ眞鍮製「パイプ」ヲ外海ニ通セシメ金網及水密螺旋蓋ヲ附シ蓋ハ甲板上ヨリ捻シ廻シニ依リテ取外シ得ル構造トナスヘシ
各戸立板ニハ中央斷面圖ニ示ス如ク松材三吋二分ノ一角防撓材ヲ取リ付ケ可シ

第三十四條 錨鎖庫

船首室ノ最前部ニ錨鎖庫ヲ設ケ頂板ハ悉ク取外シ得ル構造トナシ左右舷ノ錨鎖ノ綫レサル様庫ノ中央ニ壁ヲ設ケ可シ

第三十五條 諸物入室

船尾士官室後端ノ船尾物入室ニハ食料品米庫等ヲ設ケ炊事品等ハ可成炊事室内ニ收納スル様棚ヲ設ケヘシ

第三十六條 操舵室

機關室圍壁ノ上部前方ニ圖示スル如ク作製シ機關圍壁上内側六呎六吋トス後部中央部ニ出入口ヲ設ケ床ハ汽罐ノ熱氣ヲ受クルヲ以テ五吋ノ間隔ヲ保タシメ下部通風ヲ便ナラシム可シ中央上部ハ硝子窓トシ揚ケ下シ自在ナラシム可シ室ノ中央前方ニハ圖示スル如ク液体「コンパス」六吋ノモノヲ取付ケ室ノ天井裏ニ「テール、テール」「コンパス」ヲ取付ケ信号旗梓海圖棚等ヲ取付ケ「ラダホイール」及「ギヤ」ハ

室ノ中央後部ニ取付ケ「チエン」及鉄棒ニ依ツテ船尾「コールドラント」ニ連續スヘシ「ボート」及「チエン」ハ機關室圍壁ニ沿フテ一直線ニ内徑三吋ノ「パイプ」ニ依テ導カレ船尾室後部ニテ木製箱ニテ覆フモノトス監督者ト合議完全ヲ期ス可シ

第三十七條 機關室圍壁

機關室縁材ハ樺材厚三吋巾甲板梁上十二吋トス四隅ハ通俗「アリボリ」トナシ徑八分ノ五吋敲釘ヲ十八吋以内ノ心距ニ兩端梁及縦梁ニ固着シ上部ニ二吋、二吋十六分ノ三吋山形材及厚十六分ノ二吋鉄板ヲ以テ縁材上ニ二十吋以上ノ圍壁ヲ設ケ山形材ハ圖示スル如ク頂部ノ山形材ト縦ノ防撓材ハ鉄「ブラツケット」ニ依テ固着ス可シ正橋筐ヲ取付クル場所、操舵室下部等ハ特ニ大ナル鉄「ブラツケット」ヲ取付ケ充分補強ヲナス可シ

使用敲釘ハ徑八分ノ三吋心距ハ一吋八分ノ一山形材取付ノ心距ハ約二吋半トス

機關室昇降口ハ左右兩舷及炊事室ノ三ヶ所ニシテ兩舷ノ昇降口ハ荒天用水密戸ヲ附シ堅牢ニ構造スヘシ昇降梯子ハ鐵製トス圍壁上部ニ圖示スル如ク天窓ヲ設ケ丸硝子ヲ嵌メ込ミ鐵製開閉自在棒ヲ取付ケ且ツ荒天用覆布及絞付ケ金具等ヲ完備スヘシ

煙筒ノ兩側ニハ内徑一呎ノ「カウルペン」ヲ取付ケ自由ニ方向變轉セシムル事ヲ得ルモノトス

第三十八條 飲料水槽

機關室圍壁上ニ鐵製約四分ノ三噸入りノ飲料水槽ヲ設ケ移動セサル様堅牢ニ取付ケ「コツク」ニ依リテ炊事室ニ導ク可シ

第三十九條 諸口ノ縁材

活魚艙縁材樺製厚二吋二分ノ一巾十二吋四隅ハ「アリボリ」ニシテ編合ス可シ徑八分ノ五吋敲釘ヲ十八吋以内ノ心距ニ配置シテ甲板梁及縦梁ニ敲着シ上部ニハ夏期鯉釣漁業使用トシテハ「グレートチング」ヲ備ヘ冬期漁業トテハ板子ヲ備フヘシ

圖示スル如ク鐵製「クリート」及「リングボルト」「バツテン」楔等ヲ備ヘ荒天用覆布二枚ヲ備フ可シ

船尾室上縁材樺材トシ厚二吋二分ノ一高一呎トス前記同様ノ固着法ヲナス可シ

其他縁材ハ松材トシ組合セ及固着法等モ前記同様ノ固着法ヲ施スヘシ

第四十條 甲板出入口

船首尾室出入口ニ圖示セル如キ出入口ヲ作製シ荒天用絞付金具及覆布ヲ供フ可シ

第四十一條 排水裝置

各舷ニ三ヶ宛鉛内徑三吋ノ「スカツバー」及適當ナル位置ニ排水戸ヲ各舷ニ三ヶ宛監督者ト合議ノ上取付ク可シ

第四十二條 便所及舷燈

甲板上ニ監督者ト合議ノ上木製カンバス張り便所ヲ作ル可シ舷燈ハ操舵室上部ニ舷燈臺ヲ設ケ充分堅牢ニ作製ス可シ

第四十三條 揚 錨 機

適當ナル型ニシテ約四百封度ノ錨ヲ容易ニ捲キ揚ケ得ル蒸氣「ウインドラス」ヲ船首圖示セル場所ニ取付ケ鑄鐵製内徑六吋以上ノ「チエンパイプ」及「ホースホール」ヲ取付ケ可シ凡テ監督者ト合議ノ上作業ニ差支ナキ場所ヲ通セシム可シ

第四十四條 アンカデビット

船首圖示セル場所ニ鍊鐵製ニテ約四百封度ノ錨ヲ容易ニ捲キ揚ケ得ル大サノモノヲ取付ケ取外シ得ル装置トナス可シ

第四十五條 甲板上明取リ

圖示セル場所ニ「ブリズム」型巾三吋長九吋ノ「デツキガラス」ヲ取付ケ水密装置トナスハ勿論眞鍮製押へ金具ヲ取付クヘシ

第四十六條 甲板上諸金具及其他

「シート」用「トラベラ」「リングボルト」「クリート」「チヨク」「アイボルト」等凡テ作業上必要ナル場所ニハ監督者ト合議ノ上取付クベシ

第四十七條 通風装置

船首室上部内徑十吋鐵製「カウルベンチレータ」一個ヲ取付ケ取外シ得ル装置トナシ取外シタルトキハ木栓ヲ差シ込ム装置トナス可シ

船尾室上部ノ天窓兼通風箱ハ圖示スル如キ箱型ニシテ「ケーシング」ノ兩側ニ各二個ノ丸硝子及頂部ニモ二個ノ丸硝子ヲ嵌メ込ミ船首尾ニ開閉スルモノトス之レニ用ユル金具ハ凡テ眞鍮製トス機關室上部ノ通風ハ機關室圍壁ノ條ヲ參照スヘシ

第四十八條 船首尾オーニングスタンション

圖示セル如ク船首尾ニ亞鉛鍍鐵製徑一時二分ノ一高甲板六呎ノモノヲ用ヒ「ワイヤ」其他必要ナルモノヲ供フ可シ

船尾用「オーニング」ハ帆布七番ニテ製シ船首用ハ魚鱗「オーニング」トナルヲ以テ帆布六番ヲ以テ製作ス可シ

第四十九條 コーキング

外板及甲板ハ上等「ホーコン」ヲ以テ四本以上填絮シ外板水線以下及甲板ハ上等「ビツチ」ヲ流シ込ミ外板水線上ハ「ボテ」ヲ詰メ充分水密装置ヲナシ監督者ト立會ノ上「ボンブ」ヲ以テ水密試験ヲ施ス可シ

第五十條 船 体 塗

吃水線以上ハ白色ペンキヲ塗り三回仕上ゲトナシ吃水線以下ハ「ター」ヲ塗リ上等毛紙ヲ敷キ十四オン
ス銅板ヲ吃水線上一呎ノ處迄張詰ム可シ

船首尾船名ハ金箔塗リトナスヘシ

第五十一條 端 艇

長十六呎幅五呎深一呎十吋ノ端艇ヲ備フ可シ

用材ハ檜杉ヲ混用シテ製作シ樞ハ六挺立テトス、「クラッチ」「樞木栓」「ボートフック」「杓子錨」「タンク」等
検査規程ニ必要ナル附屬具ヲ完備スヘシ

第五十二條 壓 艙物

適當ナル場所ニ監督者ノ命スル位置ニ移動セサル様積込ム可シ

第五十三條 錨及錨鎖

一、大 錨 (錨鉾ヲ除ク) 單量 三百八封度 二個

一、中 錨 (全) 重量 八十四封度 一個

一、大錨錨徑十六分ノ十一吋 長 百五尋

一、中錨錨徑十六分ノ七吋 長 四十五尋

一、挽索麻索周五吋 長 七十五尋

一、大索麻索周二吋四分ノ三 長 七十五尋

錨鉾ノ重量ハ錨量ノ四分ノ一以上トス

第五十四條 船体附屬具

一、救命浮環 貳

一、救命 燭 貳

一、橋 燈 壹

一、舷 燈 壹對

一、碇 泊 燈 壹

一、漁 業 燈 壹 揃

一、紅 燈 貳

一、黑 球 貳

一、火 箭 六

一、霧 中 號 角 壹

一、號 鐘 壹

一、國 旗 壹

- 一、信號旗 壹組（「バンテ」製二巾ノモノ）
- 一、信號書 壹組
- 一、船名錄 壹
- 一、時計 四
- 一、羅針盤 三（液体コンパス「テールテール」
「コンパス」「ポートコンパス」）
- 一、手用測程具 壹（紙付）
- 一、砂漏計 二十四秒及二十八秒
- 一、手用測鉛 壹
- 一、晴雨計 壹
- 一、寒暖計 壹
- 一、雙眼鏡 壹
- 一、消防用手桶 四
- 一、斧 壹

以上

本仕様書ハ別ニ添付スル圖面ヲ参照スルヲ要ス圖面ト仕様書ト相違ノ点アルトキハ仕様書ニ依ルモノトスルモ圖面ニ記示サレアルモノハ仕様書ニ漏レタルモノト雖モ當然附屬スヘキモノトス

（五）機關設計書

第一條 本機關ハ逓信省漁船検査規程ニ合格スル様構造シ製造中部分検査ヲ受ケ且當試驗場監督官吏ノ指揮監督ヲ受ケ製造スヘキモノトス

汽機

第二條 本汽機ハ船用逆立二回膨脹表面冷流式ニシテ二箇ノ汽筒ヲ有シ「クランク」ノ角度九十度トス單暗車式ニシテ排氣唧筒、循環唧筒、給水唧筒、塗水唧筒ハ主汽機ニ仍リ働作サルヘキ裝置トナシ總テ逓信省漁船検査規程ニ則リ常用汽壓百二十封度ニ堪ヘ得ヘク別紙圖面仕様書ニ示ス船体ニ据付ケ速力八節二分ノ一ニシテ毫モ振動ナク堅牢精確ニ構成スヘキモノトス

第三條 汽箱 本汽箱ハ最モ良質ノ鑄鐵製ニシテ充分堅牢ニ緻密ノ材料ヲ撰ヒ製作シ正確ニ仕上ケ毫モ鑄疵、氣泡等存在セサルモノニシテ再ヒ「ボーリング」ヲ爲シ得ヘキ充分ナル厚サヲ有スルコトヲ要ス而シテ各汽箱ハ適當ナル水壓試驗ニ合格スルモノタルヘシ
汽箱蓋及辨匣蓋ハ汽箱ト同質ノ鑄鐵製ニシテ適當ニ補強シ堅牢ニ作製シ精密ニ仕上ラナスヘシ汽箱

辨匣其適當ノ排嘴子ヲ取付ケ溜水ヲ船底及冷汽器中ニ放出セシムヘキ銅管ヲ具ヘ常ニ「ウォーキング」、ブラットホーム」ニ於テ開閉シ得ル装置トナスヘシ又各汽笛ニハ上下ニ完全ナル發條式安全弁ヲ取付ケ且「インヂゲーター」ノ装置ヲナシ管及嘴子ヲ具備スヘシ高壓辨匣ニハ適當ナル「リユーブリケーター」ヲ設クヘシ又汽笛完成ノ上ハ外面ニ石綿若クハ「フェルト」ヲ充シ其上ヲ鐵板ヲ以テ覆ヒタル「ラツキング」ヲ施スヘシ

第四條 滑辨 高壓ハ吸鑄滑辨トシ低壓ハ普通ノD型ノモノトシ最良ノ鑄鐵製ノモノニシテ極メテ正確ニ仕上ケ「ボールブシート」ニ密接セシムヘシ

第五條 吸鑄 堅韌緻密最良質ノ鑄鐵製トシ高壓ハ「ラムスポットム」式低壓ハ普通ノ「コーチスプリング」ヲ具ヘ極メテ正確ニ仕上ヲナスヘシ

第六條 吸鑄 最良質ノ軟鋼材ヲ鍛鍊シテ精密ニ製作シ兩端ヲ同様ナル勾配トシ上端ハ吸鑄ニ於ケル勾配孔ニ、下端ハ「クロスヘッド」ノ勾配孔ニ精密ニ適合スル様精削スヘシ

第七條 滑辨 最良質ノ軟鋼材ヲ鍛鍊シテ精密ニ製作シ叮嚀ニ仕上ケ適當ノ「カラー」及眞鍮製二重母螺ニヨリ滑辨ニ取付クヘシ

第八條 接續 最良質ノ軟鋼材ヲ鍛鍊シテ精密ニ製シ其兩中心間ニ於ケル長サハ行長ノ二倍以上トシ上端ハU字形トシ「クロスヘッド」ニ取付ケ下端ハ丁字形トシテ善良ナル砲金製メタル及鋼

製鐵ノ蓋ヲ以テ曲拐栓ニ取付ケ鋼製螺釘及二重母螺ヲ以テ結合シ蓋付油差ヲ具ヘ細管ヲ附スベシ

第九條 隔心器「エキセントリック」、シープ」ハ最良ノ鑄鐵製トシ「ストラップ」ハ最良ノ鑄鐵製トシ「ホワイトメタル」ヲ裝置ス可シ上部ニハ適當ノ「オイルカツプ」ヲ具フ可シ又隔心器ハ最良質ノ軟鋼材ヲ以テ製シ叮嚀ニ仕上ケ上端ハ「リンク」ヘ下端ハ丁字形トシ「ストラップ」ニ取付クヘシ

第十條 「ブッシュ」及「グラランド」汽機ノ働セル部分ニ於ケル各「ブッシュ」ハ何レモ善良ナル砲金製トシ「グラランド」及「スタツフイニング」、ボックス」ニ於ケル「ブッシュ」モ同様善良ナル砲金製タル可シ

第十一條 「レバースィング、ギヤア」本機ハ「スチプリンングブルバールィング」式ニシテ良質ノ鋼鐵ヲ以テ製作シ「ウォーシヤフト」ニ取付ケ「ウォーキングブラットホーム」ニ於テ操業ニ防害トナラサル様便利ニ手働シ得ル装置トナシ凡テ摩擦部ニハ砲金製「ブッシュ」及「ライナー」ヲ具ヘ容易ニ調整シ得ル様ニ作製ス可シ

第十二條 「クロスヘッドシユ」及「ガイド」ニ於ケル摩擦面ハ可成大ニシテ「クロスヘッドシユ」ハ最良質ノ鑄鐵ヲ以テ製作シ加減シ得ヘキ装置ニ「シユ」ヲ取付ケ前面ニハ「ホワイトメタル」ヲ裝置シ平滑ニ摺動スル様完全ニ製作スベシ

第十三條 「クランクシヤフト」最良質軟鋼鐵ノ一材ヲ以テ鍛製シ精密ニ仕上ヲナス可ク其徑ハ機

關檢査規程ニ於ケル寸法以上ニナス可シ

第十四條 中間軸、進力軸及螺旋軸 何レモ曲拐軸ト同質ノ材料ヲ使用シ其徑ハ機關檢査規程ニ於ケル寸法以上ニナス可シ

中間軸及進力軸ハ一材ノ構造ニシテ充分ナル進力受面積ヲ有スル適當ノ「カタラー」ヲ設クヘシ
螺旋軸ノ船尾管内ニアル部分ハ砲金製「ライナー」ヲ燒嵌トナス可シ其後端ヘ螺旋推進器ヲ取付クル樣適當ノ裝置ヲナスベシ

曲拐軸ト進力軸トノ接合ハ強固ナル鑄鐵製軸銜ニ「ライナー」ヲ以テ精穿シタル平行孔ヨリ螺釘ヲ以テ堅固ニ連結シ進力軸ト螺旋軸ハ「マツフカツプリング」ヲ以テ堅固ニ連結ス可シ
螺旋軸ハ主汽機台ヲ取外シ或ハ其他多大ノ移動ヲ行フコトナク最モ簡便ニ船内ニ抽出シ得ル樣裝置スヘシ

第十五條 螺旋推進器 四枚翅トシ最良質ノ砲金ヲ以テ製作シ適當ナル徑及螺距ヲ定メ精密ニ螺旋軸ニ取付ケ砲金製袋形母螺ヲ以テ締付スヘシ
推進器ハ適當ナル勾配及其全長ニ沿ヒタル「キー」ヲ以テ螺旋軸ニ取付クルヲ要ス

第十六條 船尾管 良質ノ鑄鐵ヲ以テ製作シ兩端ニ砲金製「ベアリング」ヲ取付ケ後方「ベアリング」ニハ適當ノ「リグナンバイタイ」ヲ嵌人スルヲ要ス

第十七條 「ターニング、ホイール」鑄鐵製ノ「ターニング、ホイール」ヲ其「リム」ニ適當ナル孔ヲ穿チ「バー」ヲ以テ旋回スヘキ裝置トナスヘシ

第十八條 進力受台 進力受臺ハ良質ノ鑄鐵製トシ「ダイス」ハ砲金製「ライナー」ヲ有スル馬蹄形鑄鐵製トシ兩側ニ於ケル砲金製「ナツト」ヲ具ヘタル鋼製「スベンドル」ニ依リ各個ニ調整シ得ヘキ裝置トナスヘク進力受台ノ前後適當ノ場所ニ可成之ニ接近シテ軸受台一個ヲ設ケ鑄鐵製ニシテ「ホワイ」トメタル「ラ」裝置ス可シ而シテ此等ハ凡テ正確堅牢ニ船体ニ固定スヘシ

第十九條 「コラム」 「コラム」ハ前面及後方共鑄鐵製筒形トシ「クロスヘッド」導面ヲ具ヘ後方「コラム」ハ冷氣器ト一材ニ構造シ充分汽機ノ振動ニ堪ヘ得ヘク最良ノ材料ヲ撰ヒテ堅牢ニ構成スヘキモノトス

第二十條 冷氣器 汽機後「コラム」ト一材ニ構造シ鑄鐵製ニシテ最良ナル材料ヲ撰ヒ堅牢ニ鑄造シ每平方吋ニ付二十封度ノ水壓試驗ヲ施行スヘキモノトス其冷氣面積ハ二百平方呎ヲ下ル可カラズ
「チューブプレート」ハ眞鍮製トシ「チューブ」ハ眞鍮製ニシテ外徑四分ノ三吋厚B、W、G、十八番ノモノヲ使用シ「コットンパッキング」ヲ嵌メ眞鍮製「フェリウル」ヲ用ヒ水密ニ取付ケヲナシ後水密試驗ヲ施スヘキモノトス
同器ニハ「サツブリメンタリーフネード」「ソーダ、コック」等ノ必要ナル「コック」類ヲ悉ク完備シ又

排汽管ノ下方ニハ適當ナル導隔板ヲ備フヘキモノトス

三八

第二十一條 主機台 最良質ノ鑄鐵ヲ撰ヒ適當ナル補強骨ヲ附シ各部充分堅牢ニ製作スヘシ曲拐軸

軸受ハ三個ヲ設ケ「ベアリング」ハ善良ナル鑄鐵製トシ「ホワイトメタル」ヲ裝置スヘシ

第二十二條 循環唧筒、排氣唧筒、給水唧筒、塗水唧筒等諸唧筒ハ何レモ冷氣機ノ背面ニ取付ケ低

壓汽箱「クロスヘッド」ヨリ横挺ヲ以テ働作スルモノトス

循環唧筒ハ充分ナル冷氣ヲ有スヘキ大サトシ圓筒部ニハ砲金製「ライナー」ヲ裝置シ「バケット」彈辨

辨座等ハ總テ砲金製トシ唧筒桿ハ「ロール」トス各部充分ニ摺合セ精確堅牢ニ構成スヘシ

排氣唧筒ハ單働式「エトワード」型トシ同筒部ニハ砲金製「ライナー」裝置シ「バケット」辨、辨座等

ハ凡テ砲金製トシ唧筒桿ハ「ロール」、プラスチックトス各部堅牢ニ構成シ附屬管ヲ完備スヘシ

又溢出管ハ船体外水線以上ニ放出セシムヘキ裝置トナシ尙海水竄入ヲ防クタメ適當ノ不環辨ヲ具フ

ヘシ給水唧筒ハ各部最良ノ材料ヲ撰ヒ堅牢ニ構成シ辨座「ブランジャー」等ハ皆砲金製トシ桿ハ良質

ノ軟鋼製トシ本機「バルブ」ノ「リフト」ヲ加減スヘク「バルブ」ボツクスノ蓋ヲ容易ニ取外シ得ヘキ裝

置トナスヘシ又本機ニハ「エヤーコック」レリーフバルブ」各一個ヲ具フヘシ唧筒及汲水銅管ハ皆

最大汽壓ノ二倍ノ水壓試驗ヲ施スヘキモノトス

塗水唧筒ハ各部最良ノ材料ヲ撰ヒ堅牢ニ構成シ辨座、「ブランジャー」等ハ皆砲金製トシ桿ハ良質ノ

軟鋼製トス本唧筒「バルブ」ノ「リフト」ヲ加減シ得ベク「バルブ」ボツクスノ蓋ヲ容易ニ取外シ得ヘキ
裝置トナスヘシ塗水、吸水管ハ機關室内ニ於ケルモノ及屈曲部ヲ鉛管トナシ其他ノ直管ハ亞鉛鍍鐵
管トス夫等ノ管口ニ「ローズボツクス」ヲ裝置スヘシ
排水管ハ銅製トス

第二十三條 「ビルジインシエクシヨン」前記唧筒ノ外塗水ヲ射出シ得ヘク循環唧筒「サクシヨン

パイプ」ニ連續セシメタル諸管「コック」ヲ具備セル塗水放射裝置ヲ完備スヘシ

第二十四條 「ドンキーポンプ」適當ノ大サヲ有スル「ウオシントン」式復動唧筒一台ヲ適當ノ場所

ニ据付ケ海水塗水「ボットウエル」「給水タンク」ヨリ引水シ汽鐘冷汽器及船外ニ適當ニ送水シ得ル

様全裝置ヲ完備スヘシ

第二十五條 諸管、蒸汽管及給水管 凡テ銅管トシ甲板汽機用蒸汽管ハ亞鉛鍍鐵管ニシテ厚四分一

吋以上タルヘシ是等ノ諸管ハ鍔ヲ取付ケタル後毎平方吋ニ付二百四十封度ノ水壓試驗ヲ執行スヘシ

第二十六條 「ストツプバルブ」最良質ノ鑄鐵ヲ以テ堅牢ニ製作シ高壓汽箱辨匣ニ砲金製「バルブ」

「バルブシート」鍔及「グラシド」ヲ完備スヘシ而シテ適當ノ水壓試驗ヲ施行スルヲ要ス

第二十七條 給油裝置 汽機ノ各要部ニハ何レモ完全ナル給油裝置ヲ設備スヘシ

第二十八條 軸及鍔 諸軸及諸鍔及各「ボルト」類其何レモ最良ノ材料ヲ使用シ決シテ鍛接スヘカラ

三九

一、冷水唧筒弁及弁座

壹 組

一、鐵棒及鐵板

若 干

一、螺 釘 (母螺付)

若 干

尙前項記載ナキモノト雖モ運轉上當然必要ノモノハ悉ク完備スヘシ

汽 罐

第三十三條

本汽罐ハ船用箱形多管式ニシテ二個ノ火炬及燃燒室ヲ有スルモノ一台ヲ具ヘ前記汽機ニ相當スヘキ充分ノ汽積及受熱面積ヲ有シ各部ノ構造ハ凡テ機關檢査規程ニ則リ每平方吋百三十封度ノ常用汽壓ニ適スヘク堅牢ニ構成ス可シ

汽罐ニハ他日蒸氣捲揚機ヲ据付クル際夫レニ導ク汽管ヲ取付クルニ適スル裝置ヲナスヲ要ス

第三十四條

本氣罐ハ蒸發力八乃至九封度ノ石炭ヲ使用スル目的ヲ以テ充分安全ニ構造スヘシ

第三十五條

鐵胴及鏡板 胴板及鏡板共最良ノ軟鋼板ヲ使用シ其各材料ノ厚サ及接合法ハ機關檢査規程ニ適合スヘキハ勿論ナレトモ尙充分正確ナル寸法ニヨリ構成スルヲ要ス縦接合ハ罐ノ底部ヲ避ケ二重覆板トス

罐内上部ニハ適當ノ「アンチブライミングパイプ」ヲ設クヘシ

安全弁補助塞汽弁、人孔、泥孔等ノ各孔口ハ汽罐適當ノ位置ニ之ヲ定メ人孔及泥孔ニハ適當ノ補強

緣材ヲ取付クヘシ

第三十六條

火爐ハ最良ノ軟鋼板ヲ使用シ何レモ貳個ノ環ヨリ成リ其相互ノ接合ハ「アタムソン」式接合トシ其厚サハ機關檢査規程ニ仍ルヘク火焚口「ダンパー」、プレート「火架裝置等ハ全部完全ニ設備スヘシ

第三十七條

燃燒室 燃燒室ハ何レモ最良ノ軟鋼板ヲ使用シ各部ノ厚及接合ハ機關檢査規程ニ仍リ之ヲ定メ最良質ノ軟鋼製螺旋支柱ヲ以テ固定シ支柱ノ兩端ハ座板ヲ當テ母螺ニテ締付ケ燃燒室頂板ハ良質ノ鋼板製支梁ヲ以テ支フベキモノトス、左右二個ノ燃燒室ハ良質軟鋼製ノ「スモールステール」ヲ以テ完全ニ結合スヘシ

第三十八條

爐 管 良質ノ爐管ヲ使用シ充分ナル受熱面積ヲ有スヘク適當ノモノヲ機關檢査規程ニ仍リ充分汽壓ニ堪フル様配置スヘシ

第三十九條

支 柱 最良質ノ軟鋼材ヲ使用シ決シテ鍛接スヘカラス其大及配置ハ機關檢査規程ニ仍リテ之ヲ定ムベシ其取付ハ凡テ二重母螺及座鉄ヲ用ヒ完全堅牢ニ取付クヘシ

第四十條

鉸 鉸 最良質ノ軟鋼鉄ヲ以テ製作スヘシ

第四十一條

煙筒及煙函 何レモ最良質ノ軟鋼材ヲ使用シ各部適當ノ大サニ定メ堅牢ニ構成スヘシ煙函ノ前面ニハ蝶ヲ有スル二個ノ扉ヲ設ケ各燭管掃除ニ便利ナル裝置トナスヘシ

第四十二條 踏 板 汽鐘前部ノ踏板ハ凡テ「チエツカードプレート」ヲ敷設スヘシ

第四十三條 「アツシクリング、ウオーター、コック」 焚火床ニ「アツシクローリグウオーターコック」ノ設備ヲナスヘシ

第四十四條 材 料 汽鐘構成ニ使用スル凡テノ材料ハ機關検査規程ノ示ス方法ニ仍リテ材料試験ヲ行ヒ合格スルモノタルヘシ之レガ爲メニ要スル費用ハ凡テ受負者ノ負担タルベシ

但監督官吏ニ於テ適當ト認ムル材料試験証明書ヲ附屬スルモノハ此ノ限ニアラス

第四十五條 工 事 鉸鉸孔ハ凡テ鉸孔トシ決シテ打貫ヲ許サス兩板ヲ適當ノ位置ニ取付ケタル

上鉸録スルカ或ハ鉸孔ヲ先ツ小サク穿チ螺釘ヲ以テ適當ノ位置ニ合セタル上再ヒ穿ツヘシ鉸着ニ先チ完全ニ清滌ヲ施スヘシ

其他重要ナル工事ニ對シテハ時々監督官吏ノ承認ヲ得テ施スヘシ

第四十六條 水壓試験 汽鐘完成ノ上ハ毎平方吋ニ付二百十封度ノ水壓試験ヲ施行シ各部ハ凡テ水密ナルヲ要ス

第四十七條 保温裝置、塗裝 検査結了ノ上ハ汽鐘ハ錆止三回以上ヲ塗布シ焚火試験ヲ終リタル後ハ適當ノ保温裝置ヲナスヘシ

第四十八條 左ニ記載セル屬具ハ汽鐘ニ適當ノ位置ニ完全ニ取付ケヲナスヲ要ス

一、安全弁貳個、發條式安全弁ニシテ二百十封度ノ水壓試験ニ堪エ得ルモノトシ鐘胴上部適當ノ位置ニ取付ヲナスヘク其大サハ規程ノ面積ヲ有スルハ勿論ナルモ其一個ヲ閉シタルトキモ尙充分ノ積ヲ有スルヲ要ス

一、「ドレーンコック」 排水銅管排水管(其面積安全弁ノ面積ノ和ヨリ小ナラサル銅管)及錠前等ヲ完備スヘシ

一、塞氣弁 二百十封度ノ水壓試験ニ堪エ得ルモノトシ汽鐘ノ上部ニ取付クヘシ但辨座及錠共ニ皆砲金製トナスヘシ

一、「サーフェース、ブロー、オフ、ツコク」及「ポットム、ブロー、オフ、コック」 何レモ砲金製ニシテ「ポットム、ブロー、オフ、コック」ハ閉塞スルニアラズンハ其把手ヲ取外シ得サル裝置トナスベシ
一、「フイドチエツクバルブ」 正副共鑄鐵製ニシテ辨座ハ砲金製トス鐘内管一式ヲ具備シ二百十封度ノ水壓試験ニ堪ユルモノトス

一、汽壓計 約二百五十封度迄日盛セルモノニシテ検査済ノモノ一個ヲ具ヘ附屬及「コック」共完備スヘシ

一、補助機用塞汽弁 「ドンキー」「ポンプ」用ニシテ鐘ノ上部若クハ蒸汽管ノ一部適當ノ位置ニ壹個ヲ取付クヘシ

- 一、「プラスチック」用管及「コック」共 壹 式
- 一、檢水 水器 壹 組
- 一、檢水「コック」 參 個
- 一、汽笛「コック」及銅管共 壹 式
- 一、「サクノメーターコック」 壹 個

第四十九條 前項記載ノ外汽罐附屬品及豫備品トシテ左ノ通り完備スヘシ

- 一、火焚 道具 壹 揃
- 一、十 能 壹 個
- 一、灰 入 桶 參 個
- 一、「スクレーリングスクレーパー」 參 個
- 一、「スクレーリングハンマー」 參 個
- 一、「チューブエキスパンダー」 壹 個
- 一、煙管 掃除 矢 四 本
- 一、「チューブストッパー」 八 本
- 一、「コーキングツール」 貳 挺

- 一、火 架 八 個
- 一、安全 辨發 條 壹 個
- 一、檢水器 用 硝子 拾 本

一、「フジードチエツクバルブ」及「シート」 正副各壹組

右ノ外運轉上當然必要ナルモノハ悉ク完備スヘキモノトス

第五十條 諸管配置、船内ノ諸管ハ亂雜ナラサル様適當ニ配置シ諸管ノ結合ハ凡テ氣密ニシテ完全ニ取付ケヲ施スヲ要ス

第五十一條 諸管保温装置、冬季ニ於テ氣温降下スルヲ以テ主汽管及他ノ蒸汽管ハ適當ニ保温装置ヲ施スヘシ

第五十二條 本工事ハ凡テ堅牢確實ニ行フヘキモノトス

第五十三條 本工事受負者ハ本仕様書ニ基キ汽機縱橫截面圖及各分解圖、汽罐ノ縱橫截面圖、橫截面圖及胴板接合部分圖、船内諸管配置圖、螺旋推進器圖ヲ提出シテ本試驗場ノ承認ヲ經タル後製作ニ着手スヘキモノトス

第五十四條 本船竣工ノ上ハ半載貨狀態以上ノ吃水ヲ以テ全速力ノ二分ノ一、四分ノ三及全速力ノ累進汽走試驗及四時間連續ノ全速力試運轉ヲ施行使用上毫モ欠点ナキ様完成スヘシ

以上各汽走試験ニ於テ示壓ヲ圖リ實馬力ヲ算定スベシ
第五十五條 試運轉結了後各運動部ヲ分解シ監督官吏ノ検査ヲ經タル後再ヒ取付ク完備スヘキモノ
トス

(六) 工事契約並ニ工事經過

前掲ノ設計ニヨリ之レカ造船ヲ決シ關西各地ノ造船所中本縣下三瀨郡大川町所在深川運輸株式會社附
屬深川造船所ヲ以テ最モ正確ナリト認定シ指定契約ノ認可ヲ得テ工費金二萬五百圓ヲ以テ建造契約ヲ
締結シ爾來大日本水産會上枝技師及本場技術員ノ常置的周密ナル監督ノ下ニ左記ノ功程ヲ經テ建造ヲ
了ヘ既定根據地タル博多港ニ回航シタリ

- 工 事 經 過
- 全 明治四十四年九月八日、 船体造船原圖調製
- 全 九月十日、 起 工
- 全 九月二十日、 龍骨据付、汽機汽罐原圖調製
- 全 九月廿五日、 船首尾材及舵柱材据付
- 全 十月一日、 船首尾力材及管胴材固着

- 全 十月五日、 第一回船体部分検査執行
- 全 十月十日、 肋材組合、汽機鑄型製作
- 全 十月十五日、 肋骨据付、内龍骨固着
- 全 十月二十日、 彎曲部縦通材取付、甲板梁固着
- 全 十月二十五日、 肋骨全部据付完了、側内厚板取付、
第二回船体部分検査執行
- 全 十一月一日、 龍骨翼板、梁壓材取付、汽機鑄工、汽罐工事中
- 全 十一月十日、 外板取付、梁肘材取付
- 全 十一月二十日、 全 上
- 全 十一月廿七日、 外板全部固着終了
- 全 十二月五日、 外板填絮、給水罐製作
- 全 十二月十日、 船首尾肘材、手摺板据付、活魚艙内壁取付、汽機仕上組立
汽罐支柱取付
- 全 十二月十二日、 機關室圍壁製作
- 全 十二月十五日、 甲板全部張付、汽罐燭管取付

- 全 十二月十七日、甲板填絮、船体第一回塗
- 全 十二月二十日、石炭庫製作、船首尾出入口製作、活魚艙内通水管取付、汽罐水壓試驗執行
- 全 十二月廿二日、船底包板取付、操舵機据付、第三回部分検査執行
- 全 十二月廿四日、船体進水式舉行
- 全 十二月三十日、船首室製作、汽機冷却器製作、汽罐船内ニ積入ル、罐水槽据付
- 四十五年一月五日、船尾室製作、補助唧筒諸汽管取付
- 全 一月十日、汽機ヲ船内ニ積入レ据付ニ從事ス
- 全 一月二十日、操舵室取付、機關部工事中
- 全 一月三十日、端艇製作、主橋後橋建立、諸汽管水壓試驗執行
- 全 二月十日、艤裝帆裝取付、船体第二回塗、機關室倉庫製作
- 全 二月十五日、揚錨機据付、汽罐防熱工事執行
- 全 二月二十日、船体第三回塗、諸汽罐防熱工事執行、「ビルボード」取付
汽笛製作

- 全 二月廿四日、公試運轉執行
 - 船体吃水、船首四呎十吋船尾七呎一吋
 - 速力、八、六浬
 - 全 二月二十九日、本船建造工事全部完成
 - 全 三月三日、船長、機關長及船員乗組、回航ノ爲若津港深川造船所ヲ出帆ス
 - 全 三月四日、暴風雨激甚ヲ極メ長崎港ニ避難ス
 - 全 三月五日、長崎港出帆午後四時福岡市博多港ニ投錨ス
- 爾來漁業上各種ノ設備及ヒ準備ニ着手シ終ニ試験調査ノ實務ニ從事スルニ至ラス故ニ本來ノ目的ニ對スル諸般施設ノ結果ハ次年度ニ於テ詳報スル所アルヘシ

鯛巾着網試験

一、試験ノ方法并ニ試験地

前年度試験ノ方法ニ倣ヒ試験地元漁業組合ヨリ所要ノ漁夫漁船ヲ提供セシメ本場主任技手指揮監督ノ下ニ聯絡的試験ヲ施行シタリ元來本網ハ前年度西ノ浦ニ於テ顯著ナル成績ヲ擧ゲ其有望ナルコト一般當業者間ニ認識セラレタルモ時恰モ初冬ニ際シ荒天相續キ出漁ノ日數漸ク八日ヲ算スルニ過キス特ニ漁期ニ遅レ旁以テ收支經濟ヲ見ルニ至ラサリシヲ以テ本年度春期ヲ期シ更ニ西浦ニ於テ一漁期ヲ通シタル收支經濟試験ヲ施行スル豫定ナリシカ新ニ糟屋郡奈多漁業組合ヨリ之カ試験ヲ熱望セシヲ以テ豫定ヲ變更シ漁期ノ遲速ニ鑑ミ五月ハ奈多浦沖合六月ハ西浦沖合ニ於テ試験ニ從事シタリ而シテ更ニ秋期ヲ期シ宗像郡津屋崎浦漁業組合ト聯絡シ試験ヲナスノ豫定ナリシガ之カ實施ニ當リ經費支出ノ方法ニ付キ一頓挫ヲ來シ遂ニ試験ヲ實施スルニ至ラスシテ了レリ

二、網構造并使用方法

網ハ昨年度使用ノモノヲ其儘使用シ單ニ破綻ノ個所ヲ補綴修繕シタルニ過キス而シテ使用ノ方法モ全ク前年度ト同一ナリ
其構造使用法等ハ明治四十三年度事業報告ニ詳記セルヲ以テ之ヲ畧ス

三、出漁日誌

(1) 奈多浦沖合試験

五月八日 北西風、晴 午前八時三十分奈多浦ヲ發シ出漁ノ途ニ就キ其北西沖ニ至リ午前九時三十分葛繩ヲ漕キ全十時九分投網セシモ網投入ノ機ヲ失シ葛繩ヲ圍ムヲ得ヌ次ニ午後零時二十四分其近海ニ於テ投網セシニ意外ニモ中途逆潮來リ特ニ二重潮ヲ起シ網ノ締括困難ヲ極メタリ更ニ午後五時十分其近海ニ投網セシニ潮流頗ル遲緩ニシテ網圍適度ノ膨ミヲ生セス且ツ網裾底着シテ全ク移動セサル爲終ニ得ル所ナク午後七時半奈多ニ漕着ス

五月九日 北風、晴 午前八時出漁十時奈多北西漁場ニ達ス午前十時四十九分投網セシニ梅雨前ノ事トテ沖合氣壓ノ變動甚シク潮向自カラ移動シテ横潮ヲ受ケ網形亂レ操業困難ヲ極メタリ更ニ漁場ヲ西ニ轉シ午後一時十二分投網セシニ二重潮ヲ生シ裾網環網ニ纏ヒ締括スル能ハスシテ漁獲ナシ時ニ小潮時ニ屬シ常ニ二重潮ヲ起シ本網使用ニ適セサルモ大潮時潮勢急ナルニ至レバ二層流ヲ生セサルヲ推測シ其時期迄試験ヲ中止スルコトトシ一先ツ休漁ノ上網地乾燥ニ從事セリ

五月十三日 北風、雨 潮時可ナルヲ以テ出漁ノ準備ヲナセシモ風波高キ爲メ休漁

五月十四日 北東風、雨 風波高ク休漁

五月十五日 北風、晴 風波高ク休漁

五月十六日 北後南西風、晴 午前十時出漁奈多北西漁場ニ至リ午前十一時二十九分投網セシニ底潮表潮ト一致セス使用困難ニシテ漁獲ヲ得ス此レニ氣壓變化ノ關係ニ基因セルモノナリト雖トモ大潮時ニ於テ尙ホ且ツ如斯状態ナルニ依リ漁夫一般ニ惰氣ヲ生シ更ニ使用ヲ強制スルモ其詮ナキヲ察シ一先ツ歸航ニ決シ午後二時奈多ニ着ス

歸來漁業者ヲ集メ尙兩參日漁場ヲ轉シテ使用ヲナサンコトヲ勸誘セシモ當初ノ不漁ニ落膽セシ彼等ハ原因ノ如何ニ耳ヲ傾ケズ無給出動ノ結果生活難ヲ楯トシテ更ニ試驗ヲナスノ勇氣ナキヲ以テ遂ニ本浦沖合ノ試驗ハ之ヲ以テ閉止シ西浦ニ轉シ試驗ヲナスコトニ決セリ

(2) 西浦沖合試驗

六月五日、雨 午前四時半西浦北西漁場ニ出漁シ午前四時四十三分葛繩ヲ入レ全六時八分投網セシニ投網時機少シク早キニ失シ兩網船急ニ接近セス且ツ風向不適當ナル上ニ潮流甚タ緩ナル爲メ適當ナル使用ヲ果サス直ニ漁場ヲ去リ午前八時少前西浦ニ着ス

六月六日、晴 午前六時出漁ノ途ニ就キ西浦北西漁場ニ至リ午前六時五十一分投網、潮流甚タ緩ニシテ網少シモ擴カラス大潮時ヲ俟ツテ試驗ヲナスコトニ決定シ試驗ヲ中止セリ

六月十二日 晴 午前六時出漁西浦北西漁場ニ至リ午前八時三十分投網セシニ潮流緩ニシテ網擴ラス裾網環網ニ纏絡シテ只圍マレタル鯛ノ一部カ網面ニ罹ルヲ見ルノミ其漁獲鯛四十五尾、ス更ニ漁場ヲ轉シ午前十時十七分投網セシニ表潮流逆流シテ又モ環絡ミヲ生シ繰揚ケ困難ヲ極メ漁獲ナシ午後一時西浦ニ着ス

六月十三日、晴 午前七時半出漁西浦北西漁場ニ至リ午前九時十分投網、適當ナル使用ヲ得タルモ漁獲ナキヲ以テ漁夫一同大ニ惰氣ヲ生シ特ニ自營漁業ニ多少ノ漁獲アルヲ以テ前年ノ結果ニ鑑ミ十分本網ノ有望ナルヲ知りナガラ飽迄試驗ヲ果スノ意志ナク此ノ狀勢ニテハ結局成績ヲ擧クル能ハサルヲ察シ遂ニ試驗ヲ停止スルノ已ムナキニ至レリ

四、使用成績表

月日	漁場	位置	葛入時間	網入時間	網入終了時間	縮括時間	網繰上時間	網使用時間	潮	流	深	底質	風	力	備	要
五月八日	相島南端ノ南ヨリ 四十度東二浦沖	1	午前九時	10:00	10:14	10:38	11:01	11:36	滿	北東	二尋	泥	無風	網投下時期早キニ失シ葛繩ヲ圍ムコトヲ得ス		
全	相島南端ノ南ヨリ 十五度東一浦半沖	2	午前十一時	0:00	0:26	1:00	1:00	1:36	滿	北東	二尋	泥	北西和風	使用ノ中途ヨリ千網トナリ二重潮ヲ生シ網ノ縮括困難ヲ極メタリ		
全	相島南端ノ南ヨリ 二十五度東約二浦沖	3	午後四時	5:10	5:14	5:50	6:15	6:50	—	緩	一七	泥	北西和風	潮流頗ル緩ナル爲メ網圍擴張セス		

五月九日	相島花栗瀬ノ南ヨリ 五度西四澤沖	4	午前 10:00	10:20	10:40	10:55	10:15	11:00	11:15	滿南東稍急	三砂	無風	橫潮ヲ受ケ網形乱ル
全	相島花栗瀬ノ南ヨリ 六十五度西五澤沖	5	午後 0:30	1:10	1:25	1:40	2:10	2:30	2:50	東南東稍緩	三砂	和風	二重潮流ノ爲メ網絡ミチ生ス
五月十六日	相島西端ノ南ヨリ 二十度東約二澤沖	6	午前 11:00	11:20	11:35	11:50	12:10	12:30	12:50	北東稍急	三砂	和風	二重潮流ノ爲メ網絡ミチ生ス
六月五日	支海小柱島ノ西ヨリ 廿三度南三澤沖	7	午前 0:40	1:00	1:15	1:30	1:50	2:10	2:30	北東稍急	三砂	和風	網投下時期早ク兩網船接近セス且風向惡シク底潮不動ニシテ使用不良ナリ
六月六日	西浦三崎ノ西ヨリ 十度南一澤沖	8	午前 0:30	0:50	1:05	1:20	1:40	1:55	2:15	北東稍急	三砂	和風	網投下時期早ク兩網船接近セス且風向惡シク底潮不動ニシテ使用不良ナリ
六月十二日	西浦三崎ノ西ヨリ 五度南三澤沖	9	午前 0:40	1:00	1:15	1:30	1:50	2:10	2:30	北東稍急	三砂	和風	網投下時期早ク兩網船接近セス且風向惡シク底潮不動ニシテ使用不良ナリ
全	柱嶋中央ノ西ヨリ 二十度南約二澤沖	10	午前 0:30	0:50	1:05	1:20	1:40	1:55	2:15	北東稍急	三砂	和風	網投下時期早ク兩網船接近セス且風向惡シク底潮不動ニシテ使用不良ナリ
六月十三日	西浦三崎ノ西ヨリ 十五度南三澤沖	11	午前 0:40	1:00	1:15	1:30	1:50	2:10	2:30	北東稍急	三砂	和風	網投下時期早ク兩網船接近セス且風向惡シク底潮不動ニシテ使用不良ナリ

五、試験ノ經過

五月八日奈多北西沖合ニ出漁此日三回ノ使用ヲナシタルニ漁夫ノ本漁具使用ニ慣レサルト時正ニ梅雨期前ニ會シ氣壓ノ變動頻リニ起リ常ニ二重潮流ヲ生シタル爲メ完全ニ使用スルヲ得ス翌九日更ニ二回使用シタルニ下層ノ潮流甚タ緩ニシテ皮流之ト逆行シ前日ニ劣ラサルニ二重潮トナリ使用頗ル困難ナリ

思フニ時ニ小潮時ニ屬セルヲ以テ潮勢弱リ隨ツテ皮流ヲ壓倒スルヲ得サルモ大潮時ニ至レハ潮勢強ク皮流全ク消滅スベキヲ推測シ一時使用ヲ中止シ大潮時ナル五月十六日出漁ノ上二回使用ヲナシタルニ尙ホ二重潮ニシテ使用頗ル困難ヲ極メ漁獲ノ目的ヲ達スルヲ得サルノ情勢トナリ漁夫一同倦怠ノ狀見ヘ更ニ試験ヲ強フルヲ得サルノ場合ニ至リタルノミナラス特ニ不充分ナカラモ數回使用ノ經過ニ鑑ミルニ常ニ二重潮ノ多キ全沖合ハ本網使用ニ不適當ト認ムルノ外ナキヲ以テ全沖合ノ試験ヲ閉止シ更ニ西浦ニ轉漁試験ヲナスコト、セリ

西浦ニ於テム前年度顯著ナル成績ヲ擧ケタルヲ以テ喜ンテ歡迎スルノ理ナルニ拘ハラズ將來本網ヲ組織スル丈ケノ資力ナキ一部當業者ノ反對アリ加之諸他ノ盛漁期ニ際會セルヲ以テ漁夫ノ多クハ本試験ニ從事スルノ意ナキヲ以テ當業者一同ヲ會集シテ熟議ノ結果毎日午前ヲ限リ使用スルコト、シ
六月五月初テ使用シタルニ投網時機ヲ誤リタルト風向ノ不適當ナリシト潮流ノ頗ル緩ナリシトニヨリ適當ナル使用ヲ得ス六日更ニ出漁セシニ潮流亦緩ニ失シ適當ナル使用ヲ果スヲ得ス思フニ此レ梅雨期ノ小潮時ナルヲ以テ此ノ狀態ヲ呈セルモノナルヲ推測シ更ニ大潮時ニ至ルヲ俟ツコト、シ一先ツ試験ヲ中止シ六月十二日ニ至リ出漁セシニ潮勢尙ホ不充分ニシテ網ノ擴リ完全ナラス爲メニ圍繞セル鯛ノ一部網面ニ罹ルノ奇現象ヲ呈セリ翌十三日更ニ出漁シタルニ潮流適當ニシテ最良ノ使用ヲ得タルモ魚群ニ會セス漁獲ナキヲ以テ漁夫一同大ニ惰氣ヲ生シ重テ使用ヲナスノ勇氣ナク此上強テ使用セシムル

モ單ニ申譯的使用ニ止マリ到底完全ナル試驗ヲ果スノ意志ナク徒ラニ漁具ヲ損スルニ止マルヲ以テ遺憾ナカラ本試驗ハ之ヲ閉止スルノ已ムナキニ至レリ
當時全地方ノ漁期多少衰ヘタリト雖トモ潮候ヲ測リ適當ニ之ヲ使用セバ漁獲ヲ期スル易々タルヲ信スルモ恰モ地方的主要漁業ニ多少ノ見込アルニ依リ事ヲ左右ニ托シテ本試驗ニ從事スルヲ厭ヒ漁夫ヲ通シテ前年度試驗當時ノ意氣ナク完全ナル成績ヲ期スル能ハサルヲ察シ遂ニ試驗ヲ閉止スルノ不得止ニ至リタルハ頗ル遺憾トスル所ナリ

想フニ漁業組合ト聯絡シテ漁夫漁船ヲ提供セシメ試驗ヲナスハ多クノ經費ヲ要セスシテ試驗ヲ實施スルノ便法ナリト雖トモ試驗着手ノ當初ニ當リ漁獲ナキニ於テハ忽チ惰氣ヲ生シ操業ニ熱心ヲ欲キ當然收ムベキ成績モ遂ニ之ヲ放棄セサル可ラスシテ趣味半解ノ裡ニ試驗ヲ中止スルノ状態ニ陥リ眞ニ其適否ヲ確定スルニ至ラサル結果ニ了ルハ其通弊タルヲ免レス之カ適否ヲ正確ニセント欲セハ本場ノ直營事業トシテ漁夫ヲ雇入レ一定ノ期間試驗ヲナスニアラサレハ満足ナル成績ヲ擧クルヲ得サルナリ

六、結 論

奈多沖合ハ地勢凹入シテ西方海ノ中道ニ續キテ志賀島ノ突出セルヲ以テ福岡灣内ヨリ出入セル潮流ト玄海島北方ヲ過キル本流ト錯綜シ常ニ二重潮流ヲ起スモノ、如ク今回試驗ノ經過ニ依レバ相嶋以南ノ

漁場ニ於テハ潮流不適當ニシテ本網使用ニ適セサルモノト斷定スルヲ得ベシ

西浦沖合ノ試驗ハ恰モ梅雨期ニ當リタル爲メ多少二重潮流ヲ生シタルモ潮候ヲ測リ之カ使用ヲナセハ充分ナル漁獲ヲ果スコトヲ得ベク特ニ梅雨期以外ニ於テハ潮流緩急ノ度頗ル本網使用ニ適當セリ本年度ニ於テハ漁夫自營漁業ノ關係ニヨリ本網使用ニ對シ頗ル冷淡ニシテ充分ナル試驗ヲナササルヲ以テ成績不明ナリト雖モ昨年度ノ成績ニ徴シ且ツ其潮流ノ速度、漁場、底質、深淺、魚群去來ノ狀況ニ鑑ミルモ最モ有望ナルコト堅ク信スル所ナリ

要之地勢凹入シテ二重潮流ヲ生スル奈多方面ノ如キハ本網使用ニ不適當ナリト雖トモ筑前沿海ヲ通シテ之ヲ觀ルニ一般ノ漁場ハ二重潮流ナク潮向不定ナラサルヲ以テ本網ニ適當ナル漁場ハ到處之ヲ有セリ依テ本漁具ハ筑前沿海ニハ最モ適切ナル鯛沖取漁具タルコト敢テ疑フノ余地ナキモノトス

漁業基本調査

由來魚族ノ去來集散ヲ推知スルハ只幼稚ナル漁夫ノ經驗ト憶測トニ依ルノ外毫モ學術的研究ヲ基礎トセル的確ナル豫測方法ナシ從ツテ漁業者ハ往々漁業ノ好機ヲ逸シ巨資ヲ投シテ空シク之ヲ損失スルニ至リ確實ナル事業モ遂ニ投機的事業ナルカ如ク思惟シ斯業ノ發達ヲ阻害スル事甚シキモノアリ基本調査ハ實ニ之カ救済ノ道ヲ講スルモノニシテ海流、潮流、水温、比重、餌料、産卵、發育等諸種ノ原因ヲ探究シ生物ノ習性ヲ明ニシ以テ之カ去來ヲ學術的ニ豫測確知シ延テ漁船、漁具、漁場ノ調査ヲ行ヒ漁業經營ノ基礎ヲ根本的ニ確立スルモノナリ是ヲ以テ主務省ハ特ニ各府縣ニ指定シテ連絡的ニ從事セシムル事トセリ本場亦其必要ヲ認メ本年度ヨリ着手シタリ

今主務省ノ指示セル調査要項ヲ示セハ左ノ如シ

調査ノ目的

- 第一、主要水産生物ノ性質ヲ知ルコト
- 第二、重要水産生物ノ漁場ヲ明ニスルコト
- 第三、漁業保護及發展ノ方針ヲ確定スルコト

調査ノ區分

- 第一、生物學上ノ調査
 - 甲、重要水産生物ノ調査
 - 乙、浮游生物ノ調査
- 第二、理化學上ノ調査
 - 丙、海洋及湖川理化學上ノ調査
- 第三、漁業ノ調査
 - 丁、漁場、漁船、漁具、漁法及漁獲物ノ變遷
 - 戊、漁場圖ノ調製

調査ノ手順

水産局、水産講習所、地方水産試験場、地方水産講習所、水路部、帝國大學、水産學校、中央氣象臺、測候所、觀測所、其他ニ於テ行フ調査ニツキ互ニ聯絡ヲ保チ其結果ヲ綜合スルコト

前記關係官衙學校其他ニ於テ調査ト相互聯絡ヲ保ツニハ左ノ手順ニ依ルコト

- 一、調査ノ範圍及方法並ニ調査機械及其使用方法ハ可成一定スルコト
- 二、前項ニ就テハ水産局、水産講習所、水路部、帝國大學、及中央氣象臺ノ關係者ニ於テ協議決

定スルコト

- 三、地方水産試験場、地方水産講習所、水産學校其他ノ調査主任ヲ便宜ノ地ニ集メ前項ニ依リ決定シタル事項ニ就キ講習ヲ爲スコト
- 四、觀測及調査ノ結果ハ水産局ニ於テ取纏メ之ヲ整理スルコト
- 五、浮游生物ノ調査ハ關係ノ密接ナル地方ニ於テハ調査ノ聯絡ヲ保ツ爲メ可成之ヲ實行スルコト
- 六、地方水産試験場、地方水産講習所、水産學校、其他ノ採集ニ係ル浮游生物ハ一旦水産局ニ取纏メ更ニ之ヲ豫メ定メタル擔當者ニ分配スルコト、分配ヲ受ケタル擔當者ハ可成速ニ其調査ヲ結了シ之ヲ水産局ニ報告スルコト
- 七、調査ノ成績ハ水産局ニ於テ印刷ニ附シ毎年之ヲ報告スルコト

六四

調査ノ範圍及方法

甲、重要水産生物ノ調査

- 一、調査ヲ必要トスル種類ヲ定ムルコト
- 二、各種類採捕ノ際ハ左ノ事項ヲ記載スルコト
- イ、採捕ノ日時、天氣(風向、晴雨)水ノ溫度、比重、色、海流又ハ潮流(方向、緩急)

□ 採捕ノ用ニ供シタル器具

ハ 採捕ノ位置、水面ヨリノ距離並ニ同位置ニ於ケル水深

ニ 種類、性、體長、體重、生殖器ノ熟否、消化器内ノ含有物

ホ 其他參考トナルベキ事項

ヘ 検査員ノ姓名

三、各種類採捕ノ際ハ前項各號ノ外可成乙及丙ノ區分ニ關スル調査ヲ行フコト

四、廻游魚ニ就キテハ乙及丙ノ區分ニ屬スル調査ノ結果ト對照シテ廻游ノ狀況ヲ查察スルコト

五、底魚、介類、藻類ニ就テハ底質トノ關係ヲ調査シ且ツ乙及丙ノ區分ニ屬スル調査結果ト對照シテ其成育状態ヲ查察スルコト

乙、浮游生物ノ調査

一、浮游生物ヲ採集シタルトキハ左ノ事項ヲ記載スルコト

イ 採集ノ日時、天氣(風向、晴雨)

□ 採集ノ位置、水面ヨリノ距離

ハ 分量ノ大要其他參考トナルベキ事項

六五

二 丙ノ區分ニ屬スル事項

ホ 採集者ノ姓名

二、浮游生物ノ調査ハ先ヅ各海ニ特有ナリト認ムベキ種類ヨリ着手シ各海共迪ニ成育スルモノ又ハ稀有ナル種類ヲ後ニスルコト

三、種類又ハ屬ノ査定並ニ性質ノ大要ヲ查覈スルコト

四、甲及丙ノ區分ニ屬スル調査ト對照シ各時季ニ於ケル浮游區域並ニ其變化、異動及重要水産物トノ關係ヲ明ニスルコト

丙、海洋及湖川理化學上ノ調査

一、水温及比重ノ觀測ハ少クモ百尋マデトシ表面、二十五尋、五十尋、百尋ノ四ヶ所ニテ爲スコト但シ上記以外各深度ニ於テ觀測ヲ爲スハ當事者ノ隨意トスルコト

二、前項ノ觀測ヲ爲シタル時ハ左ノ事項ヲ記載スルコト

イ 觀測者ノ日時及位置

ロ 月ノ盈虛及潮候

ハ 水色及透明度

ニ 觀測時及其前ニ於ケル附近ノ氣象

ホ 觀測者ノ姓名

三、海流及潮流、其區域(廣サ及深サ)方向及速度ニ就キ調査スルコト

四、適宜ノ官衙又ハ學校ニ於テ水ノ定量分拆ヲ行フコト

丁、漁場、漁船、漁具及漁獲物ノ變遷

一、各種漁業ニ就キ其沿革並ニ現況ヲ調査スルコト

二、前項ノ調査ハ地方廳及地方水産試驗場ト協議ノ上之ヲ行フコト

三、調査ノ要項ハ左ノ範圍ニ準スルコト

イ 現在ノ漁場、漁船、漁具、漁法、漁獲物及其利用

ロ 漁業ノ組織及經濟

ハ 廢滅ニ歸シタル漁場、漁船、漁具、漁法、漁獲物利用法並ニ其廢滅シタル理由

ニ 新漁場ノ發見又ハ新漁船、漁具、漁法、漁獲物ノ創始及其沿革

ホ 漁場、漁船、漁具、漁法及漁獲物利用法ノ變更並ニ沿革

四、前項ノ調査ニハ左ノ事項ニ就キ精細ノ取調ヲ爲スコト

- イ 漁具及附屬具ノ構造、寸法、材料
- ロ 漁業ノ方法
- ハ 漁船及附屬具ノ構造、寸法、材料、運用方法、乗組員
- ニ 漁獲物ノ種類、數量、大サ、去來又ハ發生、採捕ノ時季
- ホ 主要漁獲物大漁、不漁ノ年月日及其原因ト認ムベキ事項
- ヘ 漁場ノ位置、廣袤、水深、底質、海流、潮流、水色、生物等
- ト 漁獲物ノ處理、貯藏、運搬法等
- チ 漁業資本、漁夫雇入、利益分配法、餌料供給
- 五、漁場、漁船、漁具、漁法ノ創始、變更、廢滅ノ漁獲物及漁獲高ニ及ホシタル影響
- 六、漁場、漁船、漁具、漁法ニ就テハ甲、乙、丙ノ區分ニ屬スル調査ノ結果ト對照シ其保護發展又ハ改善ノ方法ヲ查察スルコト

戊、漁場圖ノ調製

- 一、生物及漁具ノ種類ニ依リ各別ニ調製スルコト但時期ニ因リ著シク變動アルモノハ更ニ時期別ニ調製スルコト

- 二、底魚ノ漁場圖ニハ水深、底質並ニ生物ノ種類、其多寡、分布區域、成育狀態、水ノ溫度、比重其他參考トナルベキ事項ヲ記入スルコト
- 三、廻游魚ノ漁場圖ニハ甲、乙、丙ノ區分ニ屬スル調査ノ結果並ニ水深、底質、其他參考トナルベキ事項ヲ記入スルコト
- 四、漁場圖ニハ漁業法ニ依ル免許漁業漁場區域ヲ記入スルコト

一、本場ノ施行セル調査事項

本場ハ明治四十四年六月ヨリ主務省指示ノ趣旨ニ依リ宗像郡大嶋ニ觀測所ヲ設置シ主任一名ヲ常置シ之ガ一部タル海洋觀測ヲ開始シ主トシテ前記調査區分中第一生物學上ノ調査ニ屬スル左ノ調査ニ從事セシメ漁場、漁具、經濟、沿革等ニ關シテハ近海漁撈主任ヲシテ出張ノ傍ヲ調査セシメタリ

(甲) 重要水產生物ノ調査

(乙) 浮游生物ノ調査

二、調査ノ位置

宗像郡大嶋村近海ニ於テ左ノ二点ヲ撰ビ定期觀測場ト定メタリ但シ第二地点ハ風波ノ爲メ第一地点ニ於テ操業シ難キ時ニ限リ此点ニ於テ觀測ニ從事スルモノトス

第一地点 (本位) 大嶋味々金鼻西南西二、六湮沖(海深二十七尋)

北緯三十三度五十二分五十秒

東經百三十度二十二分

第二地点

大嶋長崎鼻東二湮沖(海深十八尋)

北緯三十三度五十三分

東經百三十度二十七分十五秒

三、調査ノ日時

調査ハ全年ヲ通ジテ三日毎ニ一回觀測ヲ爲シ更ニ毎月一、十一、二十一ノ三日ヲ限リ三回觀測ヲ行ヘリ但シ觀測當日風波高ク從事シ難キ場合ハ順延スルモノトス其觀測時刻ハ左ノ如シ

(イ) 一回觀測ノ日 午後 二時

(ロ) 三回觀測ノ日 日出前十分、午後二時、日没後十分

重要生物ノ調査ハ漁期ニ限リ隨時調査トス

四、調査地ノ漁業

本調査ニ示ス漁況ハ専ラ大嶋ニ於テ行ハルル漁業ニヨリ調査スルモノナリ重要生物ニ對スル漁業種類左ノ如シ

鯛

地漕網 漁期五月ヨリ七月マデ

一本釣 漁期八月下旬ヨリ十一月マデ

延繩 漁期周年

鱈

方丈網 (手繰網) 漁期六月ヨリ七月マデ

刺網 (流網) 漁期十二月下旬ヨリ四月下旬マデ (大鱈凡長六寸以上九寸以下トス)

鱈ノ漁期ハ縣下ヲ通シテ凡周年ニ亘ルモ本嶋ニ於テハ九月ヨリ十二月ニ至ルマデノ間ハ之カ主要漁具タル鱈揚絲網、船曳網、地曳網等ヲ欠クヲ以テ此間ノ漁況ヲ詳細ニ知ルヲ得ズ隨テ其調査ヲ缺ケリ

柔魚

五、觀測方法及記入凡例

- 一、時ハ本邦中央標準時ニ據ル
- 一、天氣ハ左ノ三種ニ分チ其下ニ記スル標準ニ據ル
 - 快 晴 雲量零ヨリニマデ
 - 晴 雲量二ヨリ八マデ
 - 曇 雲量八以上
- 一、雨ハ大要微雨、和雨、強雨ニ分チテ記入ス
- 一、風向ハ左ノ十六方位ニ分チ其吹キ來ル方向ヲ記入ス
 - 北、北々東、北東、東北東、東、東南東、南東、南々東、南、南々西、南西、西南西、西、西北西、北西、北々西
- 一、風力ハ大要左ノ三級ニ分チテ記入ス
 - 無風 (中央氣象臺ノ定メタル六階級中無風ニ當ル)
 - 弱風 (全上軟風及和風ニ當ル)
 - 強風 (全上疾風、強風、暴風及颶風ニ當ル)

一、溫度ハ攝氏ニ依ル

- 但寒暖計ハ中央氣象臺檢定済ノモノヲ用非常ニ器差ヲ加減シテ記入ス
- 一、氣温ヲ測ルニハ觀測船中日光ノ直射セザル所ニ携帯百葉箱ヲ据へ寒暖計ヲ箱中ニ横架シ之ヲ行フ
- 一、水温ヲ計ルニハ水ヲ容器ニ汲ミ取り直チニ行フモノトス但シ採水方法左ノ如シ
 - 上層、杓ヲ以テ「シリンドー」ニ汲ミ入ル
 - 中層、下層、二重筒形採水器ヲ用ヒ之ヲ汲ミ上グ
- 一、比重ハ清水ヲ一、〇トス
 - 但比重計ハ水産局檢定済ノモノヲ用非常ニ器差ヲ加減シテ記入ス
 - 一、比重ヲ計ルニハ船ノ全ク動搖セザルトキノ外陸上ニ於テ之ヲ行フモノニシテ水温ヲ計ル際ニ採リタル海水ニヨリテ計度ス
 - 但比重ヲ計ルト同時ニ其當時ノ水温ヲ附記シテ訂正ニ資ス
 - 一、比重ハ標準溫度比重ニ換算セルモノヲ記入セリ
 - 一、水色度ハ當分ふほーれる式ヲ用ユ
 - 一、透明度ハ直徑一尺ノ白圓板ヲ水平ニ保チツ、沈下シテ箱眼鏡ヲ使用シ其見ヘサルニ至ルヲ限度トシ沈下シタル深ヲ尋ニテ記入セリ

六、自明治四十四年六月至十二月 海洋觀測表

月日	六月				七月				氣象	海	洋	種類							
	廿八日	廿五日	廿二日	廿日	廿八日	廿六日	廿四日	廿二日											
廿八日	廿五日	廿二日	廿日	廿八日	廿六日	廿四日	廿二日	氣象	海	洋	種類								
晴	全	曇	出微雨	全	晴	曇	晴	天候	上層	下層	上層	下層	水色	湖候	潮流	容量	種類		
西	南	全	北東	西	東	北東	南	風向	比	重	度	明	候	方	速	上層	下層	類	
全	全	弱	全	全	全	弱	全	風力	上層	下層	重	度	明	候	方	速	上層	下層	類
三、九	二、八	二、九	二、〇	三、〇	二、五	二、五	二、〇	氣溫	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
三、九	二、八	二、九	二、〇	三、〇	二、五	二、五	二、〇	水溫	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
三、〇	二、八	二、九	二、〇	三、〇	二、五	二、五	二、〇	比	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	重	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	水色	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	透明度	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	湖候	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	潮流	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	容量	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	種類	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	種類	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二

七月				八月				九月				氣象	海	洋	種類												
廿九日	廿六日	廿三日	十九日	廿八日	廿六日	廿三日	十九日	廿七日	廿五日	廿二日	十八日					廿六日	廿四日	廿一日	十七日								
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	氣象	海	洋	種類								
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	天候	上層	下層	上層	下層	水色	湖候	潮流	容量	種類		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	風向	比	重	度	明	候	方	速	上層	下層	類	
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	氣溫	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	水溫	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	比	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	重	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	水色	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	湖候	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	潮流	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	容量	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	種類	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二
二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	種類	一、〇	二、〇	七	七	六	二	二	二	二	二	二

		一				十					
日	廿	十七	十四	日	十一	九	五	日	二	廿	廿
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
没	出	全	快晴	全	全	快晴	全	晴	全	晴	快晴
全	全	全	西	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一五、二	一五、八	一七、五	一七、五	一六、〇	一五、四	一七、〇	一八、八	一六、〇	一五、五	一七、三	二〇、八
一九、四	一九、四	一九、八	一九、八	一九、二	一九、六	二〇、四	二〇、八	二〇、二	一九、五	二〇、八	二二、〇
一九、〇	一九、〇	一九、七	一九、七	一九、一	一九、五	一九、五	二〇、八	一九、五	一九、七	二〇、七	二二、八
一〇、二四四八	一〇、二四七四	一〇、二四九九	一〇、二四五五	一〇、二四六七	一〇、二四八四	一〇、二四三〇	一〇、二四九三	一〇、二四四五	一〇、二四六二	一〇、二四八八	一〇、二四九六
一〇、二四七八	一〇、二四七四	一〇、二四九九	一〇、二四五五	一〇、二四六七	一〇、二四八四	一〇、二四三〇	一〇、二四九三	一〇、二四四五	一〇、二四六二	一〇、二四八八	一〇、二四九六
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
八	七	八	八	二〇	二一	七	九	二〇	二二	二〇	二九
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
七、	三、	三、	三、	二、	三、	三、	二、	二、	二、	二、	二、
一三、〇	一四、〇	一六、〇	一六、〇	一四、〇	一五、〇	一四、〇	一三、〇	一三、〇	一三、〇	一四、〇	一五、〇
三、〇	三、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.

		月				十					
日	廿	十八	十五	日	十二	九	五	日	一	廿	廿
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
没	出	全	晴	全	全	晴	晴	全	全	晴	快晴
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一九、四	二〇、五	一九、八	二〇、〇	一九、六	二〇、八	一八、三	二〇、五	二〇、〇	二〇、八	二〇、〇	二〇、八
三三、〇	三三、四	三三、五	三三、四	三三、六	三三、七	三三、四	三三、三	三三、五	三三、一	三三、〇	三三、〇
三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇
一〇、二四四三	一〇、二四七九	一〇、二四三三	一〇、二四四六	一〇、二四三八	一〇、二四八五	一〇、二四三三	一〇、二四三九	一〇、二四六八	一〇、二四六三	一〇、二四八八	一〇、二四九五
一〇、二四四三	一〇、二四七九	一〇、二四三三	一〇、二四四六	一〇、二四三八	一〇、二四八五	一〇、二四三三	一〇、二四三九	一〇、二四六八	一〇、二四六三	一〇、二四八八	一〇、二四九五
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一〇	九	四	一五	二〇	二〇	二	二	二	二	二	二
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
急	急	急	急	急	急	急	急	急	急	急	急
一三、〇	一五、〇	一三、〇	一三、〇	一四、〇	一三、〇	一八、〇	一九、〇	一五、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇
七、〇	一五、〇	三、〇	三、〇	四、〇	三、〇	六、〇	三、〇	二、〇	一、〇	一、〇	一、〇
Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.	Di. Co. Fo. Ra. Cp. Ch.

月 九										月				
二九日	二六日	二三日	二〇日	一七日	一四日	一一日	七日	四日	一日	三〇日	二七日	二四日	二一日	二〇日
	平		平		豐	不	薄							
		(厚)	(厚)	(厚)										
						豐	(薄)		(薄)					
		(薄)												
六、〇	四、〇	三、〇	二、〇	三、〇	二、〇	一、〇	八、〇	一〇、〇	九、〇	七、〇	五、〇	四、〇	三、〇	二、〇
一、〇〇	二、〇〇	三、〇〇	四、〇〇	五、〇〇	六、〇〇	七、〇〇	八、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	一一、〇〇	一二、〇〇	一三、〇〇	一四、〇〇	一五、〇〇
Di. Co. Df. C.L.	Di. Co. Cp. Ph. Df. G.L. C.I. P.L. L.L.	Di. Cp. Df. Ph. Co. G.L. Fo.	Di. Co. Df. C.L. G.L. Ch. Pt.	Di. Co. Cf. Co. Fo.	Di. Df. Co. Cp. G.L.	Di. Df. Co. Cp. G.L. L.L. Cp.	Di. Df. Co. Cf. G.L.	Di. Co. Df. Cf. G.L.	Di. Df. Co. Cf. G.L.	Di. Co. Df. Cf. G.L. Ra.	Di. Co. Df. Cf. G.L. Pt.	Di. Co. Df. Cf. G.L. Pt.	Di. Co. Df. Cf. G.L. Pt.	Di. Co. Df. Cf. G.L. Pt.
Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.

八					月 七												
一七日	一四日	一一日	九日	六日	三日	一日	二八日	二五日	一九日	一六日	一三日	一一日	八日	六日	五日	三日	一日
										不	薄			豐	薄	不	平
												不	不		不	不	不
									薄	豐	豐						
										平	平	平	薄	不	不		
一〇、〇	七、〇	四、〇	三、〇	二、〇	一、〇	〇、〇	二、〇	三、〇	四、〇	五、〇	六、〇	七、〇	八、〇	九、〇	一〇、〇	一一、〇	一二、〇
一〇、〇〇	七、〇〇	四、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	〇、〇〇	二、〇〇	三、〇〇	四、〇〇	五、〇〇	六、〇〇	七、〇〇	八、〇〇	九、〇〇	一〇、〇〇	一一、〇〇	一二、〇〇
Di. Co. Df. L.L. G.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.	Di. Co. Df. Cf. L.L.
Di. Co. Df. Ph.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Co. Df. Cf.

二					月							一
一三日	一〇日	七日	四日	一日	三〇日	二七日	二三日	二〇日	一七日	一四日	一日	
	不	不	不	不	薄	不	薄	不	不	平	薄	
				(厚)	(薄)							
平			豊	薄				不	不	大		
四〇	九〇	六〇	四〇	四〇	一〇〇	六〇	六〇	一四〇	六〇	六〇	六〇	
八〇 Di. Di. Co. Cf.	三〇 Di. Co. Cf. Di. Cp. Ch. Cl. G.l.	二〇 Di. Co. Ra. Df. Fo.	三〇 Di. Df. Co. Fo. Ra. Cp.	一〇 Co. Di. Df. Cf. Cp. Fo. Cl. G.l.	二八〇 Di. Co. Df. Ra. P.l.	二六〇 Di. Ra. Cf. Co. Df. Fo.	六〇 Di. Co. Cf. Df. Ra. Fo.	六〇 Di. Df. Co. Fo. Ra. G.l.	二二〇 Di. Fo. Cp. Ra. Df. Cf. Co.	七〇 Di. Co. Df. Cf.	六〇 Di. Df. Ra. Fo. Co. Cl.	六〇 Di. Df. Ra. Fo. Co. Cl.
Di. Co. Df.	Di. Co. Df. Cf.	Di. Df. G.l. Cp. Fo.	Di. Co. Ra. Df. Fo. G.l.	Di. Cf. Co.	Di. Co. Ra. Df. Fo. P.l. Ch.	Di. Ra. Co. Df. Cf. Ci.	Di. Df. Co. Cl.	Di. Co. Ra. Df. G.l. Ch. Fo.	Di. Ra. Fo. Co. Df. Cf.	Di. Co. Fo. Df. Cf.	Di. Df. Co. Cf.	Di. Df. Co. Cf.

十			月							十		
九日	五日	二日	三〇日	二七日	二四日	二一日	一八日	一五日	一二日	九日	五日	一日
平	薄	豊				平	不	平	平	不	不	平
	(薄)							(薄)				
平	豊	平			豊	不	平		不		不	豊
四〇	三〇	二七〇	二四〇	八〇	五〇	二八〇	二六〇	三三〇	三三〇	一八〇	九〇	一〇〇
二〇 Di. Df. Co. Cf. Cl. Ra.	二七〇 Di. Cf. Df. Fo.	九〇 Di. Df. Co. Cp. Cl. Ra. Pt. Ch. Fo.	二八〇 Di. Df. Fo. Co. Cp.	一三〇 Di. Df. Fo. Ph.	六〇 Di. Df. Co. Cp. Fo.	一五〇 Di. Df. Fo. Co. Cf.	二〇〇 Di. Df. Fo. G.l. Cl. Co. Cf.	三〇〇 Di. C.l. Co. Df. Ra. G.l. E.l. Ra. Cp.	三三〇 Di. C.l. Co. Df. Cp. S.l. Fo. Ra. Ph.	六〇 Di. Df. Co. Cp. E.l. Ac.	三〇 Di. Df. Co. C.l. Cf. L.l. Fo.	一八〇 Di. Co.
Di. Df. Co. Cf. Cl. Ra.	Di. Co. Df. Cf. Ch.	Di. Df. Co. Cl.	Di. Df. Fo. Co. Cp. G.l.	Di. Fo. Cf. G.l.	Di. Df. Cl. Co.	Di. Df. Cf. Co.	Di. Cl. Df. G.l. Fo. Co. Cf.	Di. Cl. Co. Df. Dt. G.l. L.l.	Di. Cl. Co. Ch. Ra. Pt. P.l. L.l. Cp.	Di. Df. Co. Cf. G.l.	Di. Df. Co. G.l. Cf.	Di. Co. C.l. E.l. Ch. Df. Ra.

月				
一六日	二二日	二四日	二七日	三〇日
不	不	—	不	平
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
五〇	六〇	五〇	一五〇	七〇
Di, Co, Cp, Df.	Di, Df, Co, Fo.	Di, Co, Df, Cl, Cp.	Di, Co, Cl, Df, G, L, E, I.	Di, Co, Cl, Df, G, L, Ch.
Di, Co, Ch, Df.	Di, Co, Fo, Ra, Ch, Df.	Di, Co, Cl, Fo, Df, Cp, Ch, G, L, Cl.	Df, Ch, Cp, G, L.	Co, Cl, Di, Df, Cp.

備考。漁況ハ鯛ハ地漕、延繩、一本釣、鯧ハ手繰(六、七月)流網(一、二、三月)鰻ハ磯突キ網、柔魚及鯖ハ一本釣漁業ニ依ル

漁況欄内(厚)トアルハ其魚群ノ厚薄ヲ示スモノナリ

全欄内ニ空欄ナルハ漁期外ニ屬シ又ハ風波等ノ爲メ漁況不明ナルモノナリ最多浮種類欄ノ初メニ空欄アルハ調査器械ノ全部整ハサリシ爲メ之ヲ缺ケルニ依ル

八、重要生物調査

魚類ノ餌料ト浮游生物トノ關係ヲ明カニシ又其習性ノ一斑ヲ窺ンガ爲メ重要ナル各種ニツイテ之レガ成長度胃腸含有物及生殖腺ノ状態ヲ調査シタリ其結果ヲ左記ス

重要生物調査表

魚種	調査事項		體長	體重	生殖腺狀態	胃腸含有物	年次
	月	日					
鯧	七月	二日	二寸七分	二匁二分	不明		十四年
	七月	七日	三寸三分	二匁八分	未		
	七月	十二日	三寸六分	三匁七分	未		
	七月	十七日	四寸	四匁	未	橈脚類、葉脚類、道蝨、魚卵	十四年
	一月	十日	六寸八分	二十三匁	稍熟	硅藻類、硬皮鞭毛類、箭虫類	
	一月	廿三日	七寸	二十六匁	成	多数硅藻、少数ノ橈脚類	十四年
	二月	十二日	六寸八分	二十六匁	充分	硅藻類、橈脚類	
	二月	廿七日	六寸九分	二十七匁	充分	橈脚類、高等甲殼類幼虫、硅藻	十四年
	三月	三十日	七寸	二十五匁	放卵	橈脚類、硅藻	

魚	魚		魚		魚		魚		魚
	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	魚	
七月二日	七月七日	七月十七日	七月二十日	八月二日	八月八日	七月二日	七月七日	七月十七日	七月二十日
六寸二分	七寸一分	七寸七分	六寸	六寸	五寸六分	一尺	一尺	一尺	一尺
五十七	六十	六十二	三十九	三十九	四十九	百	百	百	百
成	成	未	未	半	成	成	成	成	成
熟	熟	熟	熟	熟	熟	熟	熟	熟	熟
鱈仔、十脚類甲片	小柔魚、長尾類甲片	柔魚仔、鰻及鰻類殘骸	小柔魚、魚卵	鰻、及鰻類遺骸	柔魚仔、十脚類、長尾類甲殼	鰻仔、玉筋魚	鰻仔、玉筋魚	鰻、玉筋魚	鰻、玉筋魚、鰻類
九〇									

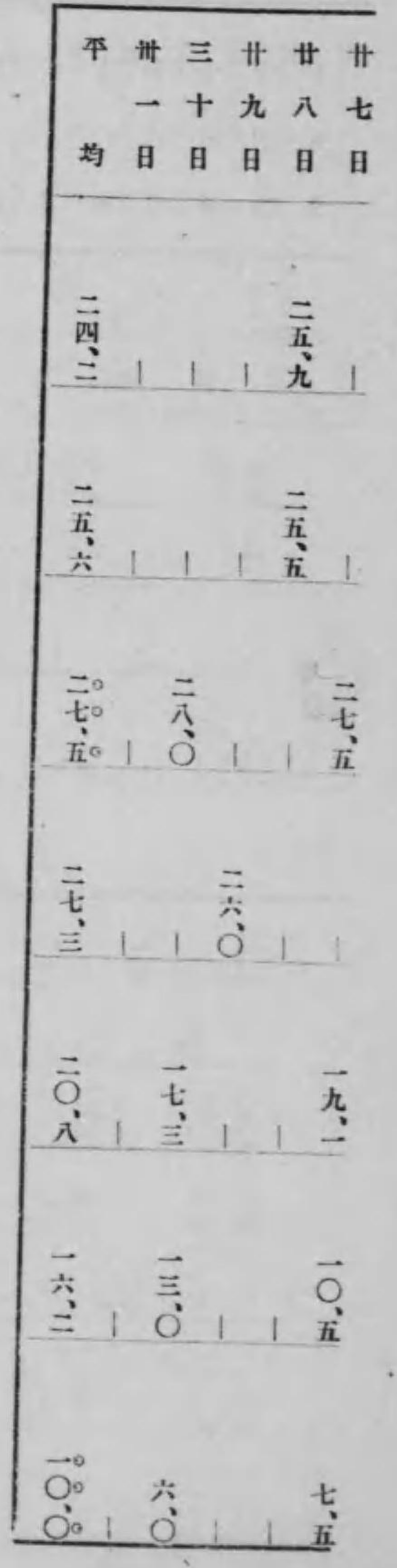
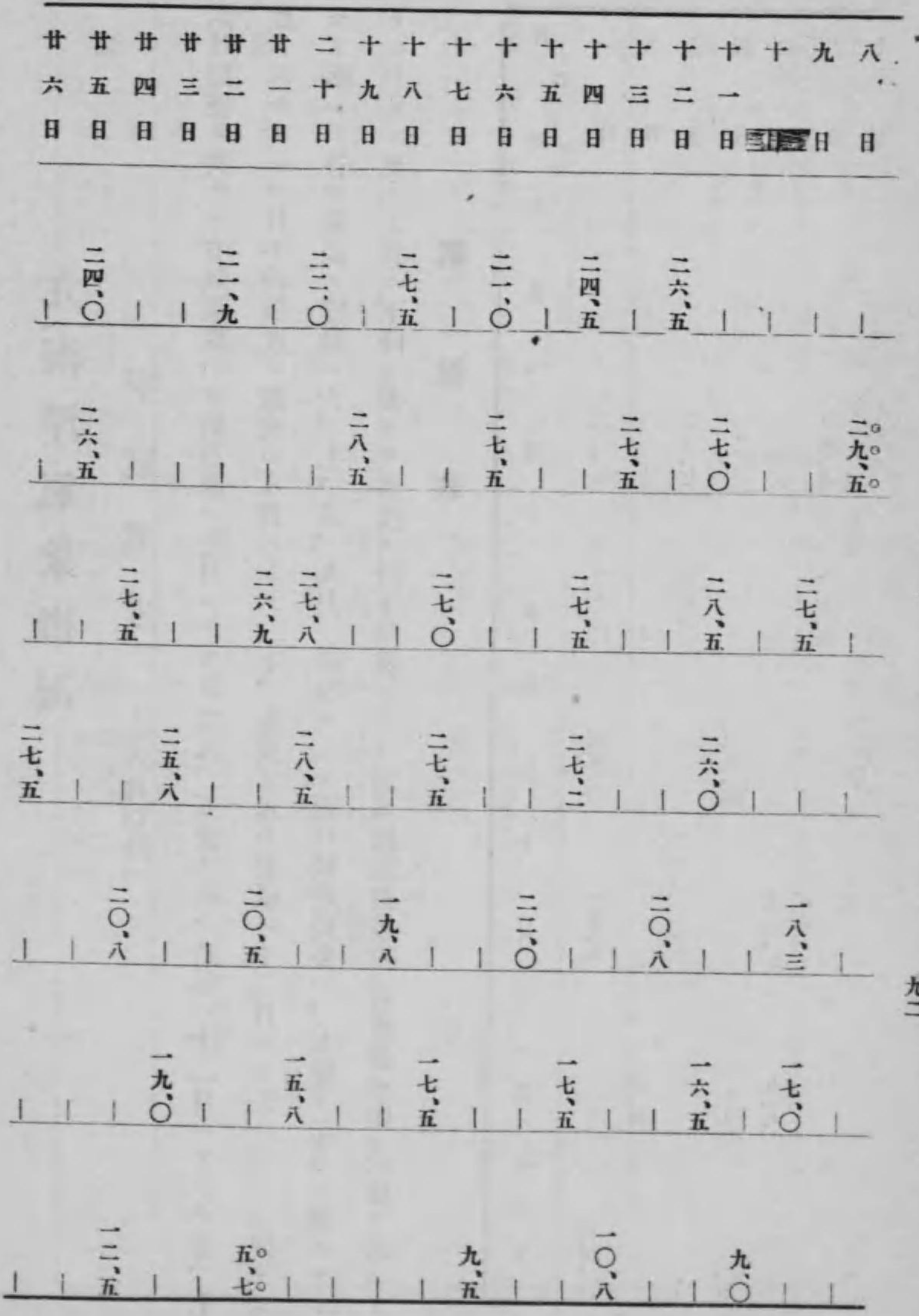
九、海洋氣象概況

(一) 空氣溫度 (六月以降)

六月以後ニ於ケル空氣溫度ハ日別最高ハ七月ニアリテ二九、五度ヲ示シ最低ハ十二月ニアリテ五、七度ヲ示セリ一ヶ月平均溫度ノ最高ハ八月ニシテ二七、五度ヲ示シ最低ハ十二月ニシテ一〇、〇度ヲ示セリ而シテ各月氣溫ノ變動ハ六、七、八、九月ハ緩徐ニシテ兩月較差最多一、九度ヲ示スニ過キサレトモ十月ニ至リテ急ニ下降シ夫ヨリ溫度ノ低下劇甚ニシテ兩月較差最多六、五度最少四、六度ヲ示セリ

氣溫表

日別	月別	六	七	八	九	十	十一	十二
一	日		二〇、五	二七、〇	二八、〇	二五、八	一五、五	一四、〇
二	日			二七、〇				
三	日		二二、七	二七、〇	二八、四		一九、八	一三、五
四	日					二三、五		
五	日		二二、五					
六	日		二四、八	二七、四				
七	日				二八、六			一一、三



(一) 海水温度 (六月以降)

海水温度ハ日別最高上層ハ七月ニアリテ二七、五度ヲ示シ下層ハ九月ニアリテ二五、七度ヲ示セリ最低ハ十二月ニアリテ上層ハ一四、八度下層ハ一四、九度ヲ示セリ、一ヶ月平均最高ハ九月ニシテ上層ハ二六、二度ヲ示シ下層ハ二五、一度ヲ示セリ最低ハ十二月ニシテ上下兩層トモ一六、一度ヲ示セリ而シテ水温ノ變動ハ氣温ニ比スレハ總テ緩ク兩月較差ハ上層最大三、五五度最少〇、五六度ヲ示シ下層最大三、五一度最少〇、八九度ニ過キス氣温ノ水温ヨリ高キハ六、七、八、九月ニシテ低キハ十、十一、十二月トス上層水温ハ十二月ヲ除クノ外ハ下層水温ヨリ高ク其較差ハ夏期ニ稍多ク一、三八度乃至一、五三度ヲ示シ秋期ハ少ク〇、〇四度乃至一、〇九度ナリトス十二月ハ稍下層水温高ク其較差

〇、〇一ヲ示セリ而シテ水温ノ昇降ハ氣温ノ昇降ト其軌ヲ一ニセリ

(三) 海水比重 (六月以降)

海水比重ハ一日最高ハ上下兩層トモニ七月ニアテリ上層ハ一、〇二五九〇下層ハ一、〇二五六四ヲ示セリ最低ハ上層ハ十月ニアリテ一、〇二三九〇下層ハ八月ニアリテ一、〇二四一〇ヲ示セリ一ヶ月平均最高ハ上層ハ六月ニシテ一、〇二五三八ヲ示シ下層ハ七月ニシテ一、〇二五三〇(六月モ全度ヲ示スモ〇、〇〇〇〇〇一度低キヲ切上ケテ全數トナセリ)ヲ示セリ最低ハ上下兩層トモ十一月ニシテ上層ハ一、〇二四六一ヲ示セリ而シテ上下兩層ノ比重ハ六、八月ヲ除ケハ常ニ下層ヲ大ナリトス

海水比重表

日別	上層					下層								
	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一		1.0247	1.0256	1.0249	1.0248	1.0247	1.0247	1.0254	1.0254	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0246
二		1.0251	1.0251	1.0250	1.0249	1.0247	1.0247	1.0252	1.0252	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0246
三		1.0251	1.0251	1.0250	1.0249	1.0247	1.0247	1.0252	1.0252	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0246
四		1.0248	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
五		1.0248	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244

日別	上層					下層								
	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
六	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
七	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
八	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
九	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十一	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十二	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十三	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十四	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十五	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十六	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十七	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十八	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
十九	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
二十	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
廿一	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
廿二	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
廿三	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244
廿四	1.0251	1.0249	1.0248	1.0247	1.0246	1.0245	1.0245	1.0250	1.0250	1.0247	1.0246	1.0245	1.0244	1.0244

廿五日	1.01510	1.01511	1.01512	1.01513	1.01514	1.01515	1.01516	1.01517	1.01518	1.01519	1.01520	1.01521	1.01522	1.01523	1.01524	1.01525	1.01526	1.01527	1.01528	1.01529	1.01530
廿六日	1.01531	1.01532	1.01533	1.01534	1.01535	1.01536	1.01537	1.01538	1.01539	1.01540	1.01541	1.01542	1.01543	1.01544	1.01545	1.01546	1.01547	1.01548	1.01549	1.01550	1.01551
廿七日	1.01552	1.01553	1.01554	1.01555	1.01556	1.01557	1.01558	1.01559	1.01560	1.01561	1.01562	1.01563	1.01564	1.01565	1.01566	1.01567	1.01568	1.01569	1.01570	1.01571	1.01572
廿八日	1.01573	1.01574	1.01575	1.01576	1.01577	1.01578	1.01579	1.01580	1.01581	1.01582	1.01583	1.01584	1.01585	1.01586	1.01587	1.01588	1.01589	1.01590	1.01591	1.01592	1.01593
廿九日	1.01594	1.01595	1.01596	1.01597	1.01598	1.01599	1.01600	1.01601	1.01602	1.01603	1.01604	1.01605	1.01606	1.01607	1.01608	1.01609	1.01610	1.01611	1.01612	1.01613	1.01614
三十日	1.01615	1.01616	1.01617	1.01618	1.01619	1.01620	1.01621	1.01622	1.01623	1.01624	1.01625	1.01626	1.01627	1.01628	1.01629	1.01630	1.01631	1.01632	1.01633	1.01634	1.01635
卅一日	1.01636	1.01637	1.01638	1.01639	1.01640	1.01641	1.01642	1.01643	1.01644	1.01645	1.01646	1.01647	1.01648	1.01649	1.01650	1.01651	1.01652	1.01653	1.01654	1.01655	1.01656
平均	1.01657	1.01658	1.01659	1.01660	1.01661	1.01662	1.01663	1.01664	1.01665	1.01666	1.01667	1.01668	1.01669	1.01670	1.01671	1.01672	1.01673	1.01674	1.01675	1.01676	1.01677

十、浮游生物

六月以降ニ於ケル浮量ハ一日量ノ最モ多キハ上層ハ六月ニアリテ八一立方糎ヲ示シ下層ハ十一月ニアリテ一二五立方糎ヲ示セリ最モ少キハ上層ハ六月ニアリテ二、八立方糎ヲ示シ下層ハ七月ニアリテ〇、九立方糎ヲ示セリ一ヶ月平均最少量ハ上層下層トモ十一月ニアリテ上層ハ三二、六立方糎下層ハ七〇、一立方糎ヲ示セリ一ヶ月平均最少量ハ上層ハ十二月ニアリテ六、四立方糎ヲ示シ下層ハ七月ニアリテ八、七立方糎ヲ示セリ其上下兩層ノ數量ハ六月ヨリ九月マテハ常ニ上層ニ多ク十月以後ハ下層ニ多量ナリ其種類ノ主ナルモノハ硅藻類、橈脚類、囊狀鞭毛類、硬皮鞭毛類及葉脚類等ニシテ硅藻類ハ週

年絶エス出現シ特ニ春秋ニ多ク橈脚類ハ七、八、九及十二月ニ最モ多ク囊狀鞭毛類ハ六、七月ニ硬皮鞭毛類ハ十、十一月ニ最モ多量ナリ
今各月ニ就キ其經過ヲ示セハ左ノ如シ

六月 上層ニ於テハ最少量八一立方糎最少量二、八立方糎平均二八立方糎ヲ示シ下層ニ於テハ最少量九四立方糎最少量一、七立方糎平均一六、八立方糎ヲ示シ上下兩層ノ平均量ノ差ハ一一、二立方糎トス

七月 上層ニ於テハ最少量四〇立方糎最少量六立方糎平均一七、五立方糎ヲ示シ下層ニ於テハ最少量二四立方糎最少量〇、九立方糎平均八、七立方糎ヲ示シ上層平均量ハ下層平均量ノ二倍ヲ示セリ其種類ハ上層ニ於テハノクチルカ、キートセラズ最モ多ク下層ニ於テハエバード子、コベボード最モ多シ

八月 上層ニ於テハ最少量五六立方糎最少量四立方糎平均量二二、八立方糎ヲ示シ下層ニ於テハ最少量八三立方糎最少量一、三立方糎平均量二二、三立方糎ヲ示シ其平均量上下畧相近シ其種類ハ上下兩層トモキートセラズ、ノクチルカ、コベボード、エバード子、コスシノデイスクス最モ多ク就中ノクチルカ、エバードネハ上旬ニ多クコスシノデイスクス、キートセラズハ下旬ニ多シ

九月 上層ニ於テハ最少量四七立方糎最少量三立方糎平均一五、一立方糎下層ニ於テハ最少量二

九立方糶最少量一立方糶平均量一三、立方糶ヲ示シ其上層平均量ハ下層平均量ヨリ二、一立方糶多シ其種類ハ上下兩層ヲ通シテ最も多キハコスシノディスクスニシテ之レニ次クハリゾソレニア、シイチドラー、セラチユーム、ペリデイユム等トス而シテ七、八月ニ最も多量ナルノクチルカ、キートセラスハ減少セリ

十月 上層ニ於テハ最多量五〇立方糶最少量八立方糶平均量二三、八立方糶ヲ示シ下層ニ於テハ最多量六四立方糶最少量六立方糶平均量二九、一立方糶ヲ示シ下層ハ上層ヨリ多クシテ其平均量ノ差五、三立方糶ヲ示セリ其種類ハ上下兩層ヲ通シテ最も多量ナルハコスシノディスクス、リゾソレニアキートセラス等ニシテ特ニリゾソレニアハ中旬頃ニ於テ最も多量ニ出現シセラチユーム、ペリデイユムハ前月ニ比シ著シク減少セリ

十一月 上層ニ於テハ最多量六五立方糶最少量六立方糶平均量三六立方糶ヲ示シ下層ニ於テハ最多量一二五立方糶最少量六立方糶平均量七〇、一立方糶ヲ示シ下層平均量ハ上層平均量ノ二倍以上ニシテ其差三七、五立方糶ヲ示セリ而シテ本月ハ上下兩層トモ各月中ノ最多量ヲ呈シ特ニ上中旬ニ於テ最も多量ナリ其種類中最も多量ナルハキートセラスニシテ就中旬ニ最も多シ而シテコスシノディスクスハ前月ニ比シ著シク減少シ下旬ニ至リテユーカンビア現出セリ

十二月 上層ニ於テハ最多量一五立方糶最少量四立方糶平均六、四立方糶ヲ示シ下層ニ於テハ最多

量二一立方糶最少量四立方糶平均一一、六立方ヲ示シ下層ニ多量ニシテ平均五、三立方糶ノ差ヲ示セリ本月ハ前月ニ比スレバ著シク分量ヲ減シ上層ハ其ノ五分ノ一下層ハ其六分ノ一以下ニ降り上層ハ全年度中ノ最低量下層ハ第二最低量ニ當レリ其種類中キートセラスハ益々減少シ上旬ニテハコスシノディスクス及コペボーダ最も多ク中旬ニ至リユーカンビア饒生シ下旬ニ至リテ漸ク減少シテバラナスロア多生セリ

蜂 量 表

日 別	層 量																							
	上 層						下 層																	
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

海水比重ノ月別平均最高ハ上層ハ十二月日没後其他ハ悉ク午後二時ニシテ最低ハ上層ハ七、九、十一、十二月ハ日出前八、十月ハ日没後ニシテ下層ハ七、九、十一月ハ日出前十二月ハ午後二時八、十月ハ日没後トス而シテ上下兩層ヲ比較スルニ八月午後二時ヲ除クノ外ハ總テ下層濃ク其較差ノ最大ナルハ八月日没後ニシテ〇、〇〇〇五八ヲ算シ之レニ次クハ十二月日没後ニシテ〇、〇〇三九ヲ算ス最小ナルハ九月午後二時ニシテ〇、〇〇〇〇一ヲ算シ之レニ次クハ十月午後二時ニシテ一、〇〇〇〇四ヲ算セリ

貯量ノ月別平均ハ概シテ下層ニ多量ヲ示シ上層ノ多量ナルハ九月日出前、午後二時及十月午後二時、日没後ノ四回トス上下二層ノ較差ハ十一月ニ最大ニシテ午後二時ニ於テ三五、立方糎ヲ算シ全年中ノ最大較差トス之レニ次クハ全月日没後ニシテ一七、七立方糎ヲ算セリ其較差ノ最少ナルハ九月日没後ニシテ〇、六立方糎ヲ算セリ

定時三回觀測表

(比重ノ欄數字ノ上ニ一、〇ヲ加フ)

月日	事項		日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時	日出前二時	日没後二時
	氣	溫																				

月		十一		九		八		七	
平均	廿一日	廿一日	廿一日	平均	廿一日	廿一日	廿一日	平均	廿一日
二八、四三、一	二七、五〇、五	二六、八〇、八	二六、〇三、八	二四、九七、五	二五、〇三、八	二五、〇三、八	二四、八三、〇	二四、二四、八	二四、二七、〇
二〇、三	一九、四	一九、六	一九、三	二五、六	二七、〇	二七、〇	二四、九	二五、一	二五、九
三三、〇三、四	三三、五三、四	三三、三三、七	三三、二五、三	二五、四三、三	二五、五三、五	二五、五三、五	二四、八三、〇	二四、四、〇	二四、四、〇
三三、〇	三三、〇	三三、〇	三三、〇	二五、七	二六、〇	二六、〇	二四、九	二四、六	二四、六
二二、三三、四	二二、三三、四	二二、三三、四	二二、三三、四	二四、九三、一	二五、三三、五	二五、三三、五	二四、八三、〇	二四、八三、〇	二四、八三、〇
二二、五	二二、五	二二、五	二二、五	二四、六	二五、〇	二五、〇	二四、六	二四、九	二四、九
二四、五〇、四三、	二四、五〇、四三、	二四、五〇、四三、	二四、五〇、四三、	二六、七二、四六、	二四、九二、四	二四、九二、四	二四、八三、〇	二四、八三、〇	二四、八三、〇
二四、四六、	二四、四六、	二四、四六、	二四、四六、	二四、六	二四、七	二四、七	二四、六	二四、九	二四、九
二四、八二、四七、九	二四、八二、四七、九	二四、八二、四七、九	二四、八二、四七、九	二四、七二、四六、	二四、九二、四	二四、九二、四	二四、八三、〇	二四、八三、〇	二四、八三、〇
二四、五七、	二四、五七、	二四、五七、	二四、五七、	二四、九〇、	二四、七	二四、七	二四、八	二四、八	二四、八
一一、七〇、〇	一一、〇〇、〇	一一、〇〇、〇	一一、〇〇、〇	一八、〇二、三	一九、〇二、〇	一九、〇二、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇
三〇、七二、三	三〇、七二、三	三〇、七二、三	三〇、七二、三	二六、七	二七、〇	二七、〇	二六、七	二六、七	二六、七
三三、八	三三、八	三三、八	三三、八	二二、三	二二、〇	二二、〇	二二、三	二二、三	二二、三

月二十			月一十		
平	廿	一	平	二十	一
均	日	日	均	日	日
七、七、六	五、二、五、七	九、五、四、〇	一五、〇、一五、九	一五、一、一五、八	一四、〇、一五、五
九、六、六	五、五、五	一〇、〇、〇	一五、七	一五、二	一六、〇
一六、一、六、四	一五、二、五、〇	一六、七、二、七、五	一八、九、一、九、七	一八、五、一、九、四	一九、五、〇、二
一六、一、六、四	一五、二、五、〇	一六、八、一、六、五	一九、〇、一、九、三	一九、〇、一、九、〇	一九、七、一、九、七
一六、一、六、四	一五、二、五、〇	一六、八、一、六、五	一九、〇、一、九、三	一九、〇、一、九、〇	一九、七、一、九、七
二四、五、二、四、五九	二四、四、一、四、三二	二四、七、〇、二、四、六八	二四、五、二、四、五九	二四、五、二、四、五七	二四、〇、五、二、四、七
二四、六、三	二四、四	二四、六、六	二四、五	二四、八	二四、七
二四、八、二、四、六六	二四、八、二、四、六九	二四、五、二、四、八〇	二四、六、二、四、六九	二四、七、二、四、七四	二四、五、二、四、五三
二五、〇、一	二四、七、五	二四、九、〇	二四、六、七	二四、七、八	二四、五、五
五、三、六、三	三、〇、六、〇	八、〇、九、〇	一〇、〇、四、〇	一〇、〇、四、〇	六、〇、三、七、〇
八、〇、〇	一〇、〇	七、〇	三、七	三、七	三、〇、九、〇、〇
八、〇、一、〇、〇	五、〇、一、〇、〇	九、〇、一、〇、〇	三、八、三、七、〇、〇	三、七、〇、〇、〇	一三、〇、九、〇、〇
一三、一、一	一〇、〇	一〇、〇	四、九、一	二、〇、〇	四、七、〇

10K

十一、結論

海洋觀測及浮ト漁業豐凶トノ關係ヲ査定センニハ尙ホ數年ヲ費ヤシテ對照查覈ヲ累ネ然ル後初メテ豫測推知スルヲ得ベク今ハ只初年度ニ於ケル經過ノ概要ヲ記述セルノミ、更ニ漁具、漁場、沿革、經濟今後ノ處理方策等ハ調査途中ナルヲ以テ次年度以降ニ於テ逐次之ヲ發表スベシ要スルニ本調査ノ如キハ年ヲ逐フニ伴ヒ趣味次第顯ハレ功果益々揚ルヲ期スベク僅々半歳ノ作業ハ只其門戸ヲ開ケルニ過キサルヲ以テ其當然ノ結果トシテ見ルベキ事蹟ナキハ已ムヲ得ザル處ナリ若シ夫レ浮ト重要漁業トノ關係ニ至リテハ圖表ヲ以テ之ヲ示セリ之ヲ熟覽翫味セハ希クハ其間多少ノ趣味ヲ發見スルヲ得ンカ

蠅貝實驗所事蹟

一、本年度試驗施行ノ概要

本年度ニアリテハ前年度ニ於ケル本場養殖試驗ノ成績並ニ當業者ノ養殖方法ト養殖貝被害死滅ノ關係トニ鑑ミ三浦、山門兩郡地先養殖場ノ行所ニ於テ毎年被害出現シ易キ場所及ビ當業者ニヨリ養殖不適當ナリト想像セラレタル地區中見込アル場所ヲ撰定シテ養殖試驗ヲ施行シ尙ホ研究ノ資料ニ供セン爲メ關係漁業組合ニ對シ本場指導ノ下ニ養殖實地試驗ヲ囑託シ又一方ニ於テハ具體的ニ蠅貝ノ死滅被害ヲ救済シ併セテ根本的改良ノ必要アル所以ヲ直覺セシムル爲メ本場從來ノ實驗ニ徴シ最良ナリト推定セル方法ニヨリ稚貝ノ採捕、蒔付ヲ連絡的ニ施行セシメ之ト同時ニ毎日三回以上養殖地附近ノ氣象及海況ヲ觀測シ傍ラ蠅貝ノ生活狀態其他諸般ノ狀況ヲ實地ニ就テ踏査シ一面養殖地ノ土質、水質ノ化學的分拆ヲ行ヒ以テ實地試驗ト學術的研究トヲ綜合シ蠅貝ノ死滅被害ノ原因及救済方法ヲ闡明センコトニ力メタリ

二、稚貝發生狀況

本年度蒔付ニ要スル蠅稚貝ヲ肉眼ヲ以テ發見セシハ四十二年十二月十六日山門郡西宮永村地先第二禁漁區ニ於テセルニ始マリ續テ各禁漁區及其他ノ發生地ニ漸次多數ヲ見出スニ至レリ而シテ之等ノ稚苗

ハ殆ント簇生シテ甚ダ濃密ナルニ拘ハラズ其生育頗ル良好ニシテ生活状態ニモ何等異状ヲ呈セザリシガ梅雨期前後ニ至リ斃死被害起リ移殖時期即チ七月中旬頃ニハ其數著シク減少セリト雖トモ其殘存數ハ尙ホ甚ダ豊饒ニシテ殆ンド前年度ニ倍セルヲ見タリ就中新設禁漁區域ハ其發生及殘存率共ニ最多ニシテ實ニ最良種苗地タルヲ夫ハサリキ如斯本年度ハ前年度ヨリ多數ノ稚貝發生シ移殖用種苗ノ不足ヲ告ケサルニ至リシハ誠ニ喜ブ可キ現象ナリトス

三、本場養殖試験地

本年度ニ於ケル本場養殖試験ノ概要ハ第一項所説ノ如クニシテ合計十六區域二百二十四坪ノ養殖試験地ヲ三瀨、山門兩郡地先干潟ニ涉リテ設定シ之レカ試験ヲ施行シタリ之ヲ細別スレバ山門郡西宮永村地先ニ於テ十二區域百五十五坪ノ試験地ヲ沿岸ニ並行シテ配置シ之ヲ甲、乙、丙ノ三區ニ分チ甲區ハ六小區域六十坪ヨリ、乙區ハ五小區域五十坪ヨリ成リ之等小區域ヲ各十坪トシ北ヨリ南ナルニ從ヒ第一、第二ノ番号ヲ附セリ、丙區ハ此二區間ニ介在セシメ一廓五十坪トシテ設置セリ、而シテ之等各區間ノ距離及各小區間ノ距離ヲ約百間宛ト爲シタリ、大和村地先試験地ハ面積三坪、二十坪及三十六坪ノ三區域ニ分チ之ヲ丁區ト名ケ沿岸ヨリ沖合ニ向ツテ配置シ其沿岸ニ近キ區域ヲ第一區トシ順次沖合ニ進ムニ從ヒ第二、第三ト定メタリ而シテ此第一、第二小區域ノ間隔ハ約七十間ニシテ第二第三小區

種貝拾個ノ平均	長	殻	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	粒數		壹升ノ平均
												平均	最大	
1.2	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
1.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
1.4	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
1.5	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
1.6	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
1.7	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
1.8	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
1.9	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.0	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.1	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.2	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.4	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.5	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.6	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.7	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.8	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
2.9	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0
3.0	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	100	150	1.0

域ノ間隔ハ約百三十間トス此外三瀨郡濱武村地先ニ於ケル試験地ハ一區劃十坪ニシテ之ヲ戊區ニ命名セリ

斯ノ如ク成ルヘク廣域ニ涉リテ設定シ以テ地區ノ適否ト方法ノ良否トヲ比較對照スルニカメタリ

四、本場養殖試験地蒔付狀況

本年度本場養殖試験地ニ移殖試験ヲ施行セルハ六月二十四日ニ初マリ而后天候海況ノ蒔付ニ適セル日ヲ撰ミテ之ヲ行ヒ八月三十日ヲ以テ全部蒔付ヲ終了シタリ而シテ其後ノ生育狀態ハ頗ル良好ニシテ何等被害ヲ來サザリキ、今此等養殖試験ノ蒔付狀況ヲ表示スレバ別紙ノ如シ

五、本場養殖試験蠶具成長度

本年度ニ於テ移殖セル蠶具ハ成育一般ニ順當ニシテ何等ノ異狀ヲ呈セサリシハ次ニ掲グル成長度表及比較圖表ニヨリ明ナル所ナリ而シテ該結果ニヨレバ甲二區ニ在リテハ蒔付ヨリ本年度末ニ至ル九ケ月間ニ於テ殼長八分四厘、殼幅三分、体重五匁九分ノ増加ヲ見乙二區ニ在リテハ蒔付後八ケ月間ニ於テ殼長七分、殼幅二分四厘、体重三匁ノ増加ヲ見タリ右ノ成長度ハ頗ル優良ナリト云フヲ得サルモ其經濟的成績ニ至リテハ逐年良好ニ赴キツ、アルヲ疑ハス

甲二區 養殖試驗蛭貝成長度表

時期	成		長		度		成		長		割		合
	平均殼長	平均殼幅	平均體重	泥面上兩孔ノ距離ノ深サ	泥面上兩孔ノ深サ	平均殼長	平均殼幅	平均體重	泥面上兩孔ノ距離ノ深サ	泥面上兩孔ノ深サ	孔ノ深サ		
四十四年七月	一、七五	〇、五二	一、三	〇、五〇	五、八七	一、二八	〇、五二	一、三	〇、五〇	五、八七	一、二八	〇、五二	一、三
八月	二、〇〇	〇、五八	二、七	〇、五五	七、〇八	一、三九	〇、五五	二、七	〇、五五	七、〇八	一、三九	〇、五五	二、七
九月	二、三〇	〇、六三	四、三	〇、六〇	八、五一	一、六八	〇、六〇	四、三	〇、六〇	八、五一	一、六八	〇、六〇	四、三
十月	二、五七	〇、六五	四、九	〇、六五	八、五〇	一、七六	〇、六五	四、九	〇、六五	八、五〇	一、七六	〇、六五	四、九
十一月	二、四〇	〇、六六	五、〇	〇、六四	一〇、三〇	一、七四	〇、六四	五、〇	〇、六四	一〇、三〇	一、七四	〇、六四	五、〇
十二月	二、四三	〇、七〇	五、六	〇、六八	一〇、三〇	一、八〇	〇、六八	五、六	〇、六八	一〇、三〇	一、八〇	〇、六八	五、六
大正元年一月	二、四四	〇、七三	五、三	〇、六九	一〇、三〇	一、八〇	〇、六九	五、三	〇、六九	一〇、三〇	一、八〇	〇、六九	五、三
二月	二、四四	〇、七六	五、八	〇、六六	一〇、三〇	一、八〇	〇、六六	五、八	〇、六六	一〇、三〇	一、八〇	〇、六六	五、八
三月	二、五九	〇、八二	七、五	〇、八	一〇、三〇	一、八〇	〇、八	七、五	〇、八	一〇、三〇	一、八〇	〇、八	七、五
四十四年八月	一、七八	〇、五四	二、三	〇、五	六、七〇	一、二	〇、五	二、三	〇、五	六、七〇	一、二	〇、五	二、三
九月	二、一七	〇、六二	三、五	〇、六	七、八	一、三	〇、六	三、五	〇、六	七、八	一、三	〇、六	三、五
十月	二、二五	〇、六六	四、七	〇、七〇	八、三	一、五	〇、七	四、七	〇、七	八、三	一、五	〇、七	四、七
十一月	二、三	〇、六八	五、一	〇、七〇	八、三	一、五	〇、七	五、一	〇、七	八、三	一、五	〇、七	五、一
十二月	二、三	〇、七〇	五、一	〇、七〇	八、三	一、五	〇、七	五、一	〇、七	八、三	一、五	〇、七	五、一

部之地験試殖	成		長		度		成		長		割		合
	平均殼長	平均殼幅	平均體重	泥面上兩孔ノ距離ノ深サ	泥面上兩孔ノ深サ	平均殼長	平均殼幅	平均體重	泥面上兩孔ノ距離ノ深サ	泥面上兩孔ノ深サ	孔ノ深サ		
十二月	二、七	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三
正元年一月	二、六	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三
二月	二、五	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三
三月	二、八	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三	〇、七	一〇、七	一、七	〇、七	五、三

六、移殖囑託試驗

明治三十九年被害發現以來當業者ノ養蛭ニ從事スルモノ甚ダ寡少トナリ爲メニ養殖地ノ大部分ハ荒廢ニ歸シ養蛭業ハ殆ンド全滅セントスル有様ナリシヲ以テ前年度ニ於テ本場ハ養蛭ニ關係アル漁業組合ニ對シ各組合理事カ最良ナリト信スル所ノ方法ニ依リ養殖試驗ヲ囑託施行セシメシガ不幸ニシテ全ク失敗ニ終リシヲ以テ各組合ノ施行セシ手段方法ヲ精細ニ調査セルニ此等養殖方法ニ種々缺點アルヲ發見セシカバ本年度ニ於テハ本場カ最善最良ナリト推定シタル方法ヲ各組合ニ示シ此方法ニヨリ養殖試驗ヲ施行センコトヲ囑託シ以テ本場養殖方法ノ適否ヲ試驗スルト同時ニ改良法ノ善良ナルコトヲ直覺的ニ一般當業者ニ知ラシメントセリ然ルニ本場ノ所期愈タス移殖蛭貝ノ生活狀態ニ何等異狀ヲ呈セス經過頗ル良好ニシテ死滅ノ慘害ヲ免ルルヲ得タリ於此一般當業者ハ本場試驗ノ結果ニヨル養殖方法ノ完全ニシテ死滅ヲ救済シ得ヘキコトヲ益々確認スルニ至レリ今此ノ囑託試驗地ノ位置、面積、種苗ノ

採捕時付日次、成績等ヲ表示スレバ左ノ如シ

本年度蝗貝養殖囑託試驗地

囑託組合名	位	置	面積	種苗採捕又ハ購入月日	産地	蒔付月日	坪宛蒔付量	坪宛一粒ノ粒數	土質	摘	要
兩開村漁業組合	山門郡兩開村東六十丁沿岸	チ距ル約三百間ノ地先	三〇坪	八月十四日	第三禁漁區域	八月十四日	三二五	少量ノ細砂貝殻片ヲ混シタル軟泥質	被害ナク成績良好		
全	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	
有明村漁業組合	山門郡大和村地先	上リ場チ距ル約七百間ノ地先	四〇坪	八月十六日	第四禁漁區域	八月十六日	全上	全上	全上	全上	
全	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	
山門郡漁業獎勵協會	山門郡西宮水村明治開チ距ル約三百五十間ノ地先	二〇〇坪	八月四日	第一、第二禁漁區域	八月四日	全上	二五〇	全上	全上	全上	

前年度(明治四十三年)度蝗貝養殖囑託試驗成績

囑託組合名	位	置	面積	種苗採捕又ハ購入月日	産地	蒔付月日	坪宛蒔付量	坪宛一粒ノ粒數	土質	摘	要
濱武村漁業組合	三浦郡濱武村十四丁開	堤防チ距ル約二百間ノ地先	一五〇坪	十月廿四日	肥前	十月廿五日	五三〇	多量ノ細砂及介殻ヲ混シタル砂泥質	蒔付タル種苗ハ十月十六日及介殻ヲ混ヨリ全月二十七日ニ至ル期ニ蒔付量ノ約九分斃死シ殘餘ハ次第二消滅セリ		

囑託組合名	位	置	面積	種苗採捕又ハ購入月日	産地	蒔付月日	坪宛蒔付量	坪宛一粒ノ粒數	土質	摘	要
全	全上	堤防チ距ル約三百間ノ地先	二〇〇坪	十月十七日	全上	十月十八日	五三〇	全上	全上	蒔付種苗ハ十月十五日ヨリ全月二十四日マデニ被害アリ成績同上	
兩開村漁業組合	山門郡兩開村東六十丁沿岸	チ距ル約七百間ノ地先	三〇坪	八月廿三日	本縣	八月廿三日	四二二	真泥質	十月十五日ヨリ全月廿四日マデニ被害アリシチ以テ蒔付量ノ約三分ニ減キテ種苗蒔付		
全	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	
有明村漁業組合	山門郡大和村地先	沿岸	三〇坪	八月廿三日	全上	八月廿三日	四二二	全上	全上	全上	
全	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	
有明村漁業組合	山門郡大和村地先	沿岸	五〇坪	七月中旬	全上	七月中旬	五三〇	軟泥質	十月十日ヨリ全月十六日マデニ約六分斃死シ殘餘ハ次第二消滅シタリ		
全	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	全上	

七、當業者トノ連絡

本場ニ於テハ消極的方法トシテ蝗貝死滅原因ヲ探究スルト共ニ積極的方法トシテ實地試驗ニヨリ救済ノ實ヲ擧ゲント欲シ極力當業者トノ意思疏通ヲ計リ本年度蒔付ニ先チ稚貝發生地中ノ幾分ヲ禁漁區トシテ之ヲ保護シ實地蒔付ニ際シテ該禁漁區産優良稚貝ヲ分與シ絶對ニ本場主任技手ノ指揮ニ從ヒ之ヲ移植セシメ以テ救済ノ策ヲ講スルト共ニ本場試驗結果ノ良好ナリシ所以ヲ直覺セシムルニ力メタリ

一、禁漁區設定ノ理由

蛭貝發生地ニ於ケル卵子ノ數ハ殆ント無數ニシテ其分布亦比較的普遍ナリト云フヲ得ベシ然レモ一度
 孵化發生スルヤ其存在率ハ甚ダシク平等ヲ欠クニ至ルヲ見ル其原因ハ主トシテ發生地ノ水質、土質ノ
 適否、潮流ノ方向、強弱、餌料ノ多寡等ノ關係ニヨルコト勿論ナリト雖トモ一面ニ於テハ蛭稚貝發生
 場ニ生育スル「わらすば」「むつごろう」「はせ」「かに」等ノ動物及前年度種苗採取ノ際採リ殘サレタ
 ル老蛭貝等ヲ採捕セントシテ常ニ該區域ニ立入り地盤ヲ蹂躪攪亂スル爲メ蛭稚貝ノ發生及生育ヲ阻碍
 シ或ハ孱弱ナル稚貝ヲ損傷セシメ漸次死ニ至ラシムルニヨルコト大ナルベシ其損害ハ實ニ計リ難キモ
 ノニシテ爲メニ移植時期ニ於テ種苗ノ不足ヲ告ケ優良種苗ノ採集望ミ難ク當業者ハ不知不識ノ間ニ不
 良種苗ノ移植ヲ計リ或ハ己ムヲ得ス他縣產不良種苗ノ供給ヲ仰クニ至レルヲ見ル此弊害ハ逐年増加ノ
 傾向ニアリテ實ニ蛭貝養殖上憂フ可キ現象アルヲ以テ本場ハ此等ノ欠点ヲ完全ニ芟除シ一定期節ニ至
 リ多量ノ優良種苗ヲ遍ク當業者ニ供給シ本場指揮監督ノ下ニ之ヲ移植セシメント欲シ明治四十四年五
 月一日付縣令ヲ以テ種苗發生地ニ禁漁區ヲ設定シ専心之レガ保護蕃殖ヲ計ルニ至レリ然ルニ一般種苗
 發生地ハ地盤ノ高隆、落筋ノ變化等諸種ノ原因ニヨリ漸次變遷スルモノニシテ現ニ大和村及兩開村地
 先ノ良好ナリシ種苗發生地ハ次第ニ不良トナリ西宮永村及濱武村地先漸次優良種苗發生場トナレルカ
 如ク年ト共ニ東方ヨリ西方ニ變遷スルノ傾向ニアリ故ニ該禁漁區域ノ如キモ或期間ヲ經過スルニ伴ヒ
 或ハ擴張シ又ハ其位置ヲ變スル等ノ必要アルベキハ免レサル事實ナル可シ

□、禁漁區設定ノ位置及其區域

禁漁區ハ三瀨、山門兩郡地先瀉中稚苗ノ發生良好ニシテ且其蕃殖保護ニ適シ採捕運搬ニ便ナルト共ニ
 周年一切ノ漁業ヲ禁スルモ比較的此等漁業者ニ不利ヲ及ボササル地ヲ撰ミ設定セルモノニシテ今此ヲ
 詳記スレハ左ノ如シ

第一 禁 漁 區

位 置

三瀨郡濱武村大字南濱武字九家道地先海面

基 点

- 第一 海岸防波堤上特設標杭
- 第二

區 域

- 甲、第二基点ヨリ百五十度ノ方位參百拾貳間
- 乙、第二基点ヨリ百五十九度ノ方位貳百八間
- 丙、第一基点ヨリ百九十八度三十九分ノ方位百七十八間
- 丁、丙ヨリ百九十八度三十分ノ方位百八十五間

沖合ハ沖端川尻筋落筋限リ

以上甲、乙、丙、丁ヲ連結シタル線ニ依リ圍マレタル區域面積四萬二千九百七十坪

第二禁漁區

位置

山門郡西宮永村大字吉富開字長榮開地先海面

基点

第一

第二

第三

第四

區域

海岸防波堤上特設標杭

甲、第一基点ヨリ三百五十五度拾分ノ方位七拾五間

乙、第二基点ヨリ二十度ノ方位線ト第三基点ヨリ三百二十三度三十分線ト交叉点

丙、第三基点ヨリ三十二度三十分ノ方位線ト第四基点ヨリ三百十八度五十分線トノ交叉点

丁、第四基点ヨリ八度四十分ノ方位參拾間

以上第一基点甲、乙、丙、丁、第四基点ヲ連結シタル線ト第一基点ヨリ第四基点ニ至ル海岸線ニ依リ圍マレタル區域面積四千四百坪

第三禁漁區

位置

山門郡大和村大字皿垣字辨天地先海面

基点

海岸防波堤上特設標杭

區域

甲、基点ヨリ二百十八度四十分ノ方位貳百壹間

乙、基点ヨリ二百三十二度三十分ノ方位貳百八拾貳間

丙、基点ヨリ二百四十二度ノ方位貳百四拾五間

丁、基点ヨリ二百四十度三十分ノ方位百八拾貳間

以上甲、乙、丙、丁ヲ連結シタル線ニ依リテ圍マレタル區域面積三千八百五十坪

第四禁漁區

位置

山門郡兩開村大字六十町字下八町地先海面

基点

區域

- 甲、基点ヨリ二百七十七度ノ方位百拾壹間
 - 乙、基点ヨリ二百八十五度三十分ノ方位百五拾參間
 - 丙、基点ヨリ二百七十度ノ方位貳百拾七間
 - 丁、基点ヨリ二百六十二度三十分ノ方位百六拾壹間
 - 戊、基点ヨリ二百六十五度ノ方位百貳拾八間
- 以上甲、乙、丙、丁ヲ連結シタル線ニヨリテ圍マレタル區域面積一萬一千五拾六坪五合

ハ、稚貝ノ保護

禁漁區域ハ特設標杭及竹木ヲ樹テテ其位置區域等ヲ明示シ縣令ヲ以テ周年一切ノ漁業ヲ禁止シ一定期間ヲ限リ本場監督ノ下ニ蠶稚苗ノ採捕ヲ許可スルコトトセリ然レドモ禁漁區域ニ於ケル蠶稚貝ノ蕃殖保護ヲ十二分ニ勵行センニハ多額ノ經費ト多大ノ勞力トヲ要スルヲ以テ自然其保護ノ不充分ニ陥ランコトヲ慮リ本場ハ蠶貝蕃殖ニ關係アル山門郡漁業獎勵協會及沿海三郡ノ各漁業組合ニ協リ左記條項ヲ協定シ以テ相互ノ連絡ヲ通ジ本場主任技手指揮監督ノ下ニ本場蠶貝蕃殖試驗地看守人及漁業組合使役ノ蕃殖地看守人ヲシテ日夜各禁漁區域ヲ巡視セシメ其保護監督ヲ嚴重ニシ可及的少經費ヲ以テ該區域

ノ取締並ニ稚貝ノ蕃殖保護ヲ完全ニ勵行センコトヲ期セリ

蠶稚貝蕃殖保護ニ關スル協定條項

- 一、漁業獎勵協會及漁業組合ハ禁漁區ノ取締並ニ蠶貝蕃殖保護ニ關シ極力蠶貝實驗所ノ便宜ヲ計ルコト
 - 二、漁業獎勵協會及漁業組合ハ蠶貝蕃殖地ノ看守人ヲシテ常ニ禁漁區域ヲ巡回看守セシメ蠶稚貝ノ發育並ニ害敵集散ノ狀況其他參考トナルヘキ一切ノ事項ヲ毎月下旬蠶貝實驗所ヘ報告スルコト
- 但シ特別事項ハ即刻通知スルヲ要ス

三、漁業組合ハ漁業者ニ對シ禁漁區取締ノ事項ヲ周知セシメ常ニ之カ取締ヲ勵行スルコト
 以上記載セル方法ニヨリ優良ナル稚貝ノ蕃殖保護ヲ計リシ結果其發生及成育狀態ノ良好ナリシハ顯著ナル事實ニシテ禁漁區以外ノ發生場ニ於ケル稚貝ノ發生成育狀況カ該區ノ夫レニ比シテ頗ル遜色アリシハ衆人ノ齊シク認ムル所ナリキ

ニ、指導ニヨル改良法並ニ其理由

前年度報告セルカ如ク當業者ノ施行スル蕃殖方法ハ極メテ單純粗雜ナルモノニシテ只種苗發生地ヨリ採取シ又ハ購入シタル種苗ヲ蕃殖地ニ運搬シテ之ヲ蒔付ケ右蒔付ヲ了レハ蕃殖地ノ周圍ニ竹木ヲ樹テ

テ標識トナシ爾後ハ何等ノ手入等ヲ行フコトナク自然ノ儘ニ放任シ一定期間ノ經過ヲ待チテ收納スルニ過キス而シテ其收納量ハ蒔付量ニ比例シテ増加スルモノナリト誤信シ一定面積ノ生産力及地區ノ適否ニ頓着ナク多量ヲ濫播スル惡弊アルヲ以テ爾來本場ハ此等ノ粗笨の養殖法ヲ矯正シ前記ノ誤信ヲ改メシメ以テ確實有利ナル養殖方法ヲ修得セシメントシ種苗採捕、蒔付時期ノ變更、種苗ノ撰定及處理法ノ改良、蒔付量制限ノ必要等ニ關スル事理ヲ説明シ實例ヲ擧ケテ指導誘掖セシカ從來慣行ノ方法ニヨリテ一旦多少ノ利益ヲ收得セシ漁業者ハ假令善良ナル方法ト認ムルモ自ラ進ンテ其欠点ヲ改メ實行スルノ勇氣ニ乏シク反ツテ之ヲ煩雜迂遠視シ依然トシテ舊慣ヲ墨守シツツアリキ故ニ三十九年被害發現以後ニ於ケル當業者ノ養殖ナル事實ハ寧ロ投機的事業ノ如キ不可思議ナル有様ヲ呈スルニ至レリ於此本年度ヨリ斷乎トシテ當業者ノ養殖方法ニ一大改良ヲ加ヘ如上ノ弊害ヲ一掃シ該業ノ確實ニシテ有利ナルコトヲ認知セシメントセリ

甲、種苗採捕蒔付時期ノ變更並ニ其理由

本縣ニ於ケル蠶貝養殖業ノ旺盛ナリシ時代ニアリテハ當業者競フテ優良ナル稚貝ノ採收ヲ急ギ早キハ六月遲キモ九月初旬マテニハ採取蒔付ヲ行ヒシガ明治三十九年以來毎年被害相踵キ養殖ノ中途ニシテ死滅ノ慘害ヲ蒙リ連歲引續キ失敗ノ結果養殖蠶貝ハ必ス被害死滅スルモノナリト誤信シ自然他ノ漁業ニ從事スルカ或ハ轉業スルノ己ムナキ苦境ニ陥ルニ至レリ隨ツテ現今ニ在リテハ全ク從前ト其趣ヲ

異ニシ万一ノ成功ヲ望ミ競々乎トシテ之レガ養殖業ヲ營ムモノ多ク爲メニ種苗ノ採捕蒔付時期ハ九月中旬乃至十月下旬ニ遅ルルニ至レリ此季節ハ氣温ノ寒暖不定ニシテ氣象海況頗ル不順ナルト共ニ稚貝ハ既ニ成長旺盛期ヲ經過シテ壯成期ニ達シ産卵期ニ相當スルヲ以テ外界ノ變化ニ對スル抵抗力著シク減少シタル所謂貝ノ安靜接息時期ニ屬スルヲ以テ此時期ニ當リ種苗ヲ採捕移植スルコトノ不適當ニシテ且ツ危險ナルハ言ヲ俟タス於此本場ハ種苗ノ採捕蒔付時期ヲ早メテ七、八ノ兩月ニ變更シタリ前年度本場養殖試驗ノ結果ニヨルニ此季節ニ於テハ稚貝未ダ壯成セス孕卵前ニ相當スルヲ以テ營ニ營養素ニ富ムノミナラス運動敏活、成長旺盛ニシテ外界ノ變化ニ對スル抵抗力最モ強ク且ツ氣象海況順調ナル日多ク爲メニ蒔付タル種苗ハ速カニ養殖地ニ潛入シ潮流ノ爲メニ流失サレ若クハ害敵ニ襲ハルコト尠ク完全ニ成育セルモノ多キヲ認メタレバ斷然此ノ期間ニ於テ移植セシムルコト、シ之レヲ實行スルニ至レリ

乙、種苗ノ撰定、處理法ノ改良並ニ其理由

水産養殖業ヲ經營スルニ當リ第一ノ要件トモ稱スヘキハ優良ナル種苗ヲ得ルノ一事ナリ而シテ此優良種苗ヲ得ントセハ先ツ種苗ノ良否ヲ鑑別撰定セサル可ラス如斯ニシテ得タル優良種苗ハ之レヲ適當ナル養殖地ニ移植スルニ先チ適當ナル處理法ヲ施シ以テ之ヲ死傷セシメサルヲ要ス斯ノ如キ注意及手段方法ハ一見其結果ニ何等ノ關係ノモ有セサルガ如キ觀アルモ此細心ナル注意ヲ拂ヘル結果ハ驚クベキ

多大ノ利益ヲ齎スコト難多實例ニ乏シカラズ然リト雖トモ理ニ暗キ當業者ハ却テ之ヲ煩雜迂遠視シ只單ニ種苗ヲ採捕シ又ハ他ヨリ蒐集シタルモノヲ淡水ヲ以テ洗滌シタル儘普通一夜乃至二晝夜間小器中ニ密收放置シタル後之ヲ養殖地ニ運搬シテ蒔付クルヲ以テ其間種苗ハ甚ダシク死傷又ハ疲憊シ活動力減退シ爲メニ其約三分ノ一ハ蒔付後養殖地ニ潜入セサル前潮流ニ押流サレ又ハ害敵ニ侵害セララル、ヲ常トス尙ホ幸ニシテ流失ヲ免レ辛フシテ潜入シ得タルモノモ其後間モナク斃死スルモノ多キニヨリ遂ニ好結果ヲ得ルコト能ハサルナリ故ニ此弊害ヲ矯正シ良種苗ヲ完全ニ移植セシメント欲シ禁漁區域内ニ於テ無傷健全ニ生育セル稚貝ヲ手採法ニヨリ採捕セシメ一旦種苗場ヨリ湧出セル海水中ニ浸シテ洗滌シ其中ヨリ死傷貝ヲ去リ略ホ同大ニシテ健全ナルモノノミヲ撰別シ之ヲ損傷セサル様注意シテ養殖地へ運搬シ即日入念平等ニ蒔付ヲ行ハシメタリ

丙、蒔付量ノ制限並ニ其理由

一定區域内ニ於ケル生物ノ生活及蕃殖ハ或程度ニ制限セラル、モノニシテ蛎貝ノ如キモ一定區域内ノ蒔付量ニシテ或程度ヲ超ユレバ反ツテ激烈ナル生存競争ヲ起サシメ遂ニ弱キハ斃レ強キモ疲弊シ結局斃ル、ニ至ルハ明カナル事實ナリトス然ルニ當業者間ニハ往々之等ノ理義ニ暗ク只多量ニ蒔付クルトキハ以テ多ク收穫シ得ヘシト盲斷シ無法ニ多量ヲ蒔付ケ爲メニ其大半若クハ總テヲ死ニ至ラシメ然シテ恰モ不可抗力ニヨリ生セル被害ノ如ク嘆嘆スルモノアルハ誠ニ憐ムヘキモノナラスヤ故ニ本場ハ此

盲斷ヲ正サント欲シ前年度ニ於テ蒔付量ノ適否試験ヲ行ヒ其結果最モ有利ナリト認メタル坪宛三畝蒔付ヲ斷行セシメタリ

ホ、禁漁區稚貝採捕蒔付ニ關スル協定事項

禁漁區域内ニ於テ發育セル稚貝ヲ本場指揮監督ノ下ニ採捕セシメ以テ完全ニ移植センメント欲シ關係郡役所、漁業獎勵協會及漁業組合ト交渉ヲ遂ケ諸事項ヲ協定シ極力本場指導方法ノ完全ニ行ハレンコトニ力メタリ今其ノ協定事項ヲ掲グレハ左ノ如シ

一、採捕時期ノ制限 自七月二十一日至八月三十一日期間ニ於テ適當ナル日ヲ撰ヒ四禁漁區域

内稚貝ヲ一齊ニ採捕セシムルコト

採捕日時及許可面積ハ其都度蛎貝實驗所ヨリ郡役所及各組合ニ通知スベシ

但シ天候海況其他採捕ニ不適當ナリト認メタル場合ハ採捕中ト雖トモ斷然中止セシムルコトアル可シ

二、採捕者ノ資格 區劃蒔付(養殖)業者本人、家族並ニ雇人ニ限ルコト

右ニ對シテハ漁業組合ヨリ氏名ヲ記入シ組合印ヲ押捺シタル証札ヲ交付シ之ヲ現場ニ携帯セシムルコト

各漁業組合ハ七月十七日限リ其組合員ノ蒔付豫定面積及氏名ヲ蛎貝實驗所へ通知ス可シ十七日

ヲ經過シタルトキハ之ヲ拒絶ス

三、採捕ノ方法 手採法トシ現場ニ於テ之ヲ指示ス

四、採集量ノ制限 蒔付豫定面積ニ對スル一定ノ數量以上ニ達シタルトキハ採捕ヲ禁ス

五、蒔付時期 採取時間ヲ繰上ケ採取稚苗ハ必ず即日蒔付ヲ了スルコト

採捕シタル稚苗ハ之ヲ貯藏シ翌日蒔付クルコトヲ禁ス

六、蒔付量ノ制限 蒔付數量ハ一坪ニ付三坪ヲ超ユルヲ許サス

七、蒔付方法 養殖地ヲ耕シ地面ヲ平坦ニシ海水ヲ撒布シ濃淡ナキ様平等ニ蒔付ケ來潮前三十

分マテニ之ヲ終了シ蒔付貝ノ死傷セルモノ或ハ生活力衰へ瀉内ニ潛入シ得サルモノヲ認メシ時

ハ速ニ之ヲ除去ス可シ

八、標識法 各自ノ養殖地ニハ水産試驗場印ヲ押捺シタル標札ヲ掲ケ之レニ稚貝採捕蒔付月日

蒔付面積及氏名ヲ記入スルコト

右標札ハ七月二十日マテニ煙貝實驗所ヨリ漁業組合ヘ交付ス

九、監督方法 水産試驗場、關係郡役所及漁業獎勵協會ハ各一名以上、漁業組合役員ハ出來得

ヘクシハ總員出動シテ協力指導方法ノ勵行及之カ監督ヲ完全ニ行フコト

へ、連絡蒔付成績

前年度ニ於ケル當業者ノ移植煙貝ハ又モ死滅ノ慘害ヲ蒙リタルモノ多カリシニ反シ單リ山門郡西宮永
村地先ニ於ケル本場試驗地拾區域百坪ニ於ケル成育頗ル良好ニシテ何等ノ被害ナカリシ結果ト本年度
特ニ本場カ禁漁區ヲ設定シテ優良稚貝ノ蕃殖ヲ勵行セル事實トハ頗ル當業者ノ注目スル所トナリ明治
四十年以降該養殖ヲ悲觀シテ全然行ハサリシ者スラ本年度ハ禁漁區產優良種苗ヲ以テ本場指導ノ下ニ
移植セント企圖セルモノ多ク爲メニ本年度ニ於テ當業者カ本場ト連絡シテ移植ヲ行ヘル總面積ハ山門
郡西宮永村地先養殖地ニ於テ合計三千拾五坪、三瀨郡濱武村地先養殖地ニ於テ合計一万六百二十一坪
總計一萬三千六百三十六坪ノ多キニ達シ之レヲ前年度ニ比スレハ山門郡地先ニ於テ八百二十七坪、三
瀨郡地先ニ於テ七千二百二十一坪、合計七千九百四十八坪ノ増加ヲ示スニ至レリ
形勢如斯ナルヲ以テ次年度ニ至ラハ恐ラクハ其養殖者數及面積共ニ急激ニ増加シ或ハ禁漁區中ノ稚貝
ノミヲ以テセハ移植用種苗ニ不足ヲ告クルニ至ル可キカラ想ハシムルニ至レリ今本年度ニ於ケル當業
者連絡蒔付ノ詳細ヲ組合別ニ記スレハ左ノ如シ

山門郡沖端村漁業組合

稚貝蒔付坪數合計	八百坪
稚貝蒔付數量合計	二十四石

移殖人員總計 二十三名

山門郡東宮永村漁業組合 五十坪
 稚貝蒔付數量合計 一石五斗

山門郡兩開村漁業組合 三百坪
 稚貝蒔付數量合計 三百石

山門郡大和村漁業組合 三百坪
 稚貝蒔付數量合計 參百石

山門郡西宮永村漁業組合 千七百六十五坪
 稚貝蒔付數量合計 五十二石九斗五升

移殖人員總計 二十四名

山門郡漁業獎勵協會 貳百坪
 稚貝蒔付數量合計 六石

三瀨郡濱武村漁業組合

稚貝蒔付坪數合計 一萬六百二十一坪
 稚貝蒔付數量合計 三百十八石六斗三升
 移殖人員總計 二百四十九名

尙ホ如上採捕蒔付期間ノ觀測表ヲ附記シテ後日ノ左券ト爲ス

禁漁區稚貝採捕蒔付監督日誌

月	日	採捕蒔付時間	天候	風向	風力	氣溫	禁漁區域 含有水溫 一尺深 土壤溫度	養殖地 含有水溫 一尺深 土壤溫度	摘 要
七月	二十一日	午前九時—午後二時	晴	南	軟	三〇・五	二六・九	二七・〇	天候不穩ニ付休
	自七月廿二日 至七月廿七日								貝ノ休養ヲ圖ル爲メ休
七月	二十八日								
七月	二十九日	午前三時半—全七時	晴	南	軟	二六・三	二五・三	二六・六	
七月	三十日	午前四時—全七時半	曇	北東	軟	二五・三	二五・三	二五・六	
七月	卅一日								降雨ニ付休
八月	一日	午前五時—全九時	晴	南	強	二五・七	二五・〇	二五・〇	
八月	二日								小湖ニ付休
八月	三日	午前七時—全十一時	晴	北	軟	二五・八	二四・九	二五・五	
八月	四日								
八月	五日	午前八時—正午	晴	北	強	二五・三	二七・五	二七・八	

八月 六日	八月 七日 午前九時—午後二時	晴	南	稍強	三〇・四	二六・六	二七・二	二六・五	二七・〇	貝ノ休養ヲ圖ル爲メ休
八月 八日 午前十時—午後三時	晴	西	軟	三〇・三	二九・四	二七・三	二九・〇	二七・一	二七・〇	
八月 九日 午前十一時—午後四時	晴	北	強	二九・〇	二八・〇	二八・五	二七・五	二六・五	二六・五	
八月 十日 正午—午後五時	晴	南東	軟	三〇・八	二七・五	二八・五	二七・五	二七・二	二七・二	
八月 十一日 午後一時—全二時	晴	東	軟	三〇・〇	二七・五	二七・五	二九・八	二七・〇	二七・〇	
八月 十二日 午後一時半—全六時半	晴	北	軟	三〇・五	二八・〇	二八・五	二七・九	二六・九	二六・九	貝ノ休養ヲ圖ル爲メ休
八月 十三日	晴	北	強	二八・八	二七・三	二七・五	二七・〇	二七・三	二七・三	暴風雨ニ付休
八月 十四日 午後三時—全七時半	晴	北	強	二八・八	二七・三	二七・五	二七・〇	二七・三	二七・三	
八月 十五日	晴	西	強	二八・三	二七・五	二八・八	二七・〇	二七・五	二七・五	禁漁區整理ニ付休
八月 十六日 午後四時—全七時半	晴	西	強	二八・三	二七・五	二八・八	二七・〇	二七・五	二七・五	
自八月十七日 至八月十九日										
八月 二十日 午前九時—午後一時	晴	北	軟	二九・五	二八・五	二九・〇	二八・二	二八・二	二八・二	
八月 二十一日 午前十時—午後一時半	晴	北西	軟	三〇・五	二九・〇	二九・九	二八・九	二八・九	二八・九	
八月 二十二日 午前十一時—午後三時	晴	南	稍強	三〇・〇	二八・五	二九・〇	二八・八	二八・二	二八・二	
八月 二十三日										
八月 二十四日										
八月 二十五日 午後一時—午後六時	晴	西	強	二八・五	二七・五	二八・八	二六・九	二六・九	二七・三	貝ノ休養ヲ圖ル爲メ休 天候不穩ニ付休
八月 二十六日 午後二時—午後七時	晴	北西	軟	二八・〇	二七・〇	二七・六	二六・五	二六・五	二六・三	

八月 二十七日 午後三時半—午後七時半	晴	北	軟	三〇・五	二八・五	二八・五	二七・三	二八・〇	
八月 二十八日 午後三時—午後七時半	晴	北西	強	三〇・五	二七・〇	二八・九	二七・三	二八・八	
八月 二十九日 午後三時—午後七時半	晴	南東	強	三〇・〇	二七・五	二七・八	二六・〇	二七・一	採捕時付終了

備考 観測ハ種苗採捕ヨリ時付ニ至ル間中央ノ時刻ニ於テ之ヲ行ヒタリ、場所ハ禁漁區、養殖地共山門郡西宮永村地先ニ於テセリ

ト、連絡時付貝ノ成育狀況

本場ト連絡ヲ通シ養殖ヲ施行セル當業者ハ七、八兩月中天候海況適順ナル日ニ於テ本場ノ指揮ニ從ヒ禁漁區産稚貝ヲ採捕シ之ヲ養殖地ニ時付ケタルコトハ前項所説ノ如シ而シテ該種苗ハ速ニ地中ニ潜入セルモノ多ク潜入後或ハ斃死シ或ハ移行シテ其棲息場ヲ變スルモノ等ハ殆ント皆無ニシテ毎年被害ノ發現期ト目サレタル十月ニ至リテモ其生活狀態ニ何等ノ變化ヲ來サス成長順當經過良好ニシテ之ヲ明治三十九年以前ニ於ケル狀況ニ比シ毫モ遜色アルヲ見ス幸ニシテ此ノ經過ヲ以テ收納期ニ至ルヲ得ハ其收納量ノ豫期以上タルベキハ信シテ疑ハサル所ナリ

八、連絡以外ノ養殖狀況

本年度本場ト連絡ヲ通シ本場指揮ノ下ニ養殖ヲ行ヒタル當業者ノ養殖稚貝ハ成育順當ニシテ何等被害ナカリシニ拘ラス一方連年ノ被害ヲ怖レタル一部ノ當業者ハ最初本場ノ指揮ニ從ヒ養殖ヲ行ヒタルモ

連年ノ被害出現期ト目サレタル十月以前蟬貝拂底ノ時機ヲ伺ヒ窃ニ之ヲ採捕販賣シ更ニ同一養殖地ニ禁漁區域外産種苗ヲ採集蒔付タルモノアリ又タ一部ノ當業者ハ本年度ニ於ケル連絡養蠶ノ經過良好ナルヲ視テ初メテ養蠶ヲ企圖シ遙カニ季節ヲ後レテ養殖ヲ行ヒタルモノ等アリ此前者ト後者トノ養殖地區ヲ合スレハ六區域面積合計三百坪ニシテ此地區ニ限リ連年ノ通り果然被害ヲ來シ殆ント全滅ノ慘害ヲ呈スルニ至レリ今此地區ノ位置ヲ視ルニ其一ハ本場看守人區劃養殖地ニ接シ他ハ本場養殖試驗地タル山門郡西宮永村地先甲五區及乙三區ニ隣接シ看守人養殖地ト同列中ニアリ水質土質等共ニ何等ノ差異ナキニ拘ハラズ獨リ此等ノ部分ノミニ被害ヲ來セルハ全ク其方法ノ不適當ナルヲ表示セルモノニシテ同時ニ本場指導方法ノ優良ナルヲ証明シタルモノナリ今此連絡以外ニ養殖ヲ行ヒタル地區ニ就キ詳記スレハ左表ノ如シ

連絡以外ノ當業者養殖地ノ部

養殖地番號	種苗採捕蒔付日	壹升粒數	産地	坪數	面積	土質	被害	摘	要
1	自九月廿五日 至九月三十日	二百五十粒 乃至 二百八十粒	第一、第二 禁漁區域附 近	四升乃至 四升五合	四十坪	少量ノ細 砂介殼ヲ 混シタル 軟泥質	十月七日ヨリ 十月十五日マ テ	收穫見込ナシ	連絡シテ七月廿九、卅日八月一、四、五日ニ禁漁區域種苗ヲ四百四十五坪ニ移殖セシカ之ヲ行ハル八月四、九、廿四日マテニ採捕更ニ同一地區ニ(上記ノ如ク)第二回ノ養殖ヲ行ヒタリ

2	3	4	5	6
自八月七日 至九月八日	自九月七日 至九月十八日	自九月八日 至九月廿七日	自九月十日 至十月九日	自十月三日 至十月七日
二百八十粒 乃至 三百粒	二百五十粒 乃至 三百八十粒	全	二百五十粒 乃至 二百八十粒	二百五十粒 乃至 二百六十粒
第二禁漁區 附近	第一、第二 禁漁區附近	全	全	全
五升五合位 百五十坪全	三 升三十坪全	五 升五十坪全	四 乃至 五 升八十坪全	二 升二十坪全
十月十五日ヨ リ十月卅日マ テ	十月七日ヨ リ十月十五日マ テ	全	十月十五日ヨ リ十月卅日マ テ	全
百五十坪ノ中七十坪ヲ九月二十二日ヨ リ十月十三日マテニ採捕シ殘リ八十坪 ノ蠶貝ハ其後被害斃死シ收穫見込ナキ ニ至レリ	收穫見込ナシ	全	全	七分斃死セリ 連絡シテ自七月廿九日至八月三十一日 期間ニ百五十坪ニ付蒔付タル蠶貝ヲ九月 下旬採取シ更ニ同一地區ニ(上記ノ如 ク)第二回ノ養殖ヲ行ヒタリ

九、蟬貝被害狀況

前年度ニ於ケル被害ハ十月十五日ニ出現シ十一月五日終熄スルニ至リシカ本年度被害ヲ初メテ發見セシハ十月七日ニシテ前年ニ比シ早キコト八日ナリキ而シテ全ク終熄スルニ至リシハ十月三十日ニシテ其被害箇所ハ山門郡西宮永村沿岸ヨリ沖合約八百間ノ本場養殖試驗地甲五區及乙三區ノ南西ニ隣接セ

ル養殖地區ニシテ前項記載ノ本場連絡以外ニ當業者カ從來慣行ノ方法ニ依リ養殖ヲ行ヒタル箇所ナリトス此部分ハ以前良好ナル養殖地ナリシカ數年來養殖ヲ行ハサリシ箇所ナリキ今其被害狀況ヲ見ルニ被害蠔貝ハ生息地面ニ這出テ斃死スルモノト他ヘ移行スルモノトアリテ他ニ移行スルモノハ一坪内ニ二、三ヲ發見セリ移動セサルモノハ一様ニ生息地面ニ表ハセル呼吸孔ノ存在鮮明ヲ欠キ運動不活潑ノ状態ニ陥リ其儘斃死スルモノト再ヒ健康状態ニ復シ呼吸孔ノ鮮明トナレルモノトアリ然レモ右ノ如ク回復セルハ頗ル僅少ニ過キスシテ殆ント全ク死滅セリト云フヲ得可シ而シテ被害蠔貝ノ斃死状態ハ種々ナリト雖トモ之ヲ大別スレハ左ノ如シ

- イ、介殼ヲ半開シ殼長ノ約三分ノ一ヲ瀉面ニ直出セルモノ
 - ロ、介殼ヲ全開シ瀉面ニ露出セルモノ
 - ハ、介殼ヲ閉塞シ瀉面下一尺乃至二尺ノ深度ニ於テ水管ヲ緊縮セルモノ
 - ニ、介殼ヲ全開シ瀉面下三寸乃至一尺ノ深度ニ於テ水管ヲ殼外ニ少シク出シタルモノ
 - ホ、介殼ヲ半開シ水管ヲ緊縮シ瀉面下三寸乃至一尺ノ深度ニアルモノ
 - ヘ、介殼ヲ半開シ水管ヲ少シク殼外ニ出シ瀉面下三寸乃至一尺ノ深度ニアルモノ
- 等ニシテ被害當時該養殖地ニ生存セル蠔貝ヲ見ルニ或ハ土壤中深く潛入シ或ハ土壤面近ク匍昇ル等其位置不定ニシテ何レモ殆ント頻死ノ状態ニアリキ而シテ被害地ニ棲息セル「しやせんがい」「ふちつば」

「しやせんがい」「はせ」「わらすば」等ヲ見ルニ「ふちつば」ハ生活状態ニ何等ノ異狀ヲ呈セス其他ノモノハ運動稍不活潑ノ状態ニ陥リシモノ、如クナルモ斃死セルモノヲ認メサリキ

十、海洋觀測

觀測地点ハ山門郡西宮永村地先養殖試驗地及ヒ三池郡三川村三池築港外ノ二ヶ所ニシテ毎日滿潮時、八分干潮時、干潮時ノ三回晝夜ノ別ナク晴雨ヲ論セス之ヲ勵行セリ即チ別紙ヲ以テ之ヲ表示ス

上層海水温度表

(山門郡西宮永村地先)

月次事項	潮			干潮			干潮(停水)		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
四十四年四月	二三.〇〇	一五.八〇	一九.八六	二六.八〇	二二.〇〇	二〇.三三	三三.五〇	一五.五〇	二四.七一
五月	二六.二〇	一九.九〇	二二.三三	二五.四〇	二二.三〇	二二.二八	三三.〇〇	二二.一〇	二五.四五
六月	三三.一〇	二二.九〇	二七.〇〇	三〇.八〇	二二.三〇	二七.二六	三六.七〇	二三.七〇	三〇.三三
七月	三三.一〇	二六.〇〇	二八.三三	三〇.七〇	二五.八〇	二九.四七	三七.八〇	二四.五〇	三〇.一七
八月	三〇.九〇	二四.〇〇	二七.二二	二八.五〇	二三.〇〇	二六.三四	三四.八〇	二四.三〇	二八.二二
九月	二四.六〇	一六.七〇	二〇.三三	二四.五〇	一六.三〇	一九.五七	二六.〇〇	一三.七〇	二〇.七二

大正元年	十一月	十二月	下層海水温度表						
			最高	最低	平均	干潮 (含水)			
十一月	二〇、四〇	一〇、七〇	一五、五五	一八、一〇	一〇、三〇	一五、三三	二六、五〇	九、七〇	二六、八〇
十二月	一三、八〇	六、八〇	九、五四	一三、八〇	六、二〇	九、五五	一八、三〇	三、八〇	一〇、六三
一月	一〇、九〇	四、〇〇	七、四三	九、九〇	四、五〇	七、三二	一二、六〇	四、四〇	八、一八
二月	一四、〇〇	六、七〇	八、九六	一三、三〇	六、八〇	八、九〇	一六、四〇	六、二〇	一〇、五一
三月									

一三四

四十四年	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	下層海水温度表					
										最高	最低	平均	干潮 (含水)		
四月										二四、五〇	二二、八〇	二二、九〇	二四、四〇	一六、六〇	二〇、七〇
五月										二九、八〇	二三、〇〇	二六、九〇	二六、四〇	二二、五〇	二三、六三
六月										二九、八〇	二三、〇〇	二六、九〇	二六、四〇	二二、五〇	二三、六三
七月										二九、八〇	二三、〇〇	二六、九〇	二六、四〇	二二、五〇	二三、六三
八月										三〇、〇〇	二三、二〇	二七、〇〇	二七、四〇	二二、四〇	二七、一〇
九月										二四、〇〇	一七、七〇	二二、〇〇	二七、六〇	二二、五〇	二七、六三
十月										一八、五〇	一七、七〇	一七、五〇	二二、〇〇	二二、〇八	二二、〇八
十一月										一三、六〇	一四、四〇	一五、八二	一〇、一四	一五、八二	一六、六〇
十二月															一一、五九

大正元年	一月	二月	三月	上層海水比重表			
				最大	最小	平均	干潮 (停水)
一月	一〇、〇〇	四、六〇	七、四四	一〇、三〇	五、四〇	七、九四	七、九四
二月	一三、四〇		八、九四	一三、八〇	七、三〇	七、三〇	九、一六
三月							

四十四年	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	上層海水比重表				
										最大	最小	平均	干潮 (停水)	
四月										一〇、九〇	一〇、〇七五	一〇、四二	一〇、九〇	一〇、三三
五月										一〇、四五	一〇、〇一〇	一〇、八六	一〇、四五	一〇、三三
六月										一〇、四五	一〇、〇一〇	一〇、八六	一〇、四五	一〇、三三
七月										一〇、八〇	一〇、〇〇〇	一〇、二四	一〇、八〇	一〇、三三
八月										一〇、八〇	一〇、〇〇〇	一〇、二四	一〇、八〇	一〇、三三
九月										一〇、八七	一〇、〇〇〇	一〇、二八	一〇、八七	一〇、三三
十月										一〇、二〇	一〇、〇四二	一〇、三七	一〇、二〇	一〇、三三
十一月										一〇、二〇	一〇、〇四二	一〇、三七	一〇、二〇	一〇、三三
十二月										一〇、九〇	一〇、〇六〇	一〇、四一	一〇、九〇	一〇、三三

一三五

大正元年	一月	二月	三月
1,090	1,090	1,090	1,090
1,065	1,065	1,065	1,065
1,040	1,040	1,040	1,040
1,070	1,070	1,070	1,070
1,050	1,050	1,050	1,050
1,020	1,020	1,020	1,020
1,010	1,010	1,010	1,010
1,085	1,085	1,085	1,085
1,095	1,095	1,095	1,095

下層海水比重表 (山門郡西宮永村地先)

月次	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
最大	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
最小	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
平均	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
干	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010
潮	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
平均 (含水)	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015

大正元年	一月	二月	三月
1,015	1,015	1,015	1,015
1,010	1,010	1,010	1,010
1,010	1,010	1,010	1,010
1,015	1,015	1,015	1,015
1,010	1,010	1,010	1,010

養殖地土壤溫度 (山門郡西宮永村地先)

月次	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
最高	30.8	30.3	30.3	30.6	30.0	28.0	25.5	25.0	25.0
最低	22.0	22.6	23.0	23.6	23.7	23.0	21.0	19.4	19.0
平均	23.3	26.0	27.0	27.3	27.0	26.0	24.0	21.0	20.0
一尺	27.6	27.0	27.0	27.5	27.8	27.0	25.0	23.0	22.0
最低	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	13.0	11.0	11.0
平均	19.4	22.0	23.0	23.0	23.0	22.0	20.0	18.0	17.0
三尺	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	24.0	22.0	21.0
最低	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	13.0	11.0	11.0
平均	19.0	22.0	23.0	23.0	23.0	22.0	20.0	18.0	17.0

大正元年	三	二	一
月	月	月	月
最高	一七,〇〇	一三,〇〇	一三,〇〇
最低	六,五〇	三,五〇	三,五〇
平均	一〇,五七	八,一六	八,一六
八分	一〇,〇〇	一〇,八〇	一〇,八〇
最低	七,〇〇	六,三〇	六,三〇
平均	八,七四	七,八八	七,八八
最高	二一,二〇	二一,〇〇	二一,〇〇
最低	八,三〇	七,四〇	七,四〇
平均	九,五八	九,二五	九,二五

上層海水温度表 (三池郡三池燈臺地先)

大正元年	三	二	一
月	月	月	月
最高	一六,〇〇	一九,五〇	二五,五〇
最低	一〇,〇〇	一四,二〇	一九,二〇
平均	一三,六八	一七,四四	二二,七四
八分	一六,〇〇	一九,五〇	二五,五〇
最低	九,五〇	一四,四〇	一八,四〇
平均	一二,三三	一七,三〇	二二,四七
最高	一六,〇〇	一九,五〇	二五,五〇
最低	一〇,〇〇	一四,二〇	一九,二〇
平均	一二,三三	一七,三〇	二二,四七

大正元年	三	二	一
月	月	月	月
最高	一四,〇〇	一二,〇〇	一一,五〇
最低	一〇,八〇	八,三〇	七,〇〇
平均	一二,〇五	九,八七	九,五五
八分	一四,〇〇	一二,〇〇	一一,〇〇
最低	一〇,六〇	八,二〇	六,〇〇
平均	一二,三三	九,五五	九,〇〇
最高	一四,〇〇	一二,〇〇	一一,〇〇
最低	一〇,五〇	八,二〇	六,〇〇
平均	一二,〇六	九,五九	八,八四

下層海水温度表 (三池郡三池燈臺地先)

四十四年	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
最高	一五,五〇	一九,〇〇	二五,〇〇	二七,二〇	二八,〇〇	二九,〇〇	二九,五〇	二九,五〇	二九,五〇
最低	一〇,〇〇	一四,七〇	一九,四〇	二四,五〇	二五,五〇	二六,五〇	二七,五〇	二八,五〇	二八,五〇
平均	一二,四八	一七,五七	二二,四三	二六,二六	二六,六〇	二七,四〇	二七,八六	二八,〇〇	二八,〇〇
八分	一五,八〇	一九,四〇	二五,〇〇	二八,五〇	二八,五〇	二九,五〇	二九,五〇	二九,五〇	二九,五〇
最低	九,七〇	一四,〇〇	一八,五〇	二五,二二	二五,〇〇	二六,二〇	二六,二〇	二六,二〇	二六,二〇
平均	一二,二七	一七,五〇	二二,一九	二六,七〇	二六,九二	二七,五〇	二七,六六	二七,六六	二七,六六
最高	一五,九〇	一九,二〇	二五,〇〇	二八,五〇	二八,八〇	二九,〇〇	二九,〇〇	二九,〇〇	二九,〇〇
最低	一〇,〇〇	一四,二〇	一八,三〇	二五,〇〇	二五,〇〇	二六,〇〇	二六,〇〇	二六,〇〇	二六,〇〇
平均	一二,三四	一七,五〇	二二,二八	二六,七五	二七,〇六	二七,五六	二七,八二	二七,八二	二七,八二

大正元年

三	二	一	月	月	月
三、六〇	一五、〇〇	二、〇〇	最大	最小	平均
一〇、八〇	八、五〇	七、二〇	八分	干	干
一、二、九二	一〇、一〇	九、三四	最大	最小	平均
三、七〇	一四、〇〇	一〇、八〇	干	干	干
一〇、九〇	八、〇〇	六、五〇	最大	最小	平均
一、二、〇三	九、五八	九、〇八	干	干	干
三、七〇	一五、三〇	一〇、八〇	最大	最小	平均
一、一、〇〇	八、一〇	六、二〇	干	干	干
二、〇、〇四	九、六四	八、九六	最大	最小	平均

一四〇

大正元年

上層海水比重表 (三池郡三池燈臺地先)

三	二	一	月	月	月
三、六〇	一五、〇〇	二、〇〇	最大	最小	平均
一〇、八〇	八、五〇	七、二〇	八分	干	干
一、二、九二	一〇、一〇	九、三四	最大	最小	平均
三、七〇	一四、〇〇	一〇、八〇	干	干	干
一〇、九〇	八、〇〇	六、五〇	最大	最小	平均
一、二、〇三	九、五八	九、〇八	干	干	干
三、七〇	一五、三〇	一〇、八〇	最大	最小	平均
一、一、〇〇	八、一〇	六、二〇	干	干	干
二、〇、〇四	九、六四	八、九六	最大	最小	平均

大正元年

三	二	一	月	月	月
一、〇、四二	一、〇、四六	一、〇、四一	最大	最小	平均
一、〇、三〇	一、〇、三七	一、〇、三三	八分	干	干
一、〇、三二	一、〇、四一	一、〇、三六	最大	最小	平均
一、〇、四六	一、〇、四四	一、〇、四三	干	干	干
一、〇、二六	一、〇、九五	一、〇、一〇〇	最大	最小	平均
一、〇、三四	一、〇、三八	一、〇、三四	干	干	干
一、〇、四四	一、〇、四二	一、〇、四四	最大	最小	平均
一、〇、二六	一、〇、九二	一、〇、一〇〇	干	干	干
一、〇、三三	一、〇、三七	一、〇、三四	最大	最小	平均

大正元年

下層海水比重表 (三池郡三池燈臺地先)

三	二	一	月	月	月
一、〇、四一	一、〇、三三	一、〇、三六	最大	最小	平均
一、〇、三三	一、〇、二五	一、〇、二八	八分	干	干
一、〇、三五	一、〇、二〇	一、〇、一九	最大	最小	平均
一、〇、三五	一、〇、二五	一、〇、二五	干	干	干
一、〇、三六	一、〇、二二	一、〇、二二	最大	最小	平均
一、〇、三六	一、〇、一八	一、〇、一八	干	干	干
一、〇、三六	一、〇、一五	一、〇、一六	最大	最小	平均
一、〇、三六	一、〇、一三	一、〇、一三	干	干	干
一、〇、三六	一、〇、一〇	一、〇、一〇	最大	最小	平均
一、〇、三六	一、〇、〇八	一、〇、〇八	干	干	干
一、〇、三六	一、〇、〇五	一、〇、〇五	最大	最小	平均
一、〇、三六	一、〇、〇三	一、〇、〇三	干	干	干
一、〇、三六	一、〇、〇一	一、〇、〇一	最大	最小	平均
一、〇、三六	一、〇、〇〇	一、〇、〇〇	干	干	干

一四一

大正元年

月	一	二	三
消長	1,015	1,014	1,016
平均	1,013	1,013	1,013
最	1,015	1,014	1,016
小	1,011	1,010	1,011
均	1,014	1,014	1,014
最	1,017	1,017	1,017
小	1,011	1,011	1,011
均	1,011	1,011	1,011

141

浮消長表

(單位ハ立方櫃)

月次	山門郡西宮永村地先		三池郡三池燈臺地先	
	最	小	最	小
四月	1,600	0,800	10,000	0,800
五月	1,000	0,100	2,700	0,800
六月	0,400	0,150	3,100	0,800
七月	2,000	0,100	16,000	0,800
八月	0,650	0,300	14,000	0,800
九月	0,960	0,300	5,000	0,800
十月	1,250	0,250	3,000	0,800
十一月	0,600	0,100	3,000	0,800
十二月	0,600	0,100	3,000	0,800
平均	1,000	0,200	4,000	0,800
最	2,000	0,150	16,000	0,800
小	0,100	0,100	0,800	0,800
均	1,000	0,200	4,000	0,800

大正元年

月	一	二	三
消長	0,400	0,350	0,400
平均	0,100	0,100	0,100
最	0,400	0,350	0,400
小	0,100	0,100	0,100
均	0,100	0,100	0,100
最	0,400	0,350	0,400
小	0,100	0,100	0,100
均	0,100	0,100	0,100

十一、各種實驗事項

甲、移植地盤掘返シ

養殖試驗地中西宮永村及両開村地先ニ於ケル甲乙兩區ハ三月中旬ニ於テ地盤ノ掘返シヲ行ヒ以テ地盤ノ硬軟ヲ平均ナラシメ害敵ヲ驅除シ養殖ニ便ナラシメシカ此所ニ移植セル貝ハ其後ノ生育狀態他ノ區ニ比シ特ニ良好ナルヲ見タリ

乙、浮游生物調査

蛭貝生育ノ良否ハ主トシテ其餌料タルヘキ浮游生物ノ消長ニ基因スルモノナレハ本場ハ養殖地ニ於ケル浮游生物ノ種類ヲ調査シ引續キ浮游生物ノ消長ト蛭貝生育トノ關係ヲ明カニセントス今左ニ本年養殖地ニ於ケル浮游生物ノ種類ヲ表記スレハ左ノ如シ

浮游生物

143

硅藻類

(Diatomaceae, or Bacillariaceae.)

182

- Chaetoceras atolanticum Cleve.
 ♪ distans Cleve.
 ♪ paradoxum Cleve.
 ♪ (Bacteriastrum) varians Lander.
 Biddulphia longicirris Grev var.
 ♪ chinensis Grev.
 ♪ sinensis.
 ♪ (odontella) reticulata Roper var. inermis Castr.
 Corethron eriophilum.
 Navicula grevillei Heib.
 ♪ sp.
 Rhizosolenis calcar-avis Schultz.
 ♪ alata.
 ♪ sp.
 Bacillaria socialis Greg.
 ♪ ♪ ♪ var. seychellensis Grun ?
 ♪ paradoxum.
 Nitzschia longissima Ralf.

- ♪ sp.
 ♪ sp.
 Ditylum sp.
 Thalassiothrix curvata Casta.
 ♪ nitzschoides.
 Coscinodiscus sp.
 Pleurosigma angulatum. Lin.
 Thalassiosira hyalina.
 Melosira sp.
 Skeletonema costatum (Grev.) Grun.
 Eucampia zodiacaus Fhrend.
 Stephanodiscus sp.
 Stephanopyxis sp.
 Triceratium arcticum Brightw. var. japonica Schmidt.
 Coeconeis Scutellum Ehr.
 Cerataulina compacta Ostf.
 Schmidtella elongata Schrödl.
 Dimerogramma williamsonii Grew.
 Planktoniella sol. (Wallid) Schütt.

183

日八月五	日七月五	日五月五	日四月五
19.5	19.7	19.0	23.0
20.2	18.5	21.0	22.5
20.0	18.5	21.0	21.5
2	2	2	2
4	4	5	6
時三後午日七	時三後午日五	半時三後午日四	時二後午日二
明未日八	明未日七	明未自日五 時八前午至	明未自日四 時七前午至
良	良不	良	良不
會農村興神	會農村鄉東	會農町崎屋津	場農範模郡賀遠
300	300	300	300
125,000	25,000	115,000	50,000

日三月五	日 月
25.5 度 (攝氏)	溫 氣
18.5 度 (攝氏)	溫水池養放時入取
18.0 度 (攝氏)	溫水池卵産時入取
2	雌 } 親鯉數
5	雄 }
時四後午日二	時日入取池卵産
明未日三	時日卵産
良	况狀之卵産
會農村郡小郡井三	名所個布配
300	數巢魚
85,000	數概卵着

本年度ニ於ケル本場養殖親鯉ノ産卵ハ五月三日ニ始マリ五月十六日ニ終レリ此間採卵セル日數十日ニシテ之レニ使用セル親鯉數ハ雄九十八、雌八十二尾ナリキ合此ノ採卵狀況ヲ詳細ニ表記スレハ左ノ如シ

宗像郡東郷村農會
計
三、採卵ノ狀況

一、一六五、〇〇〇

一五〇

項	配布箇所	配布回数	配布卵數	孵化數	明數ノ歩留リ	收穫尾數
三井郡小郡村農會	自五月三日 至五月十六日 四回	三十七万五千粒	十五万尾	四割	秋 七千五百尾	秋 七千五百尾
遠賀郡模範農場	五月四日 一回	五万粒	(減死部全)			
宗像郡神興村農會	自五月八日 至五月十二日 二回	二十五万粒	十二万尾	四割八歩	秋 三万五千尾	秋 三万五千尾
宗像郡津屋崎町農會	自五月十一日 至五月十五日 二回	十七万粒	一万五千尾	八歩八厘	秋 千五百二十尾	秋 千五百二十尾
宗像郡上西郷村農會	自五月十一日 至五月十六日 二回	二十六万粒	五万二千尾	二割	秋 一万三千七百尾	秋 一万三千七百尾
宗像郡東郷村農會	自五月九日 至五月九日 一回	六万粒	四万尾	六割六歩	秋 二万尾	秋 二万尾

一五三

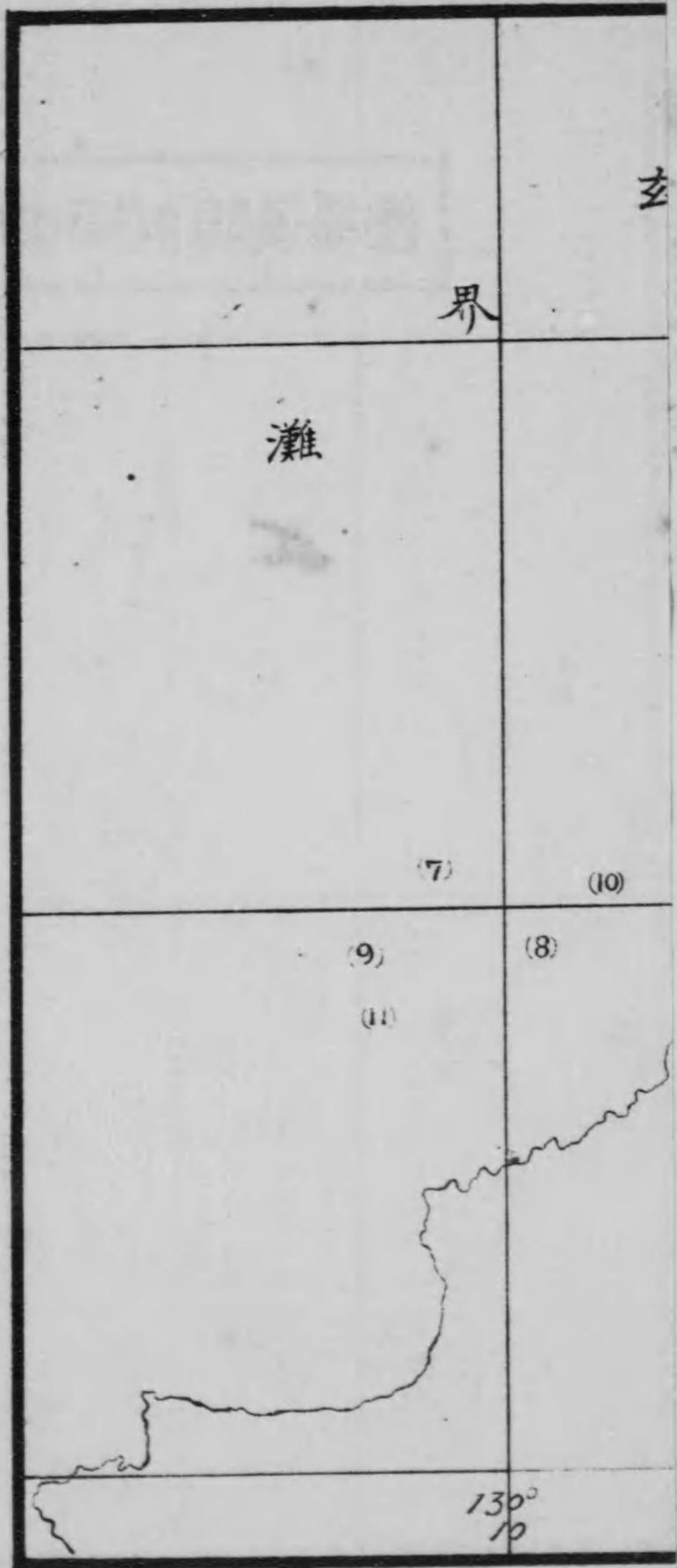
前記ノ如ク配布セル鯉卵ノ其後ニ於ケル孵化數並ニ秋季收穫數量、價格及成長度等ヲ調査シタルニ左表ノ成績ヲ得タリ

四、成績

日六十月五
27.1
26.1
60
47
半時三後午日二十
明未白 } 日六十 時七前午至 }
良 不
會農村郷西上
會農村郡小郡井三
1000
200.000 } 150.000 }

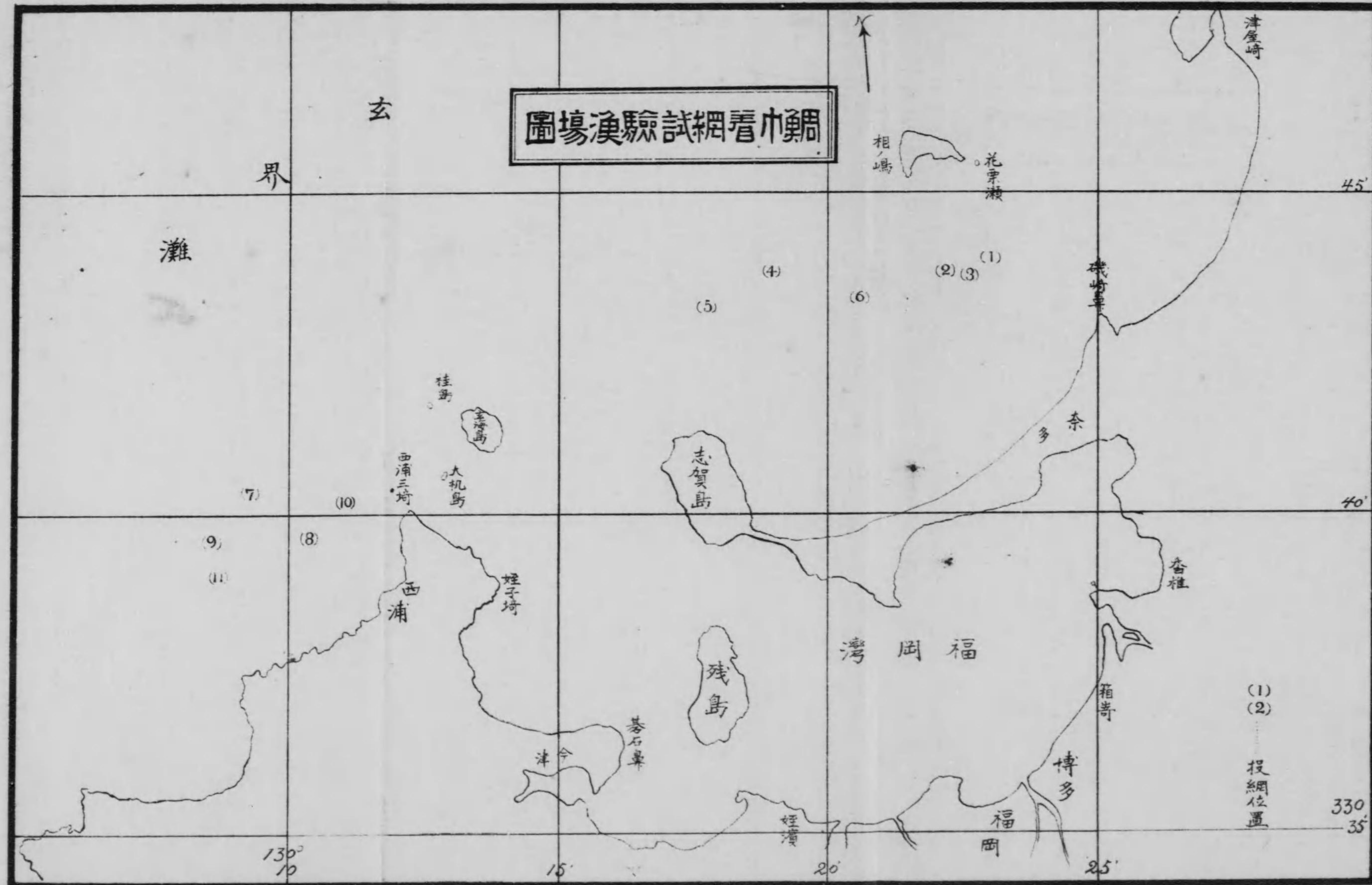
日二十月五	日一十月五	日十月五	日九月五
25.5	28.1	23.0	20.5
28.7	22.5	22.0	23.5
25.7	21.1	21.0	22.7
4	4	2	2
10	8	4	5
半時四後午日一十	半時二後午日十	半時一後午日九	時二後午日八
明末日二十	明末日一十	明未白 } 日十 時八前午至 }	明未白 } 日九 半時九前午至 }
良 不	良 不	良	良
會農村與神	會農村郷西上 會農町崎屋津	會農村郡小郡井三	會農村郷東 會農村郡小郡井三
650	500	400	400
125.000	60.000 } 55.000 }	75.000	35.000 } 65.000 }

一五二

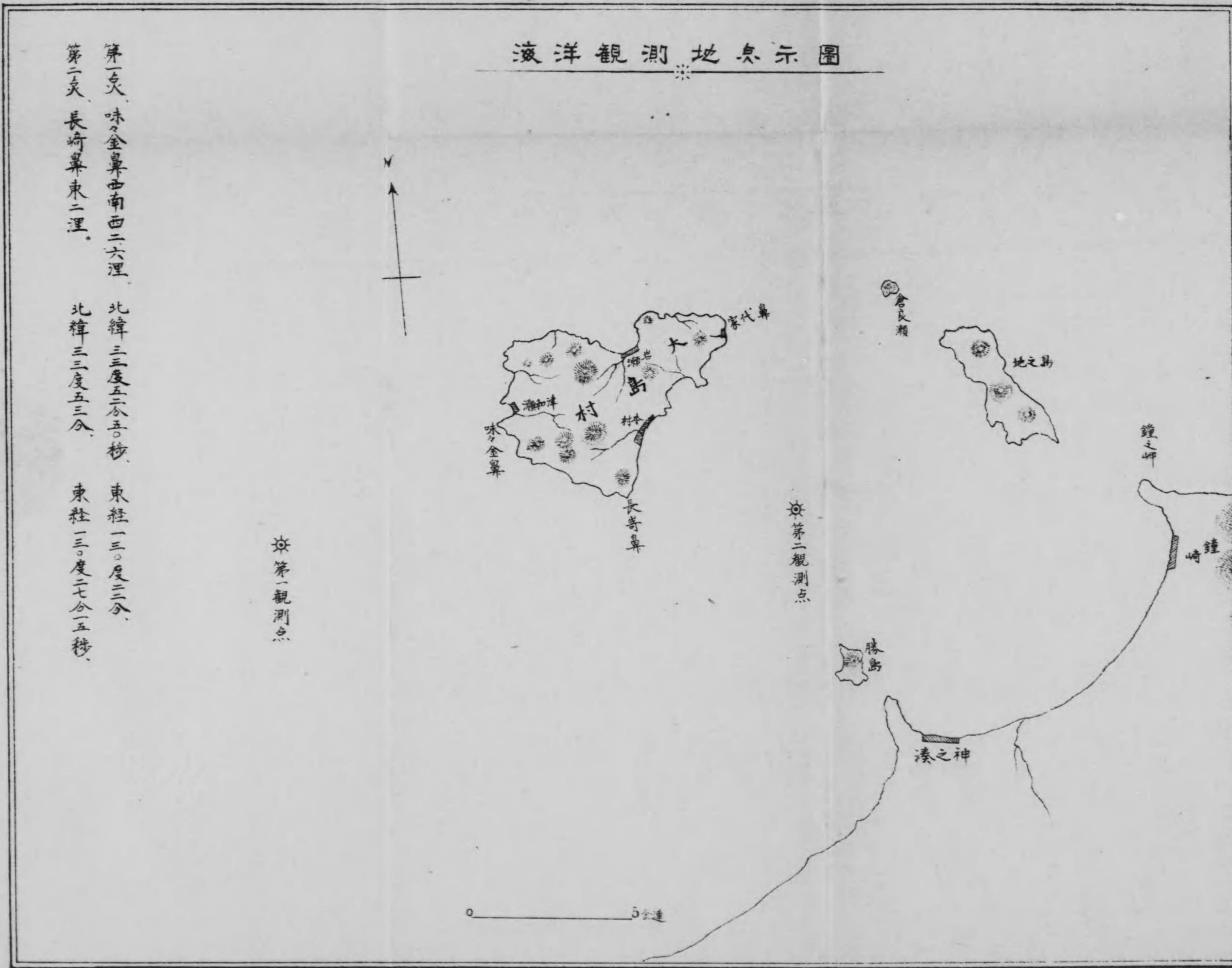


實却總價	實却單價	收穫時ニ於ケル魚ノ平均重量	收穫時ニ於ケル魚ノ平均体高	收穫時ニ於ケル魚ノ平均体長	收穫時ニ於ケル魚ノ平均尾長	孵化數ニ對スル收穫尾數歩留リ
九十圓	一錢二厘	不明	一寸二分五厘	三寸五分	五步	
三百八十五圓	一錢一厘	十一匁	七分六厘	三寸七分五厘	二割九步	
十三圓五十錢	九厘	十一匁五分	一寸	三寸八分三厘	一割	
二百十九圓二十錢	一錢六厘	不明	不明	四寸五步	二割六步	一五四
三百圓	一錢五厘	二十匁	一寸七分五厘	五寸	五割	

圖場漁試網看巾鯛



圖示地觀測洋海

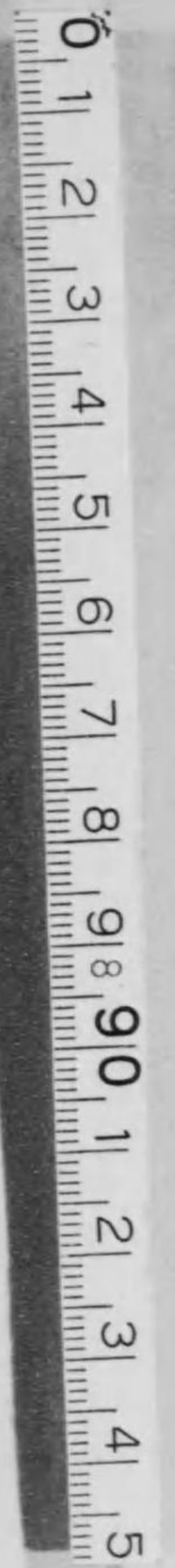


第一点 味々金鼻西南西二六哩 北緯三三度五分五秒 東經一三〇度三分
 第二点 長崎鼻東二哩 北緯三三度五分 東經一三〇度七分五秒

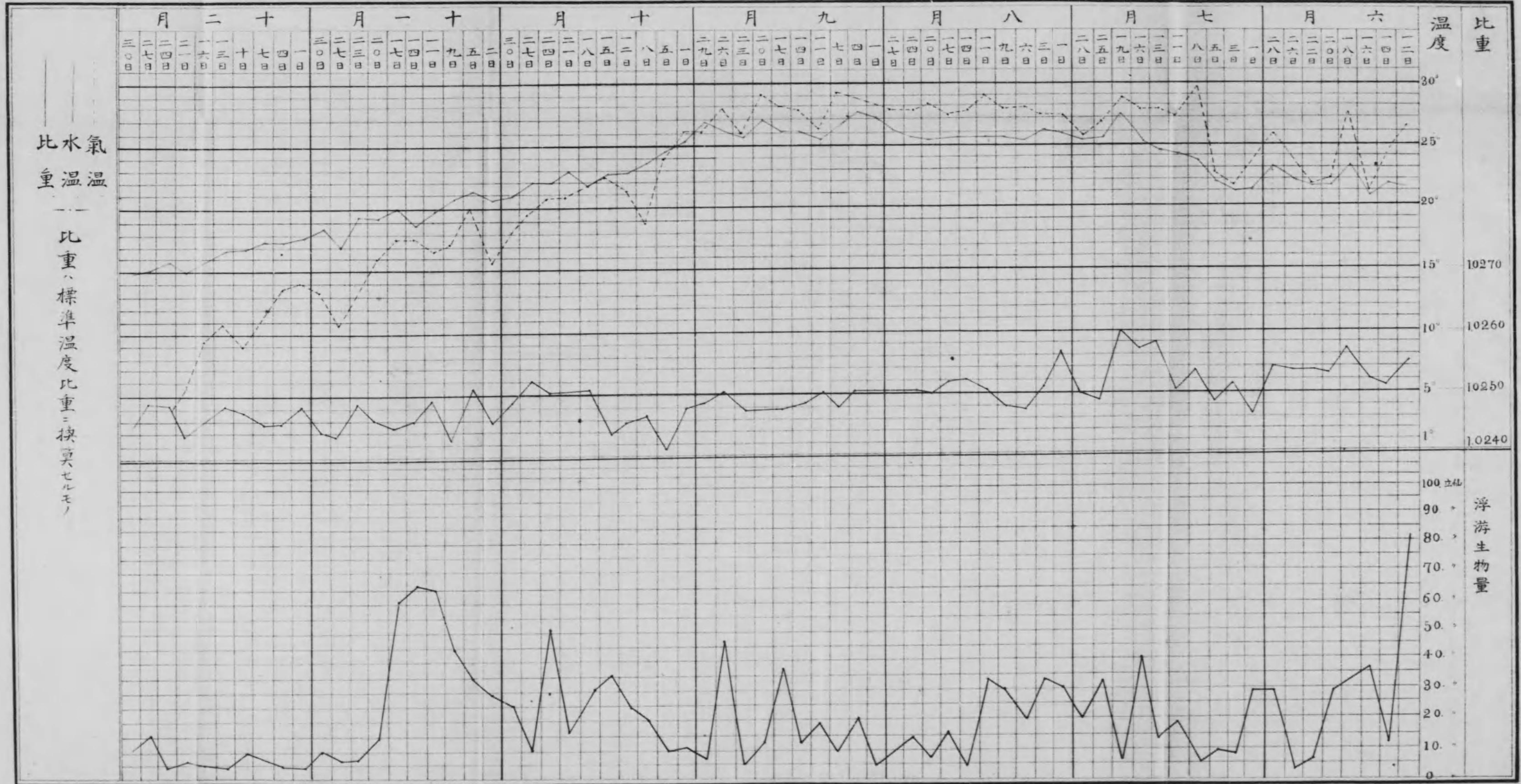
※第一觀測点

※第二觀測点

5公里



(所測觀嶋大) 表照對低高量蜂及量比溫水溫氣 月六年四十四日明自 月二十 全五

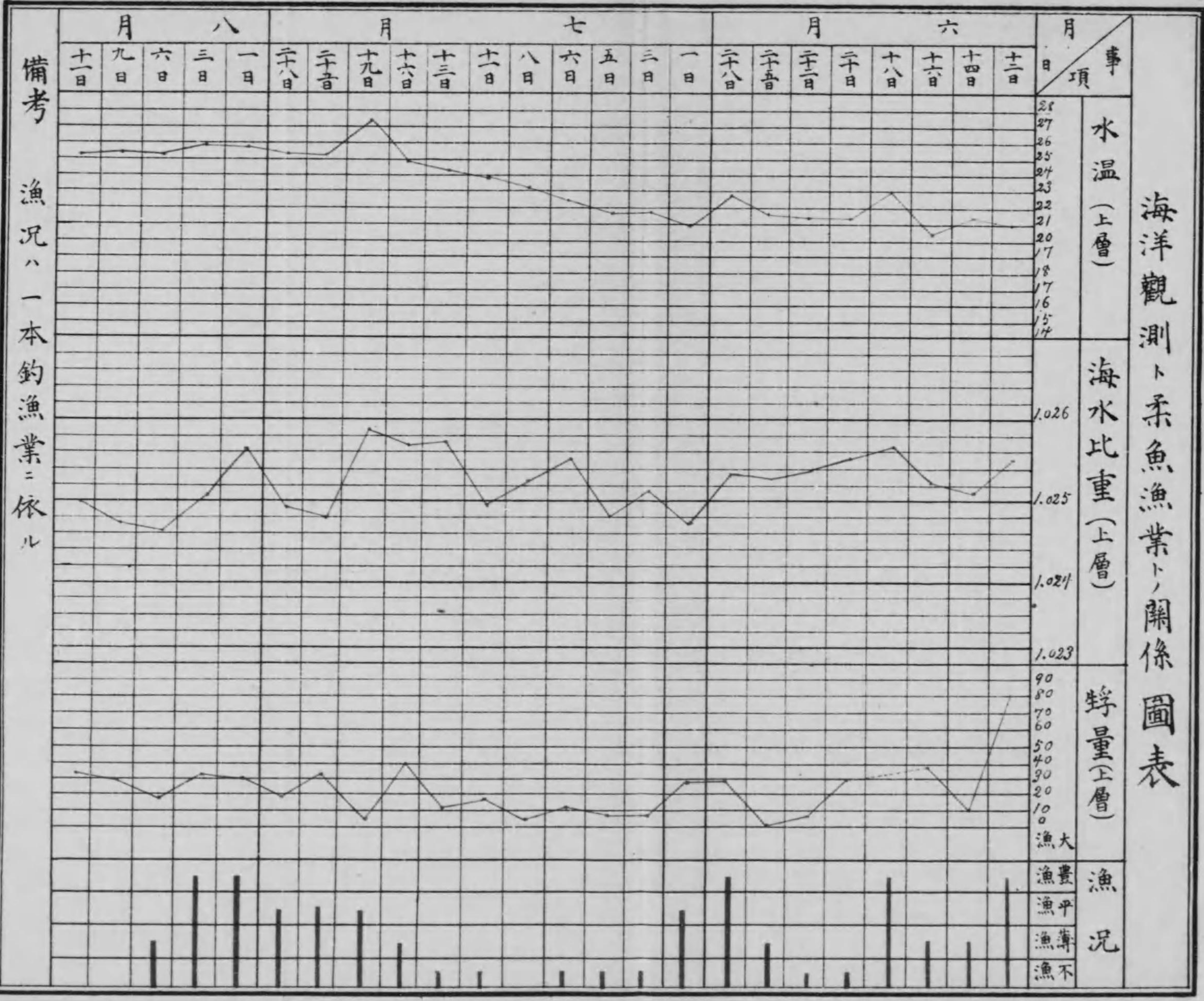


比水氣
重溫溫

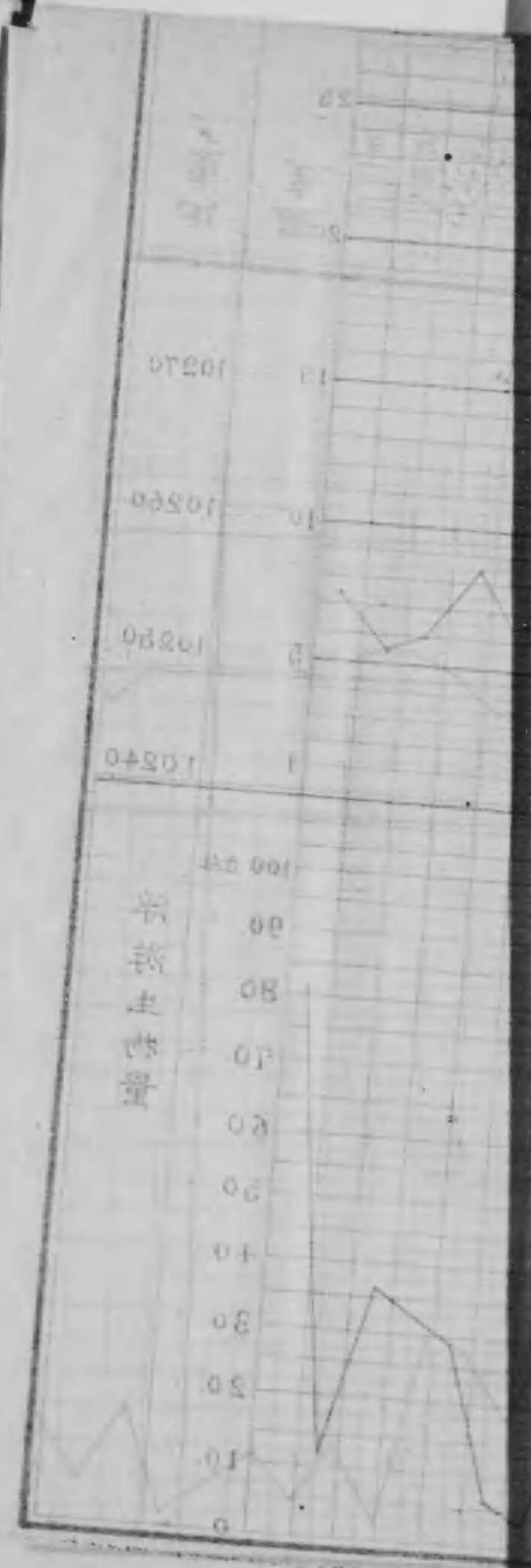
比重標準溫度比重換算表

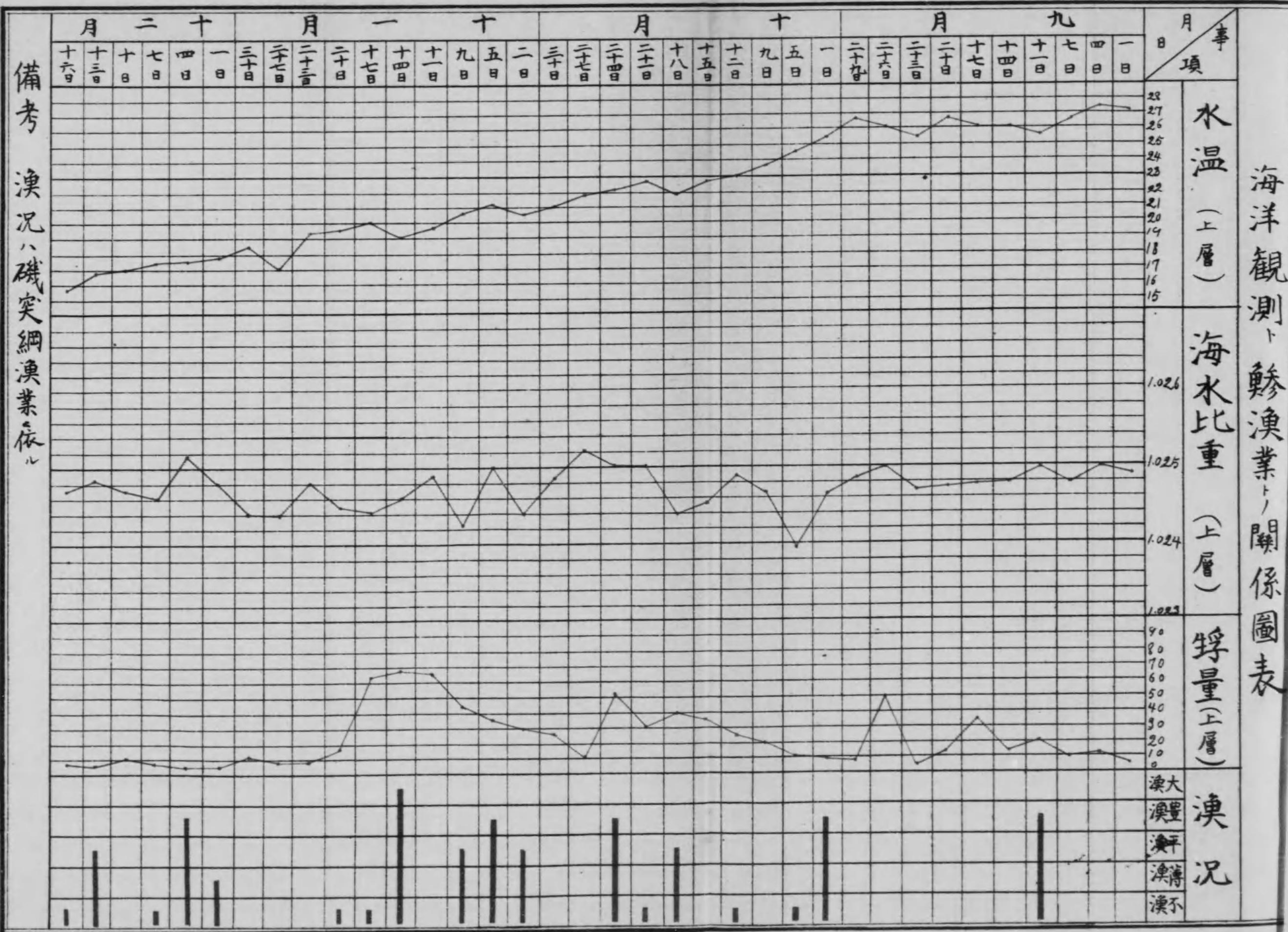


海洋觀測ト柔魚漁業ト關係圖表



備考
漁況ハ一本釣漁業ニ依ル

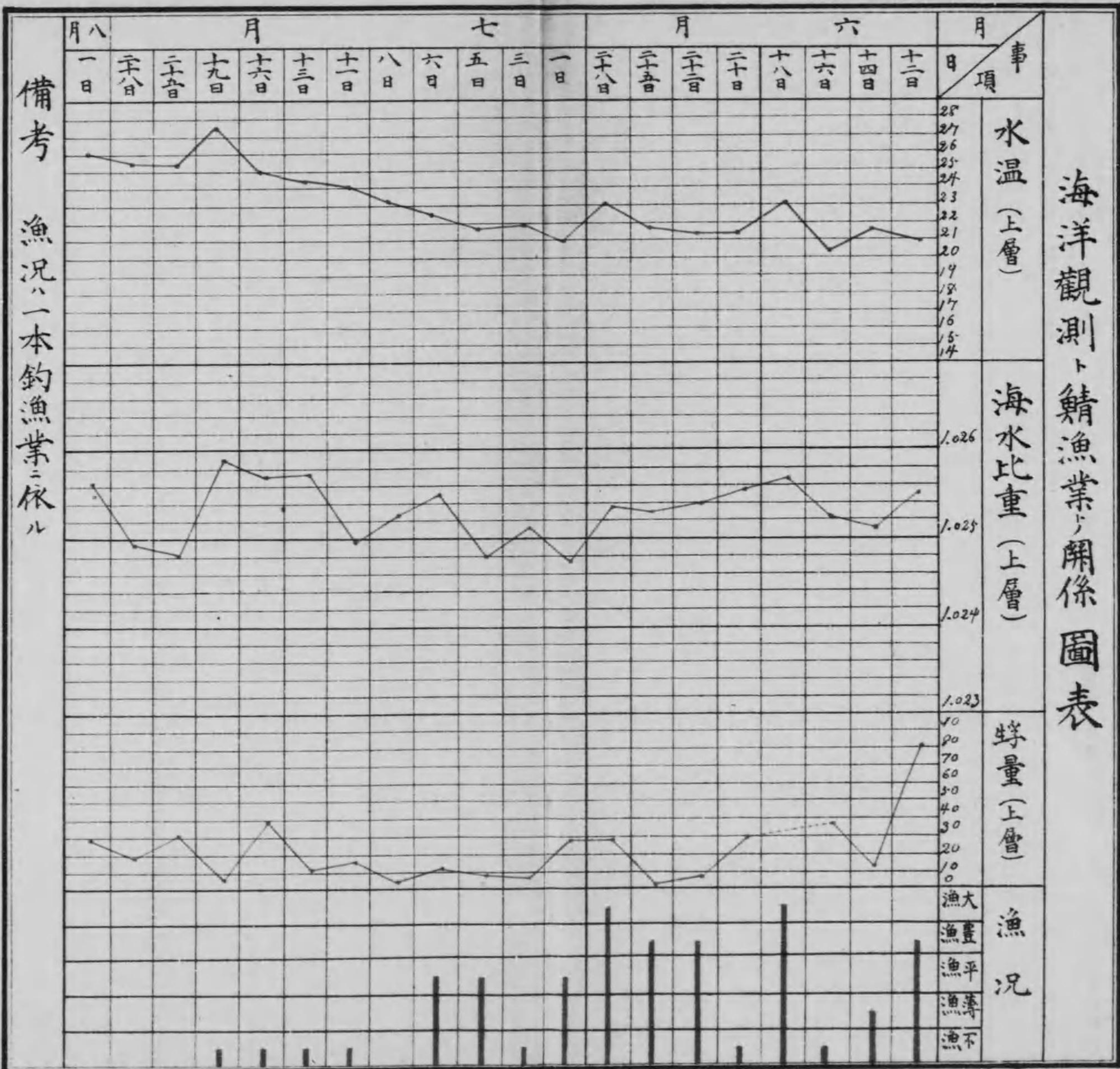




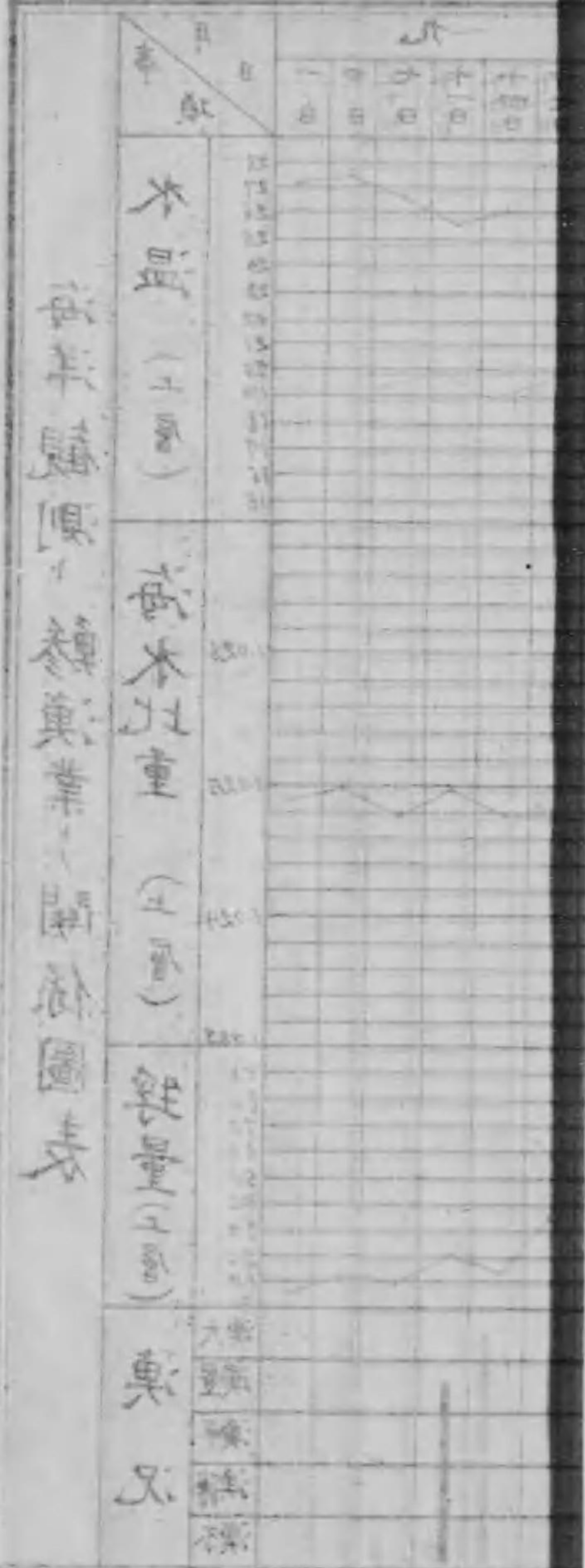
備考 漁況ハ磯突網漁業依ル

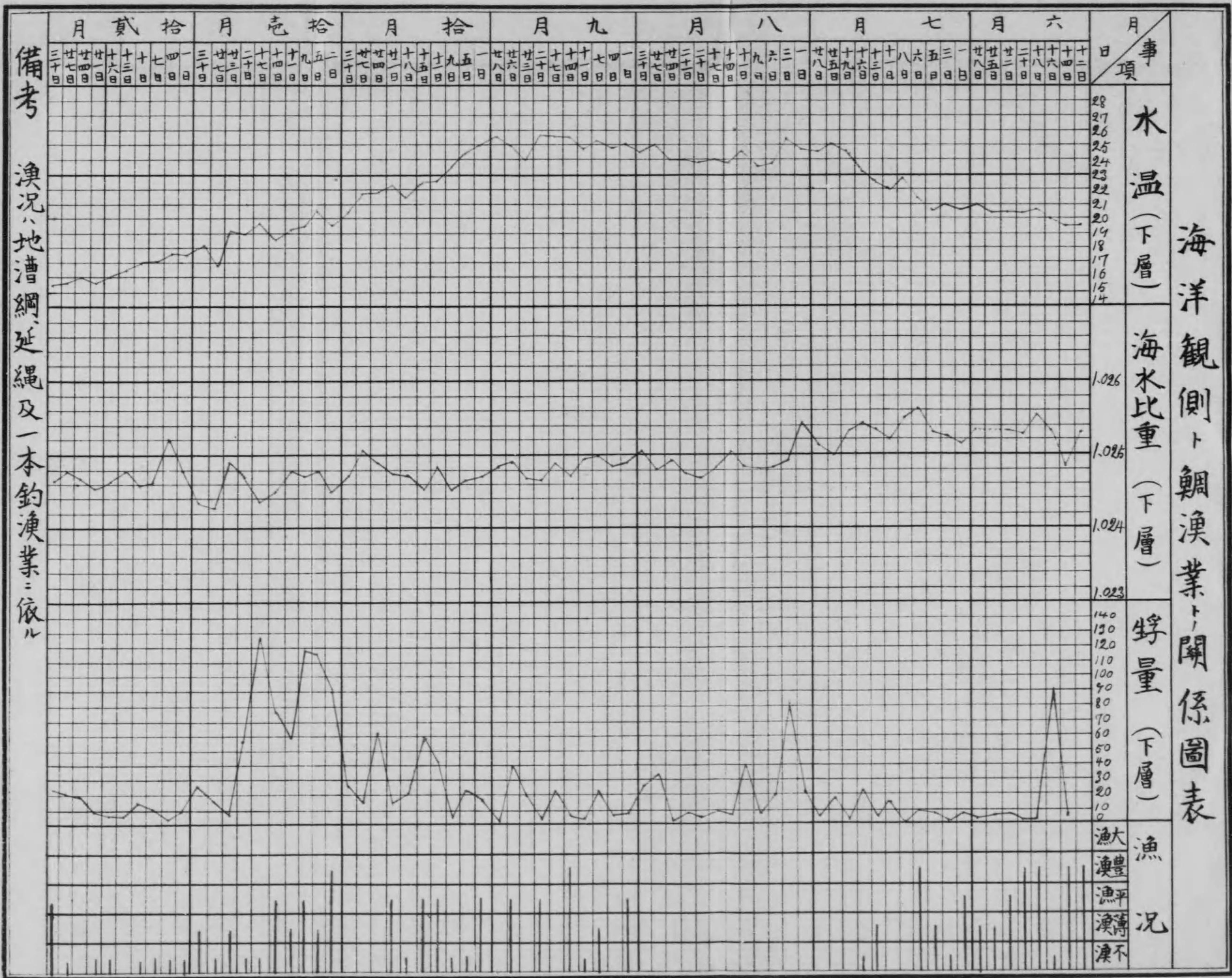
漁業ノ關係圖表

項目	九月	十月
水温 (上層)	28	61
海水比重 (上層)	1.026	1.024
浮量 (上層)	90	10
漁況	漁大	漁大



備考 魚況ハ一本釣魚業ニ依ル





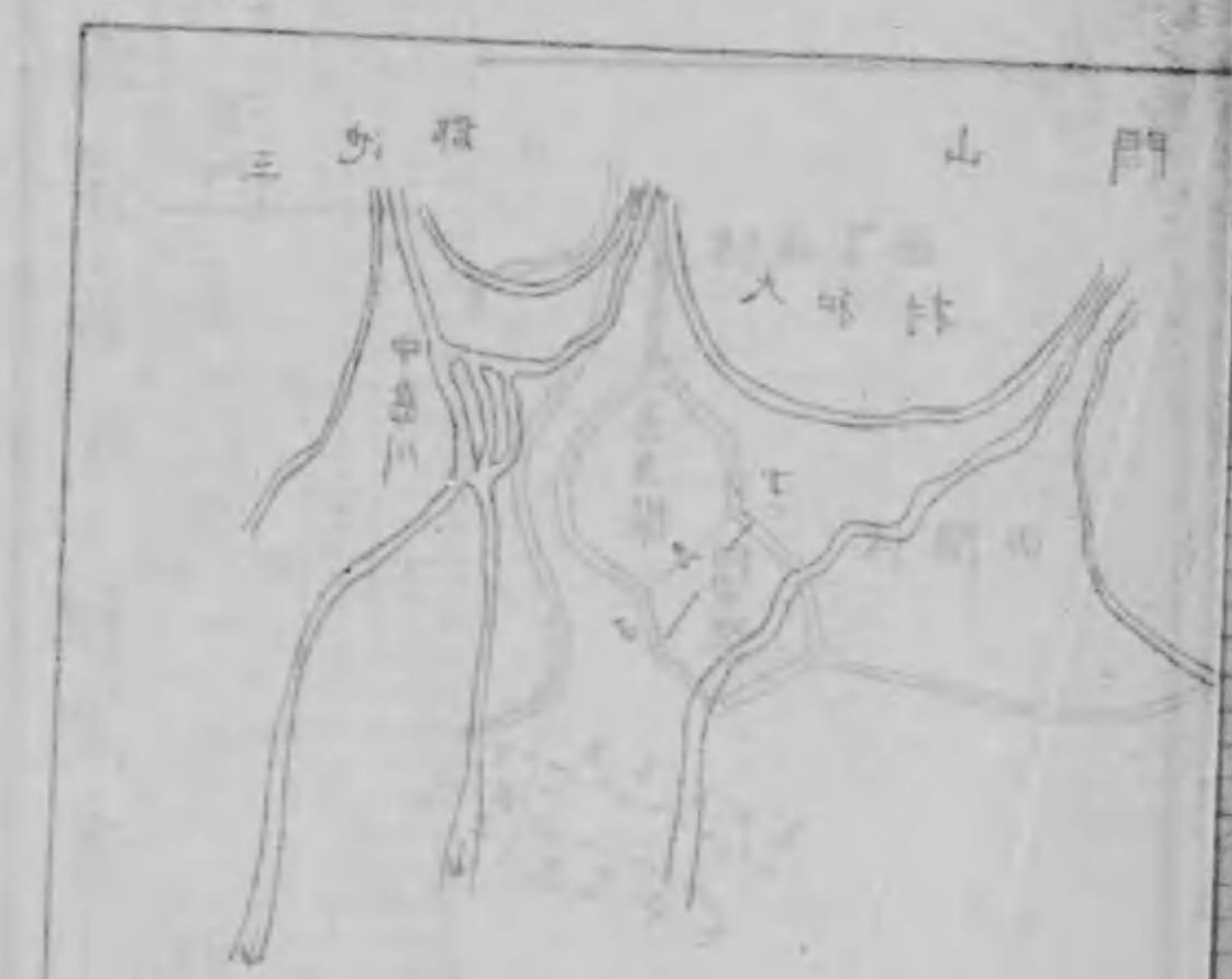
備考
漁況、地漕網、延縄及一本釣漁業に依り

水 温 (上層)

海水比重 (上層)

罾量 (上層)

漁 況

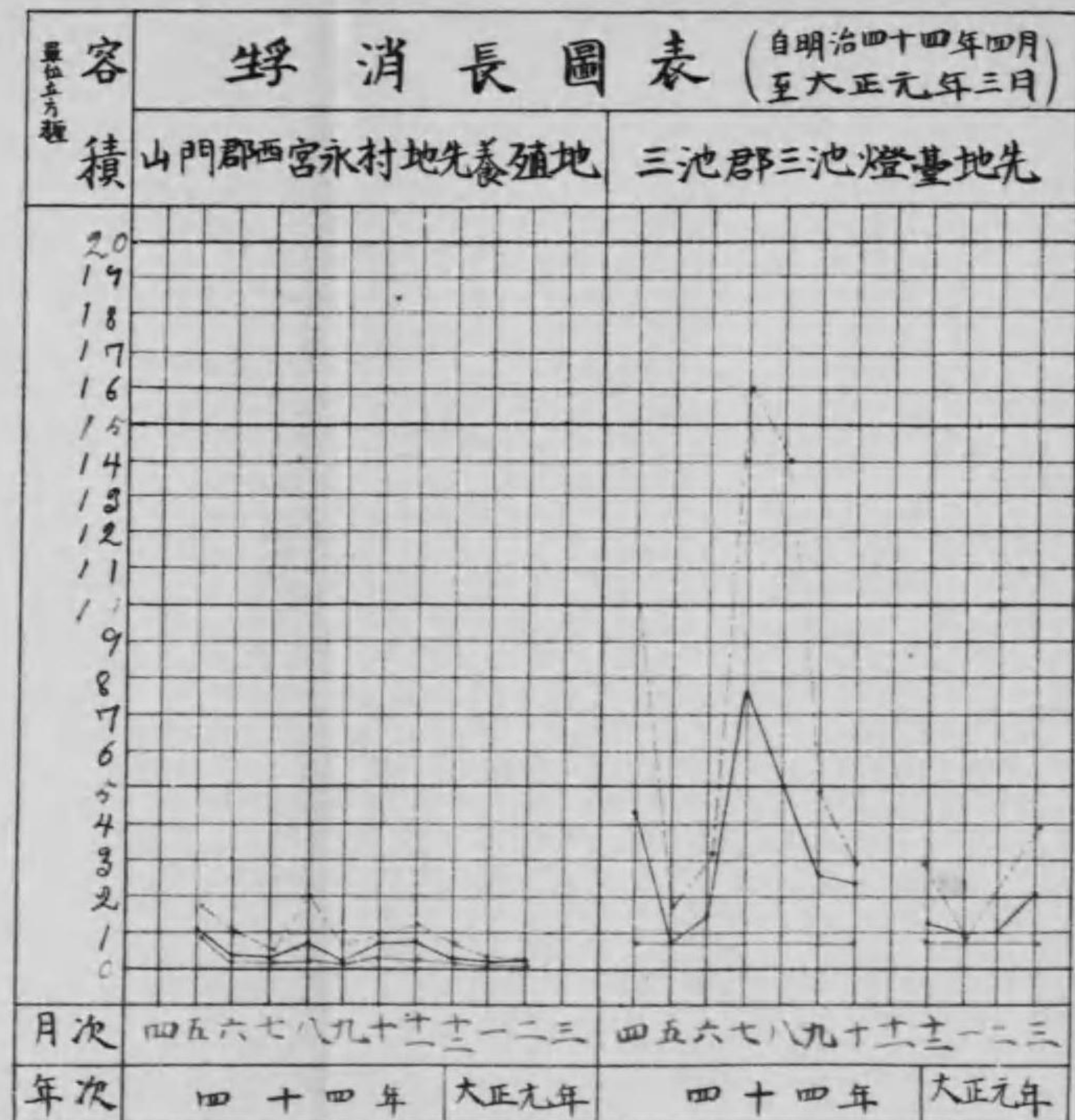


1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

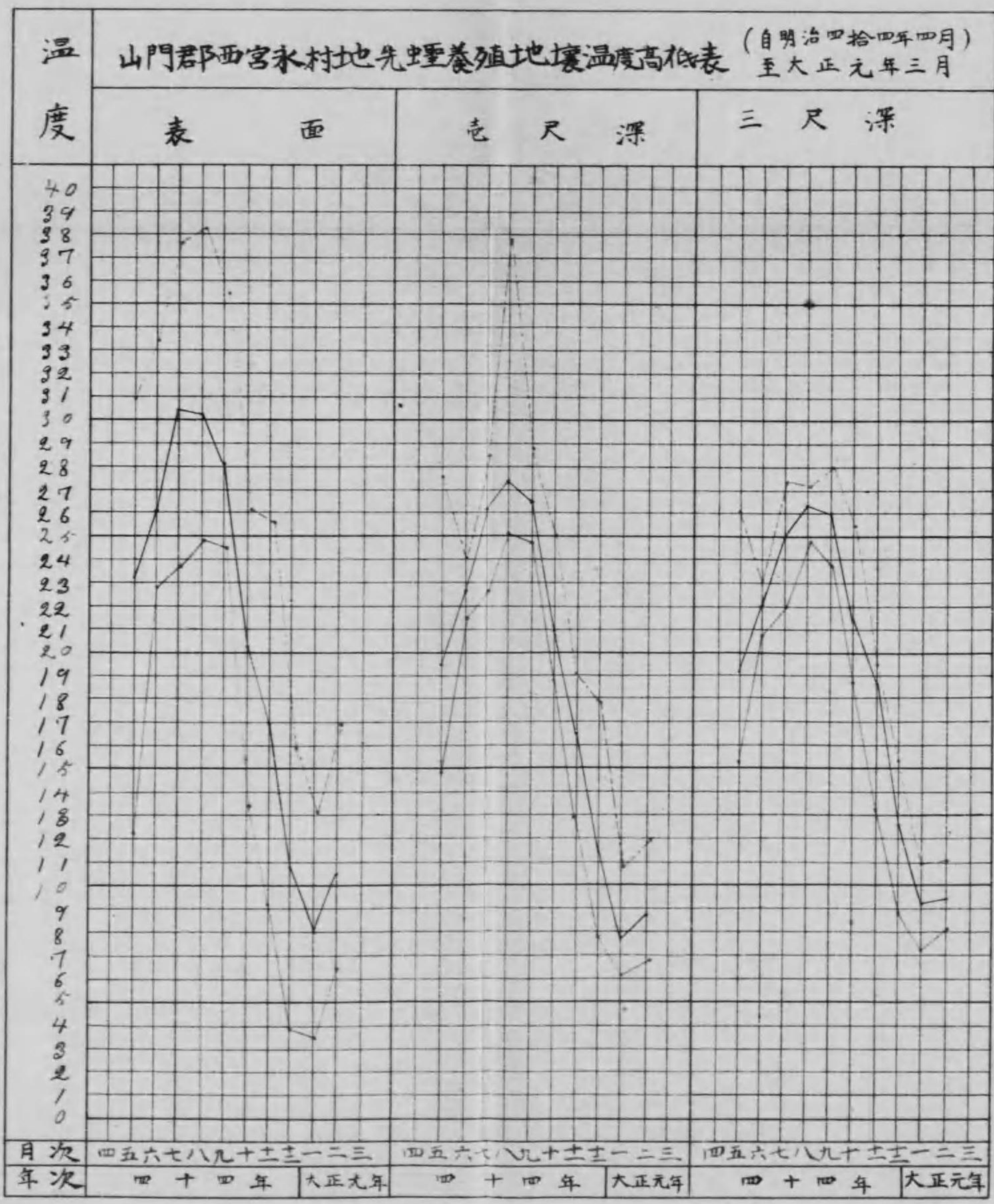
甲二區 養蠶試驗員成長度比較圖表

時期	甲二區					乙二區					
	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	
89	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
28	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
27	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
26	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
25	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
24	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
23	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
22	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
21	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
20	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
18	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
16	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
15	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
14	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
13	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
12	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
11	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
10	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
9	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
8	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
7	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
6	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
5	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
4	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
3	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
2	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
1	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
0	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49

備考
 赤色線、較長、赤色点線、較幅ヲ示シ、故チ一分トス
 黑色線、較長、赤色点線、較幅ヲ示シ、故チ一分トス



凡例 (一) 線、最高 (二) 線、最低 (三) 線、平均ヲ示ス



凡例 (一) 線、最高 (二) 線、最低 (三) 線、平均ヲ示ス

